

木更津市の教育

令和7年度

木更津市教育委員会

はじめに

市政の発展にともない、木更津市の教育が遅滞なく着実な歩みを続けておりますことは喜びに耐えないところであります。これもひとえに、教育関係各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

令和5年に策定した「第3期木更津市教育振興基本計画」や学校教育「新木更津プラン」のもと、引き続き子どもたちの健全な育成や、積極的な学びの機会の提供に向けた教育体制の整備に努めているところです。

今年度は、木更津市・イオンモール株式会社・三井不動産産業マネジメント株式会社の3者で「地域の未来をはぐくむ SC 学習プロジェクト」を実施しました。子どもの考える力や主体性を養い、子どもたちを地域とともに育むことを目的に、「木更津市こどもPR大使」に任命された木更津市立西清小学校5年生の児童が、本市の魅力を発見し、商業施設でのPRイベントの企画や運営を行いました。

また、令和5年3月に発足した、木更津市内の全中学校の生徒会長で組織する「木更津市合同生徒会」は、令和7年12月で4期目を迎え、令和8年2月には木更津市議会と対面による会議を実施し、子供たちのまちづくりへの意識・関心を高めています。

本市の教育の基本理念である「子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり」は、この地域が活力ある豊かな社会として発展していく上で、欠くことのできない取組条件であり、教育の果たす役割は、ますます重要なものになってきています。

教育をめぐる社会環境が大きく変化している中、今後も「まちづくりの礎は人づくり」という強い思いをもって、様々な教育環境の整備、施策の推進にあたってまいりたいと考えています。

ここに、令和7年度の「木更津市の教育」を刊行し、本市の教育の現況をお知らせするとともに、木更津市教育の更なる進展に向けて、今後のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年3月

教育長 廣部昌弘

木更津市の教育目標

子どもを育む環境づくり

1. 子育て支援の充実
2. 学校教育の充実
3. 青少年の健全育成

まちを支える人づくり

1. 社会教育の推進
2. スポーツ・レクリエーションの振興
3. 市民文化の充実
4. 人権擁護の推進

目 次

はじめに

木更津市の教育目標

1. 木更津市の概要

位置・地勢・市制施行・人口	3
沿 革	4

2. 木更津市 教育振興基本計画

教育振興基本計画	9
----------	---

3. 木更津市 教育大綱

教育大綱	17
------	----

4. 教育行財政

教育委員	21
教育委員会会議	22
教育委員会表彰	23
教育委員会機構図	24
教育委員会職員数	27
教育財政	28

5. 学校教育

重点目標	31
小・中学校一覧	36
教育相談・教職員研修・学校支援事業	38
特別支援教育	39
就学援助	41
学校保健	42
学校給食	44

6. 生涯学習

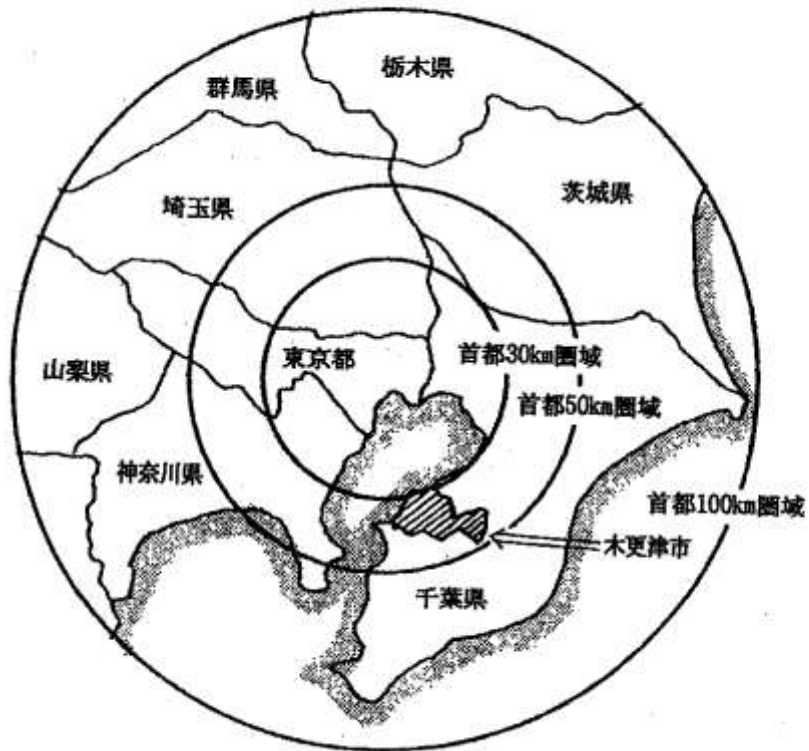
重点目標	49
社会教育事業	54
公民館	57
少年自然の家キャンプ場	71
図書館	72
郷土博物館金のすず	76
青少年指導関係	85

7. 資料

歴代教育委員及び教育長	89
教育功勞被表彰者一覽	92
市内指定等文化財一覽	96
学校施設等	98
社会教育施設	100

1. 木更津市の概要

位 置



地 勢

令和8年1月1日現在

市役所の位置		広ぼう		標 高		面 積
東経	北緯	東西	南北	最高	最低	
139° 55' 29"	35° 22' 52"	21.01km	14.58 km	194.5m 茅野七曲	-	138.89 km ²

市制施行

昭和17年11月3日

人 口

136,753人（令和8年1月1日現在の住民基本台帳による）

沿 革

「きさらづ」の名が文献に現れてきたのは、鎌倉時代に入ってからであるが、日本武尊の東夷征討伝説として『相模の走水から上総へ渡ろうとしたとき、海上にわかにかに強風が起こり、船はいまにも転覆せんとした。尊の妃弟橘媛命は、身をもって尊の命を救わんと海中に身を投じ、海神を慰めたので、怒濤はたちまちにしておさまり、無事上総へ渡ることができた。尊は、媛の末路を哀れみ、その運命を悲しんで、しばしこの地を去らず、後年この地を「君不去」（きみさらず）と名づけ、更になまりが変って「きさらづ」になった』という話が語り継がれている。

菅生の弥生時代農耕遺跡や長須賀の金鈴塚古墳から発掘された金鈴や飾り大刀などから考えてみても、木更津の地が古代から豪族や庶民の一大集落地として栄えていたことが立証される。

古代から平安時代の末までは、馬来田国造の支配や上総氏一族の支配を経て、鎌倉時代に入った。

室町・戦国時代には、真里谷武田氏・北条氏・里見氏の勢力がこの地の覇権を争った。天正18年(1590)、里見氏削封の後、江戸時代の末に一部請西藩の領地になったが、概ね旗本の知行所となり、明治維新に及んだ。

明治元年(1868)4月、木更津・貝渕・吾妻の3村は上総・安房監察兼知事柴山典の所轄となり、明治4年(1871)廃藩置県の改革によって桜井県の所轄に、更に同年11月には従来の諸県が廃されて木更津県となったものの、明治6年(1873)6月、木更津県は廃され千葉県を置くこととなった。

明治11年(1878)、県の官制改革によって郡制が設けられ、郡区町村編成法を定めて望陀・周淮・天羽の3郡を一区画とし、郡役所を木更津村に置き、望陀周淮天羽郡役所と称した。

その後は郡長の下に戸長制を敷いていたが、明治22年(1889)4月、市町村制が実施されて木更津・貝渕・吾妻の3村が合併し木更津町ができた。

明治30年(1897)4月に郡制が施行されて望陀・周淮・天羽の3郡は君津郡と改称され、大正15年(1926)6月、郡役所廃止に至るまで、君津郡役所の所在地となった。

昭和7年(1932)、県営築港に着手、時を同じくして海面埋立工事が行われ、翌昭和8年(1933)4月には隣接の真舟村を合併して町勢は著しく進展した。

昭和11年(1936)、築港・埋立の両工事が完成し、海路による京浜方面への利便は一段と増す一方、同年4月、木更津海軍航空隊が設置され、更に昭和16年(1941)11月、隣接の岩根村に工員1万7千人を擁する海軍航空廠が設置されたことにより、一躍軍都としてのめざましい発展を見るに至り、隣接町村間との市制施行の盛り上がりによって、昭和17年(1942)11月3日、木更津町、清川村・岩根村・波岡村による1町3村が合併し、市域54.23km²、人口33,817人、全国第197番、千葉県下6番目の市として木更津市が誕生した。

木更津市はそのまま軍都として繁栄するかと思われたが、市制施行後3年目にして太平洋戦争も終わり、一転して商業都市としての新しい第一歩を踏み出すことになった。

昭和28年(1953)、町村合併法の公布によって、木更津・鎌足・金田・中郷の1市3村の合併問題が討議され、翌昭和29年(1954)11月3日に鎌足村を、同30年(1955)2月11日に金田村を、同年3月1日に中郷村をそれぞれ合併し、一躍、人口も5万人を超える木更津市となった。

やがて一連の臨海部埋立による京葉臨海工業地帯の発展に伴い、昭和36年(1961)、隣接の君津町(現君津市)と本市の臨海部にまたがって八幡製鐵(現日本製鉄株)の進出が決まり、同40年(1965)の操業を契機として関連企業の進出による工業化も一段と進展するなか、内陸部での土地区画整理事

業をはじめ民間宅地造成等の開発も急速に進み、首都圏内の近郊都市として発展、同43年(1968)4月、木更津港の重要港湾指定により著しい変貌を遂げてきた。

昭和46年(1971)9月に富来田町と合併し概ね現在の市域となり、昭和40年代～50年代にかけては、市民体育館、中央公民館、保健相談センター、市民総合福祉会館などの教育施設や福祉施設などの充実が進んだ。

時代が平成に変わってからは、平成4年(1992)、首都機能の一躍を担う業務核都市に位置づけられるとともに、県の千葉新産業三角構想(昭和58年)の一角に位置づけられたかずさアカデミアパークの整備が進展した。

平成9年(1997)には東京湾アクアラインが開通し、東関東自動車道館山線や首都圏中央連絡自動車道等の整備とあわせ、交通の結節点としての機能が強化された。

平成20年(2008年)には木更津市郷土博物館金のすずが開館し郷土の歴史・文化を物語る史資料を公開するとともに平成21年4月には木更津市学校給食センターが稼働開始となり小中学校の完全給食が実現となる。

その後、東京・神奈川とを結ぶ東京湾アクアライン高速バス網の充実や平成21年(2009)から実施された東京湾アクアライン料金引下げ社会実験による地域経済への様々な波及効果等から、平成23年(2011)には人口が13万人を超えた。

平成24年(2012)には、かずさアクアシティの金田東地区まちびらきに伴い、大型集客施設が相次いで開業するとともに、第1回目のちばアクアラインマラソンが開催されるなど、交流人口の増加が顕著となる。

平成26年(2014)10月には、築地地区に大型集客施設が開業するとともに、平成29年(2017)10月には、道の駅「木更津 うまくたの里」が開業し、地域全体への活力や求心力が高まりをみせている。

平成31年(2019)には中郷中学校と清川中学校が統合された。また、富岡小学校と馬來田小学校が統合し富来田小学校が誕生し、隣接した富来田中学校と小中一貫教育学校としての取り組みがスタートした。

令和3年(2021)には小規模特認校の通称を「きさらづ特認校」と定め、それまでの東清小学校、中郷小学校に加え、新たに鎌足小中学校、富来田小中学校が小規模特認校として指定された。また、清見台小学校ではバリアフリーや共生社会について考える取組が評価され、I'm POSSIBLE アワード開催国最優秀賞を受賞した。

令和4年(2022)、木更津市は市制施行80周年を迎え、その記念事業として「KISARAZU COLLECTHION 2022」が開催され、公募で選ばれた木更津市内の小中学生30名がモデルとなりステージを飾った。また、木更津市初となるコミュニティ・スクールを富来田小中学校に導入し、地域との連携による地域ぐるみの学校づくりの推進を図っている。

2. 木更津市 教育振興基本計画

木更津市教育振興基本計画

【教育の基本理念・指針と基本目標】

教育の基本理念

子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり

教育の基本指針

まなびあい、きらりかがやく「教育都市きさらづ」

基本目標

- ① 魅力ある学校づくりの推進
- ② 生涯学習社会の実現
- ③ 青少年の健やかな成長
- ④ 芸術文化活動の活性化

育成したい子どもの姿<木更津っこ>

- ふるさと木更津を愛し、地元に貢献しようとする意欲を持つ子
- 学習習慣を身に付け、自らの課題を学習により解決しようとする子
- 思いやりの心を持ち、自他の心身の健康のため行動できる子
- グローバルな視点を持ち、SDGsの達成に向けて行動できる子
- 防災意識を持ち、日頃の準備を怠らず、災害時に自他の命を守る行動がとれる子

【計画の対象期間：2023年度～2026年度】

年度	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
木更津市	→							
	基本構想（目標年次：R12）							
	←				←			
	木更津市第2次基本計画				木更津市第3次基本計画			
	←				←			
	木更津市第2次教育大綱				木更津市第3次教育大綱			
←				←				
木更津市第2期教育振興基本計画				木更津市第3期教育振興基本計画				

【基本目標を実現するための政策・施策】

基本方針1	重点目標	重点施策	施策	
「自立する力」と「共生する姿勢」を身に付けた児童生徒を育成し、児童生徒本人、家庭や地域社会から信頼される魅力ある学校づくりを推進します	1 児童生徒に学習する習慣を身に付けさせます	(1) 児童生徒の読書数の向上	① 学校図書館システムを導入し、学校間の連携を図り、学校図書館を活性化します	
			② 読書相談員の配置を継続します	
			③ 図書館と連携し、団体貸し出し事業を推進します	
			④ 児童生徒に電子図書サービスの利用を推奨します	
	2 児童生徒の人権意識の高揚を図ります	(1) いじめのない集団づくり	① いじめ防止対策基本方針を策定し、各学校に周知徹底します	
			② 定期的にいじめ実態調査を行い、実態把握に努めます	
			③ 教職員のいじめに対する意識向上と指導力の向上を図り、いじめのない集団づくりに努めます	
			④ スクールソーシャルワーカーを配置し、関係部署との連携調整支援等に努めます	
	3 外国語教育・国際理解教育の充実を図ります	(1) 外国語指導助手(ALT)による授業の支援	① 小学校において、外国語授業(小5.6)、外国語活動(小3.4)の全時間に外国語指導助手(ALT)を配置します	
			② 国際理解教育に関する出前授業の実施を推奨します	
			(2) 外国語学習意欲の向上	① 市内小中学校の希望者を対象に、ALTと英語のみの世界を体験するEnglish campを開催し、国際理解教育を推進します
				(3) 教職員に対する英会話研修の実施
	4 特別支援教育の充実を図ります	(1) 特別支援教育に関する実態調査	① 特別支援に関するアンケート調査を行い、定期的の実態を把握し、施策に反映させていきます	
			(2) 個別支援の充実	① 各学校の必要に応じ、個別的教育支援計画・指導計画を作成し、指導支援に活かしていきます
				(3) スクールサポートティーチャー(SST)の配置
			(4) 特別支援教育支援員の配置	
				(5) スクールアクティブサポーター(SAS)の配置
	5 保護者・地域と連携した学校づくりを推進します	(1) 学校支援ボランティア活動の推進	① 学校支援ボランティア活動推進事業を推進します	
			(2) 学校評価木更津システムの実施	① 学校評価木更津システムを確実に実施し、結果を公表します
				② 学校の現状を把握し、改善に活かします
			(3) コミュニティスクールの推進	① きさらづ特認校に学校運営協議会を組織します
(4) 広報活動の充実				① 学校HPの定期的な更新に努めます
	(5) 放課後等の子どもの居場所づくり	① 放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携を検討します		
6 現代的課題について考え、行動に移す意欲とスキルを育成します		(1) 防災・安全教育の充実	① 大災害に備えて、避難訓練を含めた命を守る教育の充実を図ります	
	② 交通安全教育を充実し、交通安全に対する意識を高めます			
	(2) SDGs教育の推進	① SDGs、包括的教育等、現代的課題を意識した教育課程づくりを推進します		
		② 市が推進するSDGs関連事業についての理解を深めます		
	(3) 環境教育の推進	① 市が推進するゼロカーボンシティの取組について理解を深め、行動意欲を高めます		
		(4) プレゼンテーション能力の育成	① 学習活動研究発表会を開催し、日頃の学習成果を発表する場を作ります	
(5) キャリア教育の充実	① 体験に基づくキャリア教育を推進し、自分に合った進路決定を進める意識を高めます			
	(6) 学校間交流の活性化	① 中学校合同生徒会を組織し、学校間で切磋琢磨し、互いに高め合う場を作ります		
7 教育相談活動の充実を図り、児童生徒の正しく前向きな自己決定を支援します		(1) スクールカウンセラー(SC)、心の相談員の配置	① 各学校にスクールカウンセラー(SC)、心の相談員を配置し、児童生徒が悩みを相談できる場を作ります	
	(2) 教育相談教室の実施		① 専門家による教育相談教室を実施し、児童生徒及び保護者の悩みについて、専門的な立場から相談できる場を作ります	
			① 教育支援教室(あさひ学級)を運営することにより、不登校の児童生徒の自立を支援します	

3. 木更津市 教育大綱

1 趣旨

平成27年4月から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、市長と教育委員会から構成する総合教育会議を設置することが義務付けられました。

また、同会議において、地域の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされ、本市では平成27年11月に木更津市教育大綱を、令和元年4月に木更津市第2次教育大綱を策定し、市長と教育委員会が連携してそれぞれの施策を進めてきました。

この間、高度デジタル社会やSDGs達成への対応、また「新しい生活様式」を踏まえた学校教育の継続が求められるなど、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況を考慮しつつ、市長と教育委員会が協議、調整のうえ、新たな教育大綱を定めるものです。

2 大綱の位置づけ

市長は、「木更津市総合計画第3次基本計画」を、教育委員会は、教育振興の基本計画である「第3期木更津市教育振興基本計画」を所管し、施策を推進しています。

この教育大綱は、市長が、特に重点的に教育委員会と連携して進めるべき事項について、総合教育会議における協議を経て定めたものです。

3 計画期間 令和5年4月から令和9年3月まで

4 基本目標

「将来につなぐ、地域をつなぐひとづくり」

本市は、子育て支援や教育環境の充実により、将来を担う子どもたちを育むとともに、自分の住むまちをより良いものにしていくとす地域の人たちを支えていきます。

5 基本方針

- ①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。
- ②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。
- ③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。

6 基本施策

- ①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。
 - (1) 子どもの居場所・教育施設の環境整備
 - (2) 給食米100%オーガニック化・地産地消を取り入れた学校給食の提供
- ②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。
 - (1) 特色ある教育カリキュラムの推進
 - (2) スポーツを通じた児童・生徒の健康増進
 - (3) 継続的な学びを支える公民館の充実
 - (4) 文化芸術拠点施設の整備推進と文化財の価値や魅力の創造
- ③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。
 - (1) いじめ、暴力、虐待、差別のない共生社会の実現

4. 教 育 行 財 政

教育委員



教 育 長
廣 部 昌 弘



教育長職務代理者
渡 部 佳 子



委 員
豊 田 雅 之



委 員
中 島 緑



委 員
中 村 和 人

役 職	氏 名	就任年月日	職 業
教 育 長	廣 部 昌 弘	R3. 4. 1	
教育長職務代理者	渡 部 佳 子	H28. 10. 1	
委 員	豊 田 雅 之	H30. 10. 1	
委 員	中 島 緑	R4. 4. 1	専任講師
委 員	中 村 和 人	R7. 10. 1	医 師

教育委員会会議

○ 令和6年及び令和7年の会議開催数

区 分	回 数	
	R6	R7
定 例 会	12	12
臨 時 会	0	0
計	12	12

○ 令和6年及び令和7年に議決された案件

内 容	件 数	
	R6	R7
○教育行政の運営に関する基本方針の決定に関する事。	1	1
○教育委員会事務の点検評価に係る報告書の作成・議会への報告・公表	1	1
○教育機関の設置及び廃止に関する事。		
○教育財産の取得及び処分申し出に関する事。		
○職務の級が6級以上の職員等の任免に関する事。	1	1
○校長及び教頭の進退の内申に関する事。		
○職員及び教職員の分限及び懲戒の処分に関する事。		
○教育委員会規則の制定又は改廃に関する事。	4	1
○教育功労者の表彰に関する事。	1	
○議会の議決を要する事件の議案の申し出に関する事。	5	5
○教育機関の敷地並びに建物の設定又は変更に関する事。		
○附属機関の委員の任命又は委嘱に関する事。	6	9
○教育関係職員の研修の一般方針の決定に関する事。		
○教科書採択及び教科書等の取扱いの一般方針の決定に関する事。	2	2
○学校の通学区域の設定又は変更に関する事。		
○文化財の指定及び解除に関する事。	1	
○職員団体との重要な交渉に関する事。		
○請願及び陳情に関する事。	1	1
○その他	2	2
計	25	23

教育委員会表彰

昭和28年「教育功績者表彰内規」が制定され、木更津市教育の向上に功績のあった個人及び団体について表彰していたが、昭和44年「教育委員会表彰規程」に改正され、木更津市における教育・学術又は文化の振興に関し、特に顕著であった個人又は団体を表彰するもので、11月に表彰式を行う。

○ 表 彰 基 準

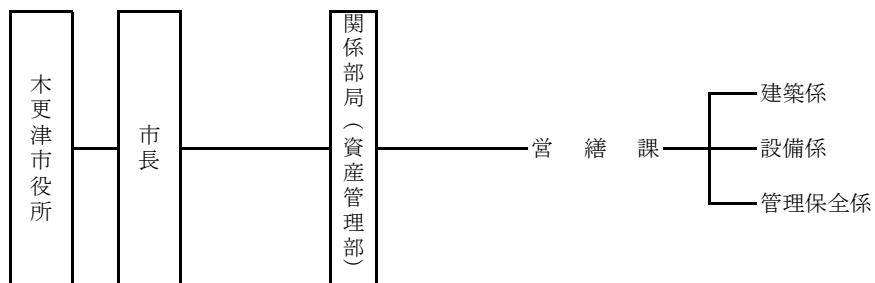
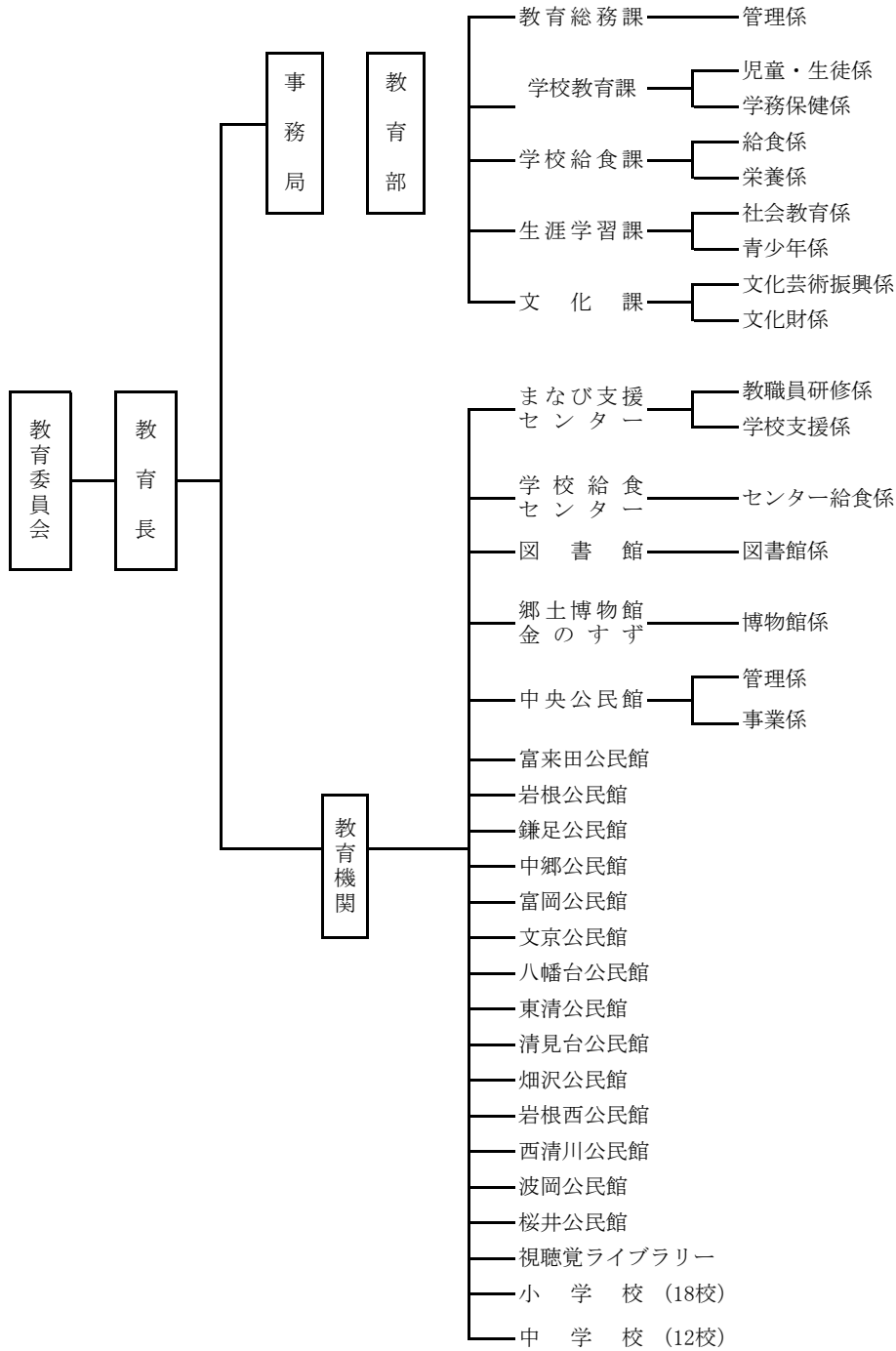
1. 職員にして教育向上のため尽力し、その功績が顕著なもの
2. 有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの
3. 学校教育又は社会教育の振興について、その功績が顕著であったもの
4. 学術又は文化の向上発展について、その功績が顕著であったもの
5. 上記1～4以外で、表彰することが適当と認められる業績があったもの

○ 令和7年度被表彰者

所 属 等	氏 名	備 考
南清小学校 校長	熊 切 和 也	
中郷小学校 教諭	遠 藤 香 里	
南清小学校 養護教諭	鶴 岡 規 子	
木更津第二中学校 養護教諭	森 田 妙 子	
木更津ユネスコ協会 常任理事	田 中 佐智子	
木更津市図書館協議会 前議長	桂 啓 之	
木更津市スポーツ推進委員会 副会長	浦 邊 利 久	

教育委員会等機構図

令和8年1月1日現在



○ 事務局（教育部）の業務内容

課 名	主 な 業 務 内 容
教育総務課	教育委員会会議、職員の任免・分限・服務及び身分、教育財産の取得又は処分・契約・登記及びその他管理、奨学基金、学校施設台帳の保存
学校教育課	教育課程・学習指導その他学校教育の指導、教職員の研修、教職員の配置等・人事、通学区域、学校保健
学校給食課	学校給食の運営、学校給食費の賦課・徴収
生涯学習課	生涯学習事業の企画及び振興、社会教育関係団体の育成、生涯学習バスの管理運営、青少年健全育成、少年自然の家キャンプ場
文 化 課	芸術・文化の振興、芸術文化団体の育成、文化財の調査・保護及び活用、埋蔵文化財の保護対策、文化財の指定及び管理、木更津市史の編さん

○ 教育機関の業務内容

機関名	主 な 業 務 内 容
まなび支援センター	教育相談教室・教育支援教室の運営、教職員研修の企画・運営、外国語指導助手の配置・指導等、ICT機器の管理、青少年の非行防止・指導、青少年・子育て相談
学校給食センター	学校給食センターの管理運営、給食の献立作成・食材調達、食物アレルギー対応、配食校の食指導
図書館	図書館の管理運営、図書の管理・貸出、図書館協議会
郷土博物館金のすず	郷土博物館金のすずの管理運営、郷土博物館金のすず協議会、旧安西家住宅、教育普及事業、展示事業、郷土資料の調査
公民館	公民館の管理運営、公民館の利用、定期講座、講習会等
視聴覚ライブラリー (生涯学習課内)	視聴覚教材及び視聴覚機材の整備及び貸出しに関する事

○関係部局の業務内容

課 名	主 な 業 務 内 容
営繕課	学校施設整備計画の作成、学校施設の整備に係る補助金、 教育施設の維持管理の要望処理、学校施設台帳の整備

教育委員会職員数

令和8年1月1日現在

○ 事務局

課	職	部長	次長 部参事	課長 幹	補佐 副主幹	係長 査	主任技師 主任技師 主任栄養士	主事 栄養士	事務員 嘱託員	計
教育	部	1								1
教育	総務課		1		1	2			2 会(1)	6 会(1)
学校	教育課		1	3	2	6	4	1	会(2)	17 会(2)
学校	給食課			1		2	1	2 会(1)	会(2)	6 会(3)
生涯	学習課			1	1	3	1		1 会(2)	7 会(2)
文化	課		1		3	1	2		会(13)	7 会(13)
計		1	3	5	7	14	8	3	3 会(20)	44 会(21)

○ 教育機関

機関	職	館長 所長	主幹 副館長	副館長 副主幹	主査	主任主事 主任技師	主事	事務員 栄養士	指導員 相談員 指導助手 支援員 管理人 図書館司書	計
まなび	支援 センター	1		1	4	1		会(2)	会(37)	7 会(39)
学校	給食センター	1	1					1 会(1)		3 会(1)
図	書館	1		3	2	3		2	会(7)	11 会(7)
郷土	博物館 のすず	1			2				会(2)	3 会(2)
公	民館	6 会(8)		10	1	10	3	4	会(22)	34 会(30)
計		10 会(8)	1	14	9	14	3	7 会(3)	会(68)	58 会(79)

○ 小中学校

学校	職	副主幹	栄養士	総括：学校事務員 用務員・調理員	主任：学校事務員 用務員・調理員	学校事務員 用務員・調理員	計
小学	校		6 会(2)	5	1	会(14)	12 会(16)
中	学	校		4	2	会(9)	6 会(9)
計		0	6 会(2)	9	3	会(23)	18 会(25)

教育財政

○ 項目別教育費

単位：千円

款 項 目	令和7年度当初(A)		令和6年度当初(B)		比 較 ((A)-(B))	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
50 教育費	5,610,508	100.0%	4,934,184	100.0%	676,324	13.7%
5 教育総務費	634,701	11.3%	577,031	11.7%	57,670	10.0%
5 教育委員会費	17,585	0.3%	17,475	0.4%	110	0.6%
10 事務局費	441,047	7.9%	397,141	8.0%	43,906	11.1%
17 まなび支援センター費	176,069	3.1%	162,415	3.3%	13,654	8.4%
10 小学校費	1,222,839	21.8%	761,682	15.4%	461,157	60.5%
5 学校管理費	715,492	12.8%	586,428	11.9%	129,064	22.0%
10 教育振興費	181,547	3.2%	174,650	3.5%	6,897	3.9%
15 学校建設費	325,800	5.8%	604	0.0%	325,196	53840.4%
15 中学校費	1,188,306	21.2%	1,015,295	20.6%	173,011	17.0%
5 学校管理費	963,908	17.2%	815,638	16.5%	148,270	18.2%
10 教育振興費	139,676	2.5%	161,362	3.3%	△ 21,686	△13.4%
15 学校建設費	84,722	1.5%	38,295	0.8%	46,427	-
25 社会教育費	963,094	17.2%	922,731	18.7%	40,363	4.4%
5 社会教育総務費	166,730	3.0%	147,064	3.0%	19,666	13.4%
10 青少年育成費	13,366	0.2%	13,068	0.3%	298	2.3%
15 公民館費	526,087	9.4%	480,553	9.7%	45,534	9.5%
20 図書館費	153,873	2.7%	133,759	2.7%	20,114	15.0%
25 少年自然の家費	9,402	0.2%	14,178	0.3%	△ 4,776	△33.7%
27 博物館費	82,924	1.5%	126,901	2.6%	△ 43,977	△34.7%
30 生涯学習まちづくり推進事業費	10,712	0.2%	7,208	0.1%	3,504	48.6%
30 保健体育費	1,601,568	28.5%	1,657,445	33.6%	△ 55,877	△3.4%
5 保健体育総務費	0	0.0%	0	0.0%	0	-
10 体育施設費	0	0.0%	0	0.0%	0	-
20 学校給食費	1,601,568	28.5%	1,657,445	33.6%	△ 55,877	△3.4%

* 市民1人あたり教育費予算

41,027 円

(令和8年1月1日現在住民基本台帳人口136,753人)

5. 学 校 教 育

「自立する力」と「共生する姿勢」を身につけた児童生徒の育成

家庭・地域社会から信頼される魅力ある学校づくり

「考える力」「主体性」を伸ばす

学校教育の重点目標

1. 学習習慣の形成

- ①基礎的・基本的学力の定着
- ②個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指した授業改善の推進
- ③学習に前向きな学級・集団づくり
- ④特別支援教育の充実
- ⑤読書活動の推進
- ⑥ICTを活用した学習活動の定着
- ⑦外国語・国際理解教育の充実
- ⑧キャリア教育の推進
- ⑨家庭学習の習慣化
- ⑩プログラミング教育の推進

2. 自他を大切にする心の育成

- ①正しく前向きな自己決定を促す生徒指導の推進
- ②自己肯定感を高める言葉がけの推進
- ③道徳教育（人権教育）の充実
- ④いじめのない学級・集団づくり
- ⑤SDGs教育の推進
- ⑥長期欠席児童生徒対応の取り組みの強化
- ⑦コミュニケーション能力の育成
- ⑧共に学ぶ体験活動の工夫・充実

3. 健康・安全意識の確立

- ①健康意識・食品選択能力を育てる食育の推進
- ②健康的な生活習慣の定着
- ③運動意欲の高揚と体力の増進
- ④保健・体育授業の工夫・改善
- ⑤災害に備えた学校安全指導体制の充実
- ⑥地域の安全ネットワークの整備・充実
- ⑦児童生徒のメンタルヘルスの強化
- ⑧基本的な感染症対策の徹底

学校における具体的取組

<ol style="list-style-type: none"> ① ★年間1回は、算数数学検定を受検するように働きかける。 ※算数・数学検定ドリル（過去問題）の活用 ★相互授業参観を定期的に設定する。 ★授業において、説明・問答・活動を織り込んだ授業を展開する。 ★県標準学テにおいて、各学年各教科で半数以上の児童生徒が県平均点を上回る。 ★小学校において、教科担任制、交換授業の導入を積極的に行う。 ★校内委員会を定例化し、個別的教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用を図る。（通常の学級含む） ※特別支援教育木更津システムの活用 ★月1冊以上読書する児童生徒を90%以上にする。（読書0の児童生徒をなくす） ★市立図書館を効率的に活用する（電子図書を含む） ★情報化推進チームを組織し、教職員のICT活用指導力の向上を図る。 ★全教職員がICTを活用した授業を行う。 ★ICTを活用した実践例をまなび支援センターHPで共有し、活用する。 ★ALTとのチームティーチングを通して、外国語教育を充実させる。 ★ALTの活用を工夫するとともに外国の子どもと触れ合う国際交流の場を増やすことで、国際理解教育を推進する。 ★（小）6年生の就業密着観察学習を推進する。（中）2年生の職場体験学習を充実させる。 ★家庭学習啓発資料の作成・配付やA1ドリルの活用等、家庭学習の工夫や定着を目指した取り組みを行う。 ★プログラミング学習に関する連携協定を活用し、プログラミング教育の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ★「学校評価木更津システム」を効果的に活用する。 ★生徒指導の機能を活かした学級経営、授業づくりを推進する。 ★生徒指導部会を定例化し、関係機関との連携ネットワークを明確にする。 ★「考え、議論する道徳」を意識した特別の教科道徳の学習を、年35時間実施する。 ★地域行事に積極的に参加させる。（地域との連携・ボランティア活動等） ★「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則した各学校の基本計画を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。 ★いじめ実態調査を年間3回行う。 ★学級経営、いじめ防止対策（生徒指導・教育相談・望ましい集団づくり・発達段階による特性）に関する校内研修を行う。 ★児童生徒の自治的活動による「いじめ防止」を推進する。 ★「きさらび地域循環共生圏」に係る内容について学習する機会を設定する。 ★長欠対策部会を組織し、会議を定例化するとともに、長欠児童生徒の実態に応じた有効な支援を講じる。 ★市教育支援教室「あさひ学級・オンラインあさひ学級」を効果的に活用する。 ★S・C、心の相談員、SSW等の役割を明確にし、効果的に活用する。 ★市教育相談教室を効果的に活用する。 ★自らテーマを決めて研究できる体制をつくり、研究発表を行う場を設定する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ★（小）3年生以上で年間1回「栽培」→「調理」→「食す」体験学習を実施する。 （中）望ましい食生活に関する指導を、全学級で年間1回行う。 ★各教科・領域の横断的学習に配慮した食育計画を立案し、実施する。 ★一人一人の生活リズムを把握し、教育相談に活用する。 ★運動能力証合格率の上昇を目指す。 ★千葉県体力・運動能力調査の結果を分析し、体育授業の工夫・改善を通して、運動意欲の高揚と運動習慣の定着を図る。 ★保健の授業等で、生活習慣病の予防及びがん教育、薬物乱用防止教育、性に関する教育、性犯罪・性暴力の根絶に向けた取組の実施に努める。 ★保健指導の充実を目指し、学校保健委員会を年間1回行う。 ★学校安全ガイドラインに基づき、学校安全指導マニュアルの改訂を行い、機能的な学校安全体制を確立する。 ★実践的避難訓練（予告なし）を年間1回実施する。 ★AEDの使用を含め、心肺蘇生法及びアレルギー等、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。 ★道具を含めた学校施設の安全点検を日常化する。 ★児童生徒の安全意識の高揚を図る。特に自転車の乗り方については、交通安全教室を実施するとともに、横断歩道の渡り方や通行の仕方について、指導の強化を図る。 ★登下校の安全確保のための安全パトロール組織の充実を図る。 ★定期教育相談を年間2回以上実施する。 ★年間を通じて適切な換気を継続し、手洗い・咳エチケットの指導を徹底する。
--	--	--

教育委員会の重点施策

<p>A 算数数学検定を年間2回実施</p> <p>B スクールサポートティーチャー27名を配置</p> <p>C ALT23名を全小中学校に配置</p> <p>D 読書相談員を全小中学校に配置</p> <p>E スクールアクティブサポーター（SAS）の配置</p> <p>F 特別支援教育支援員の配置</p> <p>G 英語検定料補助金制度の実施</p> <p>H ICT支援員の派遣</p> <p>I プログラミング学習に関する連携協定を生かした活動の推進</p> <p>J デジタル地球儀を活用した授業改善</p> <p>K 学習支援員の配置（日本語指導の充実）</p> <p>L 医療的ケア支援事業の推進</p>	<p>A 生徒指導担当者研修会の開催（年2回）</p> <p>B 心の相談員の配置</p> <p>C 市教育相談教室の実施</p> <p>D 市教育支援教室「あさひ学級・オンラインあさひ学級」の活用</p> <p>E 市スクール・ソーシャル・ワーカーの配置・活用</p> <p>F 木更津市合同生徒会による連携</p> <p>G アート体験活動の推進</p> <p>H 「らぶーT」（きさらびゲストティーチャー）の更新および活用の推進</p> <p>I 長欠目標値、具体的取組の設定</p> <p>J 学習活動研究発表会の開催</p>	<p>A 市食育推進計画・アクションプランの活用</p> <p>B 学校安全ガイドラインの活用</p> <p>C 熱中症ガイドラインの活用</p> <p>D 部活動ガイドラインの活用</p> <p>E 防犯ブザー（小1）の配付</p> <p>F 安心・安全メール（LINE）の配信</p> <p>G 陸上教室の開催（木更津高専との連携）</p> <p>H 「救急こども安心カード」の活用</p> <p>I 防災ジュニアハイスクールの実施</p> <p>J 子どもの見守りサービスの拡充</p>
--	---	--

☆研修による指導力の確立☆

- ①夏季教職員研修に積極的に参加する
- ②魅力ある校内研修を推進する

☆家庭・地域社会との協働☆

- ①地域の特色にあわせた、学校支援ボランティア活動を推進する。
- ②コミュニティスクールを推進する

☆教職員のチーム力の向上☆

- ①校内組織を見直し、組織の活性化を図る
- ②働き方改革に向けた業務改善を推進する

①学校による自己評価（統一20項目）

学校評価木更津システム

②学校関係者評価 ③結果の公表

家庭・地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動

令和7年度 学校教育の重点目標及び推進方策

I 学校教育の重点目標

「自立する力」と「共生する姿勢」を 身につけた児童生徒の育成

—— 家庭・地域社会から信頼され、魅力ある学校づくり ——

II 推進方策

1. 基盤となる方策

- (1) 「家庭、地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動」を更に推進し、「地域に開かれた学校」、「地域に信頼される、魅力ある学校」をつくる。
 - ① 学校支援ボランティア活動推進事業の推進を図る。
 - ・ 校内交流会の定例化と実践発表会の開催方法を工夫する。
 - ・ 担当教職員とボランティアコーディネーターの連携の複線化を図る。
 - ・ 実践発表動画の活用を図る。
 - ② 学校評議員制度推進事業の充実とコミュニティスクールの推進を図る。
 - ・ 学校の教育活動を公開する。
 - ・ 外部評価委員としての活動の充実を図る。
 - ・ 学校評価「木更津システム」の結果に基づき、よりよい学校運営を推進する。
 - ③ 家庭との連携の重要性を認識し、教師と保護者の信頼関係を構築する。
 - ・ HPの充実 ・ 各種たよりの工夫 ・ 家庭訪問、三者面談、オープンスクール等の工夫
 - ④ 学校種間、研究機関、社会教育機関、清和大学、木更津工業高等専門学校、木更津高校、木更津東高校等と連携した取り組みの充実を図る。
- (2) P（計画）・R（調査）・D（実施）・C（評価）・A（改善）のマネジメント・サイクルを柱に、教育施策を推進し、学校教育の活性化に努める。
 - ① 学校評価「木更津システム」に基づいた学校評価及び教育施策評価を行う。
 - ② 人事評価制度を効果的に活用し、教職員の資質力量を高める。
- (3) 教職員の年齢層やニーズに応じた教職員研修を企画運営するとともに、授業改善プログラムを生かし、教職員の資質力量の向上を図る。
 - ① 初任者、ミドルリーダー研修を有効に活用する。
 - ② 夏季教職員研修に積極的に参加し、資質力量の向上のための研さんに努める。
 - ・ 若年教員が主体的に研修できる体制を整備する。
 - ③ オンライン研修を推進する。
- (4) 学校における働き方改革に向けた、業務改善の推進を図る。
 - ① 勤怠管理システムを活用し、教職員の出勤時刻の管理と、学校行事や業務内容の見直しを行う。
 - ② 「部活動ガイドライン」に沿った、適正な部活動運営を推進する。
 - ③ 学校事務共同実施の推進や、校務支援システムの有効活用を図る。

2. 学習習慣の形成

- (1) 学習指導要領に基づいた教育課程を編成するとともに、カリキュラムマネジメントに努め、効果的な教育諸活動を推進する。
- (2) 「授業改善」、「学習に前向きな学級集団づくり」、「学習評価の充実」のための、校内研究・教職員研修を計画的、継続的に推進する。
 - ① 層別教員の相互授業参観を推進し、校内における授業研究を充実する。
 - ② 小学校において教科担任制・交換授業を積極的に行う。
 - ③ 全国学力・学習状況調査の分析ツールを活用するとともに、県標準学力検査の結果を分析し、課題解決のための具体的取組を実践する。
- (3) 算数数学検定を積極的に活用し、基礎・基本の定着と学習意欲の喚起を図る。

- (4) 「第5次木更津市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書活動の一層の充実を図る。
- ①学校図書館蔵書管理システムを活用しながら、読書相談員や学校支援ボランティアと連携し、読み聞かせの充実や学校図書館の整備に努める。
 - ②「読書の日」の有効活用や電子図書サービスの利用等、市立図書館、家庭との連携に努め、読書に対する意欲の喚起を図る。
- (5) 共生社会構築のための特別支援教育の意義を理解し、特別な支援が必要な児童生徒の指導の充実に努める。
- ①保護者との連絡を密にしながら、関係機関との連携に努め、適切な就学支援を行う。
 - ②「特別支援教育木更津システム（第4版）」に基づき、校内の特別支援教育体制の確立を図る。
 - ③児童生徒の実態に応じて個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、校内委員会を定例化する。
 - ④スクールサポートティーチャー（SST）および特別支援教育支援員配置校は、特別支援教育に関する実践研究を行い、成果を広める。
- (6) 家庭学習の定着を目指し、AIドリル等を活用した、児童生徒一人一人の学習意欲や学習スタイル等に応じた個別支援の充実を図る。
- (7) 勤労意欲や正しい職業観を育成するためのキャリア教育の充実を図る。
- ①児童生徒の発達段階に応じた学習活動の中で、効果的なキャリア形成を図るために、「キャリアパスポート」を有効に活用する。
 - ②小学校では、第6学年で半日間程度の就業密着観察学習を実施する。
 - ③中学校では、第2学年で3日間程度の職場体験学習を実施する。
- (8) 外国語教育の充実と国際理解教育の推進に努める。
- ①学習指導要領の外国語活動および外国語科に対応した授業づくりの研修を進め、教職員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手（ALT）を効果的に活用することによって、言語活動を通じた指導を充実させる。
 - ②児童生徒のコミュニケーション能力の向上や異文化理解などの国際理解教育を推進し、グローバル社会に生きる児童生徒の育成に努める。
 - ③中学校3年生を対象にした英語検定3級の検定料補助制度を活用し、英語の学習意欲向上を図る。
- (9) 新しい社会Society 5.0に対応するための、情報教育の推進に努める。
- ①1人1台タブレット等の教育機器の効果的活用を通じ、児童生徒の情報活用能力の育成に努めるとともに、個人情報保護及び情報モラルの高揚（SNSに関する指導含む）に努める。
 - ②教職員の情報活用能力向上にむけた研修の充実に努める。
 - ③校内情報化推進体制の確立を図り、全教職員のICTの活用指導力の向上を図る。
 - ④木更津市におけるプログラミング学習に関する連携協定を生かし、プログラミング教育の充実を図る。

3. 自他を大切に作る心の育成

- (1) 教育活動全体を通じ、人権教育、道徳教育を推進し、児童生徒の人権意識の高揚に努める。
- ①児童生徒の自己肯定感の醸成を目指した適切な場面・適切なタイミング・適切な内容の言葉がけを意図的に行う。
 - ②「考え、議論する道徳」を意識した「特別の教科道徳」の学習を、年間35時間実施する。
 - ③地域の行事や学校支援ボランティア活動等の様子を紹介し、地域の行事に児童生徒が積極的に参加できるようにする。
- (2) 教職員の意識啓発と「いじめの予防」、「いじめが起きた場合の連絡指導体制づくり」を柱とし、いじめのない学校づくりを推進する。
- ①「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則し、各学校の実情に応じた「学校いじめ防止対策基本方針」を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。
 - ②学級経営、いじめ対策に関する校内研修をとおり、教職員・児童生徒・保護者が、「いじめはどこにでも存在する。誰でも加害者、被害者になり得る。」という意識を持つ。
 - ③児童会活動や生徒会活動等、児童生徒の自治的活動による「いじめ防止」を推進する。
 - ④定期的にいじめの実態を把握し、いじめが起きた場合には、迅速かつ組織的な対応ができるような体制を確立する。
- (3) 機能的な生徒指導体制づくりに努め、自己肯定感を高める生徒指導の一層の充実を図る。

- ①生徒指導に関する教職員研修を充実し、生徒指導の機能を生かした学級経営、授業づくりを推進する。
 - ②生徒指導部会を定例化し、生徒指導体制を的確に機能させる推進組織とする。
 - ③生徒指導上の諸課題に対しては、生徒指導体制の下、全教職員で連携し、組織的に対応する。
 - ④児童生徒の自己肯定感を高めるとともに、教職員が児童生徒の人間関係能力を育成するスキルを習得するための研修を推進する。
- (4) **教育相談体制を整備し、長欠、不登校児童生徒の予防的指導を強化するとともに、長欠児童生徒に対して、一人一人の実態に応じた支援を行うことで、長欠、不登校状態の改善・解消に努める。**
- ①的確な児童生徒理解を推進するため、定期的に教育相談期間を設置するとともに、日常的に教育相談が行われるような教職員の意識啓発に努める。
 - ②長欠児童生徒対策部会を定例化し、長欠、不登校児童生徒に組織的に対応する。
 - ③児童生徒、保護者からの相談窓口を明確にするとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の相談員、市教育相談教室などの学校外の相談機関との連携を図り、教育相談ネットワークを構築する。
 - ④市教育支援教室（あさひ学級・オンラインあさひ学級）を設置し、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援に努める。
- (5) **日常の児童生徒の様子に注意し、虐待が疑われる場合は、児童相談所をはじめとした関係機関と連携し、児童生徒の安全を最優先とした迅速な対応に努める。**

4. 健康・安全意識の確立

- (1) **「食」に関する指導の充実を図り、児童生徒の健康管理能力を高め、健康的な生活習慣の定着を推進する。**
- ①望ましい食生活に関する指導を、児童生徒の発達段階に応じ、意図的・計画的に行う。
 - ②毎日の給食指導の中で、「食」に関する指導の日常化を図る。
 - ③「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進する。
- (2) **保健体育に関する授業の工夫改善を行い、児童生徒の健康維持、体力向上に努める。**
- ①運動課題を明確にし、達成感を味わえる授業づくりに心がける。
 - ②保健の授業を計画的に実施するとともに、生活習慣病の予防及びがん教育、薬物乱用防止教育、包括的性教育の実施に努める。
 - ③児童生徒の健康づくりを推進するため、保健室経営の充実と年間計画に基づいた、計画的な保健指導の推進に努める。
 - ④学校保健委員会を定例化し、家庭、地域社会、学校の三者の協力により、組織的に児童生徒の健康づくりを推進する。
- (3) **学校安全指導マニュアルを改訂し、「学校安全ガイドライン」に基づいた機能的な学校安全指導体制を確立し、児童生徒の安全指導の充実を図る。**
- ①地震・火災・風水害・不審者対応に関する避難訓練（予告なし・引き渡し等）を実施し、児童生徒の安全意識及び危険回避能力を高める。
 - ②遊具を含めた学校施設の安全点検の日常化を図り、学校事故を未然に防止するシステムを確立する。
 - ③エピペンやAEDの使用法を含め、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。
 - ④「救急こども安心カード」を救急隊員等に提供することで、けがやアレルギー症状等の緊急時に、速やかで適切な対応と引き渡しを行う。
 - ⑤中学校では、防災ジュニアハイスクールを活用し、防災意識を高めるとともに、防災対応のスキルを身につける。
 - ⑥「熱中症ガイドライン」に基づいて熱中症の危険について正しく理解し、熱中症指数モニター等の活用により事故防止に努める。
- (4) **地域の安全ネットワークの整備に努め、児童生徒の安全対策の強化を図る。**
- ①学校支援ボランティア、PTA等と連携し、児童生徒の登下校の安全確保のための安全パトロール組織を構築する。
 - ②学校安全、交通安全等、安全に関する授業や行事等を取り入れ、児童生徒の安全意識の高揚を図る。特に自転車の乗り方については交通安全教室を実施するとともに、横断歩道の渡り方や通行の仕方について、指導の強化を図る。
- (5) **「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に沿って、各学校で適切な活動時間や休養日の設定等の基準に沿った部活動運営に努める。**

小・中学校一覽

木更津市立小学校一覽

令和7年5月1日現在

区分	学校名	電話番号	所在地	校長名	児童数 (人)	学級数	特別支援学級数					通級指導教室	
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	弱視	虚弱		難聴
1	木更津第一	23-1051	中央一丁目11番1号	齋藤 淳	383	12	2	2		0	1	1 1 (言語) (LA)	
2	木更津第二	23-2216	文京五丁目6番24号	土生 こずえ	405	12	2	2				1 (日本語・聴)	
3	東 清	98-0424	菅生114番地	藤平 善史	65	5	1	1					
4	西 清	22-2818	長須賀2445番地	伊東 昭雄	264	10	2	1				1 (言語)	
5	南 清	98-3193	ほたる野三丁目5番地	熊切 和也	275	12	2	1	1	1			
6	清見台	98-2351	清見台南一丁目15番1号	泉 隆史	556	18	3	3					
7	祇 園	98-3158	清川一丁目1番1号	渡邊 恭秀	549	17	4	3			1	1 1 (言語) (日本語・兼)	
8	岩 根	41-1303	西岩根8番1号	和田 貴士	358	12	2	2				1 (日本語・兼)	
9	高 柳	41-2085	高柳5932番地	木村 高士	397	13	3	2				1 (言語)	
10	波 岡	36-2820	畑沢1270番地	高橋 等	198	7	2	1		1		1 (言語)	
11	鎌 足	52-2004	矢那609番地	池田 健介	104	6	1	1					
12	金 田	41-0009	中島2931番地1	石渡 勇斗	469	16	2	1					
13	中 郷	98-0824	井尻978番地	西村 修	86	6	1	1					
14	富来田	53-2004	真里谷518番地	遠藤 秀夫	165	6	1	1					
15	畑 沢	36-3003	畑沢南二丁目16番1号	岩埜 理恵子	539	18	2	1				2 (言語)	
16	請 西	36-9331	請西二丁目8番1号	長島 則彦	527	18	2	2				1 (日本語・兼)	
17	八幡台	36-6696	八幡台四丁目5番1号	前沢 祐子	619	20	3	3			1		
18	真 舟	36-0058	真舟二丁目6番1号	岡崎 由子	866	27	2	3					
合 計					6,825	235	37	31	1	1	2	2	12

木更津市立中学校一覧

令和7年5月1日現在

区分	学校名	電話番号	所在地	校長名	生徒数 (人)	学級数	特別支援学級数			通級指導教室
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由等	
1	木更津第一	22-5321	中央一丁目10番1号	石井 隆久	310	9	2	1	1	—
2	木更津第二	36-2280	請西941番地	山元 竜二	533	15	1	1	0	1 (日本語・聴)
3	木更津第三	23-2645	永井作一丁目1番1号	石原 広敬	286	9	2	1	0	1 (日本語・兼)
4	岩 根	41-2096	高柳三丁目7番49号	中尾 崇	188	6	1	1	0	—
5	鎌 足	52-2092	矢那2797番地	前田 健太郎	59	3	1	1	0	—
6	金 田	41-0032	中島2820番地	佐久間 正哲	126	4	1	1	0	—
7	富来田	53-2020	真里谷275番地	白木 克也	91	3	1	1	0	—
8	太 田	98-7001	東太田一丁目2番1号	藤本 佳子	707	18	3	2	0	—
9	畑 沢	36-5021	畑沢1053番地1	吉岡 秀樹	328	10	2	1	0	—
10	岩根西	41-3681	久津間373番地	須田 雄策	155	6	1	1	0	—
11	波 岡	36-0911	大久保三丁目9番1号	大野 哲	465	12	3	1	0	—
12	清 川	98-0188	中尾1096番地	長島田鶴子	269	8	1	1	0	—
合 計					3,517	103	19	13	0	2

児童・生徒数の推移

各年5月1日現在

(単位：人)

区 分		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
小学校	児童数	6,930(247)	6,960(277)	6,867(311)	6,817(327)	6,740(341)	6,615(386)	6,825(402)
	学級数	248(51)	245(58)	243(60)	244(63)	241(65)	235(74)	235(74)
中学校	生徒数	3,367(118)	3,348(119)	3,358(135)	3,319(144)	3,350(146)	3,346(141)	3,346(142)
	学級数	107(27)	106(29)	105(28)	105(33)	103(32)	102(32)	103(33)
小中計	児童・生徒数	10,297(365)	10,308(396)	10,225(446)	10,136(471)	10,090(487)	9,961(527)	10,342(563)
	学級数	351(87)	351(87)	348(88)	349(96)	344(97)	337(106)	338(107)

() は特別支援学級

教育相談・教職員研修・学校支援事業

1. 目的

教育相談事業活動の充実を図るとともに、教職員研修・学校支援活動を推進し、子どもたちの健やかな成長と教職員の指導力向上を支援する。

2. 業務内容

(1) 教育相談

① 教育相談教室：精神科医、臨床心理士等による、発達障害や不登校等、学校生活上の様々な問題を抱えた子どもたちの教育相談活動を実施する。

令和7年度実施回数及び人数（1月1日現在）：40回（のべ105件） 83名（人数は実人数、対象児童生徒数）

②教育支援教室「あさひ学級・オンラインあさひ学級」の運営：不登校児童生徒の社会的自立を目指し、学校以外の場やオンラインを利用して、自主性、主体性の育成、学習支援、人間関係の改善を図るための支援を行う。

・開設場所：まなび支援センター内

・開設日時：月曜日～金曜日（学期は小中学校と同じ） 10：00～15：00

・通級者数（*令和7年度は、1月1日現在 オンライン通級、仮通級含む）

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7
人数	16	17	15	16	14	15	25	20	25	34	29	27	38	40	41	45	51

(2) 学校教育関係職員の研修

① 研究指定校：木更津市研究指定校の研修会の取組を支援する。

② 夏季教職員研修講座：教育相談・特別支援教育、授業改善等現場のニーズや今日的課題に即した研修を実施する。

③ 初任者研修、ミドルリーダー研修等教職員層別研修を実施する。

④ 外国語教育充実に向けた研修：学級担当が主導する外国語科、小中連携の在り方についての研修を実施する。（小学校外国語実践研修：4校で実施／小中連携外国語授業研修会：各校1名参加）

⑤ 情報教育の充実：コンピュータを含めた教育機器を活用した授業のあり方についての研修を実施する。

(3) 学校支援

① 小・中学校に外国語指導助手（ALT）の配置：児童生徒の英語でのコミュニケーション能力向上と国際理解教育推進のために配置し、効果的な活用方法について研究する。

② 算数数学検定：児童生徒の学習意欲の喚起を支援するため年2回実施する。

③ ICTを活用した授業実践の収集と提供：情報化推進リーダーと連携を図り各校のICTを活用した授業実践を収集し、誰でも閲覧できるシステムを構築する。

④ 学校ネットワークの活用促進および小・中学校のホームページの充実支援、センターホームページの充実を図る。

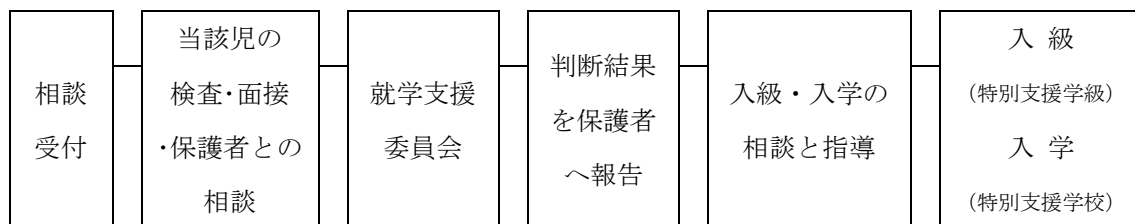
特別支援教育

『特別支援教育』とは、特別な支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものである。また、特別支援教育は、これまでの特殊教育の対象の障がいだけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。さらに、特別支援教育は、障がいのある児童生徒への教育にとどまらず、障がいの有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものである。

○ 就学支援委員会

就学支援委員会では、特別な支援が必要な児童生徒に対し、ニーズに合った教育的支援を医学的・心理的・教育的見地から総合的に審議検討し、適切な就学措置を判断して指導している。

・入級（入学）の手順



近年、就学支援委員会の対象となる児童・生徒が増えており、その重要性からも一層の充実を図っていかなければならない。

○ 知的障害特別支援学級

知的発達の遅滞や意思疎通に軽度の困難さのある児童・生徒に対して、発達段階に応じた教科指導や基本的生活習慣の確立、日常生活に必要な基礎的な技能の習得を目指しスモールステップで指導を行っている。

○ 自閉症・情緒障害特別支援学級

自閉症やそれに類するもの¹で、意思疎通や対人関係の形成に困難さのある児童・生徒、情緒障害²があるために学校生活や社会生活への適応が困難な児童生徒に対して、情緒の安定を図り、円滑に集団に適応し、より充実した生活が送れるように指導を行っている。

¹ アスペルガー症候群を含む広汎性発達障害

² 内在化のタイプ（選択性かん黙、不登校、過度の不安やうつ状態、身体愁訴を訴える場合など）と外在化のタイプ（かんしゃくや集団からの逸脱行動など）がある

○ 肢体不自由特別支援学級

日常生活動作に困難さのある児童・生徒に対して、障がいに基づく困難を主体的に改善・克服するための指導を行なっている。特に、自立活動の指導において、身体の動きの改善を図ることやコミュニケーションの力を育てることに重点を置いている。

○ 弱視特別支援学級

視機能が低下している児童・生徒に対して作業や行事等を通して生活体験の拡大を図ったり、補助具の活用の仕方を学ぶ場を設定したりして、障がいに基づく困難を改善・克服するための指導を行っている。

○ 病弱・身体虚弱特別支援学級

慢性の呼吸器疾患その他疾患の状態が持続的、または間欠的にあり、医療や生活の管理を必要とする児童・生徒に対して、健康状態の維持、改善に必要な習慣の育成や知識、技能の習得を目指し、指導を行っている。

○ 難聴特別支援学級

聴覚機能が低下している児童に対して、保有する聴力を最大限に活用し、多様なコミュニケーション能力を高めるための指導を行っている。

○ 言語障害通級指導教室（ことばの教室）

ことばの教室では、ことばに課題のある児童に対し、その要因をできるだけ的確に把握し、コミュニケーション上の困難を改善または軽減する教育を行っている。児童の自己表現の援助をし、社会生活への適応力を高めることなどを目標としている。

就学援助

○ 奨学金制度

本市奨学金制度は、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学基金により入学資金の支給及び奨学資金の貸し付けを行う。

・入学資金

学校種別	支給額
高等学校 高等専門学校	25,000円
大学	50,000円

・奨学資金（限度額）

学校種別	貸付額
高等学校 高等専門学校	月10,000円
大学 短期大学 高等専門学校(4・5年)	国・公立 月40,000円 私立 月50,000円

・年度別奨学資金新規貸付者数

年度	高校生	大学生	計
H26		2	2
H27		2	2
H28	1	1	2
H29	1	1	2
H30		2	2
H31(R1)		2	2

年度	高校生	大学生	計
R2		2	2
R3		2	2
R4		2	2
R5		1	1
R6		2	2
R7			0

○ 就学援助制度

経済的に困難な児童、生徒の保護者に対し、就学に要する経費の補助を行うもので、令和8年1月1日現在、31,528,813円の援助を行っている。

○ 特別支援教育就学奨励制度

特別支援学級へ就学する児童、生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費の補助を行うもので、令和8年1月1日現在、7,979,024円の補助を行っている。

区分	小学校	男	男	男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女	女	女	男女	男女	
		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	計	%	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	計	%	合計	%	
	在籍者数	516	561	584	594	602	609	3,466		530	561	531	566	567	604	3,359		6,825		
裸眼視力検査	受検者数	489	536	543	549	527	521	3,165	91.3%	503	521	483	489	484	479	2,959	88.1%	6,124	89.7%	
	1.0未満0.7以上の者	68	65	40	55	46	48	322	10.2%	58	48	42	58	43	49	298	10.1%	620	10.1%	
	0.7未満0.3以上の者	28	43	49	57	72	60	309	9.8%	33	54	48	54	65	57	311	10.5%	620	10.1%	
	0.3未満の者	6	10	13	19	17	26	91	2.9%	4	9	10	20	25	29	97	3.3%	188	3.1%	
	※裸眼視力省略の者	25	24	39	40	71	86	285	8.2%	27	37	47	72	83	119	385	11.5%	670	9.8%	
眼の検査	受検者数	499	0	0	561	0	0	1,060	30.6%	516	0	0	536	0	0	1,052	31.3%	2,112	30.9%	
	感染性眼疾患の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	1	0	0	0	0	0	1	0.1%	1	0.0%	
	その他の眼疾患・異常の者	15	0	0	12	0	0	27	2.5%	10	0	0	8	0	0	18	1.7%	45	2.1%	
聴力検査	受検者数	512	559	577		597		2,245	99.2%	527	558	529		566		2,180	99.6%	4,425	99.4%	
	難聴の者	6	5	2		0		13	0.6%	4	3	4		3		14	0.6%	27	0.6%	
耳鼻咽喉の検査	受検者数	495	0	0	1	560	0	1,056	30.5%	510	0	1	0	541	1	1,053	31.3%	2,109	30.9%	
	耳疾患の者	68	0	0	0	43	0	111	10.5%	59	0	0	0	39	0	98	9.3%	209	9.9%	
	鼻・副鼻腔疾患の者	77	0	0	0	59	0	136	12.9%	39	0	0	0	30	0	69	6.6%	205	9.7%	
	口腔咽喉頭疾患の者	11	0	0	0	7	0	18	1.7%	15	0	0	0	4	0	19	1.8%	37	1.8%	
歯の検査	受検者数	505	552	568	569	577	593	3,364	97.1%	523	551	518	549	554	592	3,287	97.9%	6,651	97.5%	
	処置完了の者	26	56	73	84	92	60	391	11.6%	37	54	63	90	71	80	395	12.0%	786	11.8%	
	未処置歯のある者	74	105	113	101	78	86	557	16.6%	80	74	110	93	64	57	478	14.5%	1,035	15.6%	
	COのある者	18	33	37	62	31	38	219	6.5%	14	22	15	44	38	53	186	5.7%	405	6.1%	
	歯列・咬合 1の者	35	59	71	66	58	40	329	9.8%	37	63	68	62	53	39	322	9.8%	651	9.8%	
	歯列・咬合 2の者	5	13	14	13	15	19	79	2.3%	8	15	11	19	15	22	90	2.7%	169	2.5%	
	顎関節 1の者	0	0	0	0	0	1	1	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	1	0.0%	
	顎関節 2の者	0	0	1	0	0	0	1	0.0%	0	0	1	0	0	1	2	0.1%	3	0.0%	
	歯垢の状態 1の者	19	32	60	62	61	40	274	8.1%	20	29	31	52	41	38	211	6.4%	485	7.3%	
	歯垢の状態 2の者	0	2	7	9	13	8	39	1.2%	2	2	7	8	3	5	27	0.8%	66	1.0%	
	歯肉の状態 1の者	15	16	22	23	22	38	136	4.0%	12	14	10	23	16	39	114	3.5%	250	3.8%	
	歯肉の状態 2の者	3	1	5	5	7	16	37	1.1%	4	1	5	5	3	11	29	0.9%	66	1.0%	
	その他の疾病の者	20	15	19	39	50	43	186	5.5%	45	14	13	54	57	48	231	7.0%	417	6.3%	
DMF歯数	D(永久歯の未処置歯数)						55	55								80	80		135	
	M(永久歯の喪失歯数)						3	3								4	4		7	
	F(永久歯の処置歯数)						69	69								124	124		193	
尿検査	受検者数	515	561	581	587	593	606	3,443	99.3%	529	556	528	557	560	594	3,324	99.0%	6,767	99.2%	
	蛋白陽性の者	1	1	3	0	0	5	10	0.3%	0	5	1	2	3	5	16	0.5%	26	0.4%	
	潜血陽性の者	1	5	2	2	1	3	14	0.4%	10	5	2	7	9	12	45	1.4%	59	0.9%	
	糖陽性の者	0	0	0	1	0	1	2	0.1%	0	0	1	0	0	0	1	0.0%	3	0.0%	
その他の疾病等の検査	受検者数	506	556	572	585	586	597	3,402	98.2%	524	554	525	559	554	550	3,266	97.2%	6,668	97.7%	
	栄養不良の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	
	肥満傾向の者	1	3	5	2	8	8	27	0.8%	0	6	4	3	4	1	18	0.6%	45	0.7%	
	脊柱側弯の者	0	1	0	1	2	4	8	0.2%	0	0	1	0	4	16	21	0.6%	29	0.4%	
	その他脊柱の疾病・異常の者	0	1	0	0	0	3	4	0.1%	0	0	2	1	0	0	3	0.1%	7	0.1%	
	胸郭の疾病・異常の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	
	四肢の疾病・異常の者	1	0	0	0	0	1	2	0.1%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	2	0.0%	
	感染性皮膚疾患の者	2	0	0	0	0	0	2	0.1%	0	1	0	0	0	0	1	0.0%	3	0.0%	
	アトピー性皮膚炎の者	40	43	52	39	30	44	248	7.3%	35	32	44	30	31	26	198	6.1%	446	6.7%	
	心臓疾患・異常の者	6	9	6	6	3	7	37	1.1%	7	7	3	3	6	7	33	1.0%	70	1.0%	
	ぜん息の者	39	40	32	28	32	27	198	5.8%	29	27	23	22	14	17	132	4.0%	330	4.9%	
	腎臓疾患の者	1	1	3	3	3	3	14	0.4%	5	2	2	3	4	4	20	0.6%	34	0.5%	
結核検査	問診実施者数	514	561	584	594	599	609	3,461	99.9%	529	558	531	566	567	601	3,352	99.8%	6,813	99.8%	
	・問診票から 要検討者数	0	0	1	0	0	0	1	0.0%	2	2	0	1	2	0	7	0.2%	8	0.1%	
	学校医による診察実施者数	0	0	1	0	0	0	1	0.0%	3	2	0	1	2	0	8	0.2%	9	0.1%	
	要精密検査の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	2	1	0	0	0	0	3	0.1%	3	0.0%	
	精密検査実施者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	2	1	0	0	0	0	3	0.1%	3	0.0%	
	(精密検査)胸部X線検査実施者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	2	1	0	0	0	0	3	0.1%	3	0.0%	
	(精密検査)喀痰検査実施者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	
	(精密検査)その他の検査実施者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	
	潜在性結核感染症の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	
	結核の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	
肥満の状況 (村田式による)	受検者数	514	561	581	590	598	605	3,449	99.5%	530	558	530	561	564	600	3,343	99.5%	6,792	99.5%	
	高度肥満(肥満度 \geq 50%)	2	7	8	13	8	10	48	1.4%	2	4	2	5	3	4	20	0.6%	68	1.0%	
	中等度肥満(50% $>$ 肥満度 \geq 30%)	6	13	22	38	30	45	154	4.5%	12	16	21	14	20	37	120	3.6%	274	4.0%	
	軽度肥満(30% $>$ 肥満度 \geq 20%)	10	18	37	26	37	39	167	4.8%	9	23	12	31	24	31	130	3.9%	297	4.4%	
	やせ(-20% \geq 肥満度 $>$ -30%)	1	5	8	6	18	22	60	1.7%	2	2	9	21	20	13	67	2.0%	127	1.9%	
	高度のやせ(-30% \geq 肥満度)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	

※「裸眼視力省略の者」は、「裸眼視力検査」の「受検者数」に含まない。

区分	中学校	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	男女	男女
		12歳	13歳	14歳	計	%	12歳	13歳	14歳	計	%	合計	%
	在籍者数	550	622	603	1,775		617	565	559	1,741		3,516	
裸眼視力検査	受検者数	441	424	393	1,258	70.9%	418	356	296	1,070	61.5%	2,328	66.2%
	1.0未満0.7以上の者	58	53	53	164	13.0%	71	63	43	177	16.5%	341	14.6%
	0.7未満0.3以上の者	66	64	59	189	15.0%	67	52	49	168	15.7%	357	15.3%
	0.3未満の者	44	28	24	96	7.6%	36	29	22	87	8.1%	183	7.9%
	※裸眼視力省略の者	104	184	197	485	27.3%	193	198	248	639	36.7%	1,124	32.0%
眼の検査	受検者数	518	0	0	518	29.2%	497	0	0	497	28.5%	1,015	28.9%
	感染性眼疾患の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	その他の眼疾患・異常の者	21	0	0	21	4.1%	12	0	0	12	2.4%	33	3.3%
聴力検査	受検者数	546		592	1,138	98.7%	612		541	1,153	98.0%	2,291	98.4%
	難聴の者	1		1	2	0.2%	0		2	2	0.2%	4	0.2%
耳鼻咽喉頭の検査	受検者数	0	584	0	584	32.9%	0	525	0	525	30.2%	1,109	31.5%
	耳疾患の者	0	71	0	71	12.2%	0	35	0	35	6.7%	106	9.6%
	鼻・副鼻腔疾患の者	0	64	0	64	11.0%	0	38	0	38	7.2%	102	9.2%
	口腔咽喉頭疾患の者	0	4	0	4	0.7%	0	4	0	4	0.8%	8	0.7%
歯の検査	受検者数	512	576	568	1,656	93.3%	590	533	505	1,628	93.5%	3,284	93.4%
	処置完了の者	52	51	59	162	9.8%	43	52	76	171	10.5%	333	10.1%
	未処置歯のある者	50	42	67	159	9.6%	47	42	64	153	9.4%	312	9.5%
	COのある者	21	39	48	108	6.5%	35	52	63	150	9.2%	258	7.9%
	歯列・咬合 1の者	93	123	100	316	19.1%	86	117	105	308	18.9%	624	19.0%
	歯列・咬合 2の者	11	25	24	60	3.6%	13	23	17	53	3.3%	113	3.4%
	顎関節 1の者	10	3	3	16	1.0%	10	5	9	24	1.5%	40	1.2%
	顎関節 2の者	3	1	6	10	0.6%	4	2	3	9	0.6%	19	0.6%
	歯垢の状態 1の者	72	115	94	281	17.0%	51	80	64	195	12.0%	476	14.5%
	歯垢の状態 2の者	3	10	21	34	2.1%	2	33	16	51	3.1%	85	2.6%
	歯肉の状態 1の者	49	82	76	207	12.5%	31	55	52	138	8.5%	345	10.5%
	歯肉の状態 2の者	2	16	21	39	2.4%	2	3	14	19	1.2%	58	1.8%
	その他の疾病の者	34	23	6	63	3.8%	24	12	9	45	2.8%	108	3.3%
DMF歯数	D(永久歯の未処置歯数)	86			86		68			68		154	
	M(永久歯の喪失歯数)	60			60		62			62		122	
	F(永久歯の処置歯数)	85			85		93			93		178	
尿検査	受検者数	542	609	590	1,741	98.1%	609	546	530	1,685	96.8%	3,426	97.4%
	蛋白陽性の者	6	3	7	16	0.9%	5	10	7	22	1.3%	38	1.1%
	潜血陽性の者	4	4	3	11	0.6%	25	20	18	63	3.7%	74	2.2%
	糖陽性の者	1	0	0	1	0.1%	2	0	0	2	0.1%	3	0.1%
その他の疾病等の検査	受検者数	536	596	583	1,715	96.6%	594	550	528	1,672	96.0%	3,387	96.3%
	栄養不良の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	肥満傾向の者	0	0	0	0	0.0%	1	0	2	3	0.2%	3	0.1%
	脊柱側弯の者	13	14	13	40	2.3%	35	37	49	121	7.2%	161	4.8%
	その他脊柱の疾病・異常の者	0	0	1	1	0.1%	0	0	1	1	0.1%	2	0.1%
	胸郭の疾病・異常の者	0	0	1	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%	1	0.0%
	四肢の疾病・異常の者	0	1	1	2	0.1%	2	2	0	4	0.2%	6	0.2%
	感染性皮膚疾患の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	アトピー性皮膚炎の者	16	23	15	54	3.1%	34	19	19	72	4.3%	126	3.7%
	心臓疾患・異常の者	3	8	7	18	1.0%	6	6	8	20	1.2%	38	1.1%
	ぜん息の者	28	9	16	53	3.1%	9	15	9	33	2.0%	86	2.5%
腎臓疾患の者	2	3	3	8	0.5%	3	2	0	5	0.3%	13	0.4%	
結核検査	問診実施者数	547	621	602	1,770	99.7%	615	562	554	1,731	99.4%	3,501	99.6%
	・問診票から 要検討者数	0	3	1	4	0.2%	0	3	0	3	0.2%	7	0.2%
	学校医による診察実施者数	0	3	1	4	0.2%	0	4	1	5	0.3%	9	0.3%
	要精密検査の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	精密検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	(精密検査)胸部X線検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	(精密検査)喀痰検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	(精密検査)その他の検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	潜在性結核感染症の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	結核の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
肥満やせの状況(村田式による)	受検者数	546	612	593	1,751	98.6%	613	555	544	1,712	98.3%	3,463	98.5%
	高度肥満(肥満度 \geq 50%)	16	13	10	39	2.2%	11	6	10	27	1.6%	66	1.9%
	中等度肥満(50% $>$ 肥満度 \geq 30%)	32	29	25	86	4.9%	25	19	19	63	3.7%	149	4.3%
	軽度肥満(30% $>$ 肥満度 \geq 20%)	32	28	41	101	5.8%	37	30	23	90	5.3%	191	5.5%
	やせ(-20% \geq 肥満度 $>$ -30%)	18	22	20	60	3.4%	25	23	11	59	3.4%	119	3.4%
高度のやせ(-30% \geq 肥満度)	2	0	0	2	0.1%	1	1	1	3	0.2%	5	0.1%	

※「裸眼視力省略の者」は、「裸眼視力検査」の「受検者数」に含まない。

学校給食について

1. 給食の実施方式

(1) 給食センター方式(10校)

木更津第一小学校、木更津第二小学校、清見台小学校、畑沢小学校、請西小学校、真舟小学校
木更津第一中学校、木更津第二中学校、太田中学校、畑沢中学校

(2) 自校親子方式(19校)

(東清小学校・南清小学校)、(祇園小学校・清川中学校)、(岩根小学校・岩根西中学校)
(高柳小学校・岩根中学校・金田中学校)、(波岡小学校・波岡中学校)、(鎌足小学校・鎌足中学校)
(中郷小学校・西清小学校)、(富来田小学校・富来田中学校) (八幡台小学校・木更津第三中学校)
※左に記載されている小学校で2校分、または3校分を調理し、右に記載されている学校へ配送。

(3) 自校単独方式(1校)

金田小学校

2. 給食費の額

給食費の1食単価 小学校265円、中学校320円

3. 給食の実施日数

各校学年ごとに191日を上限

4. 学校給食センター

木更津市学校給食センター維持管理運営包括業務委託により、HACCP(ハサップ)の考え方を取り入れたドライシステムでの衛生管理を実施し、安心安全な給食の提供を行っている。

※HACCPとは、食品の原材料受け入れから最終製品の出荷までの全工程で、食中毒菌や異物混入などの危害要因を予測・管理し、安全性を確保する食品衛生管理手法のこと。

○ 施設概要

所在地	木更津市潮見二丁目13番地1
敷地面積	5,474.93m ²
建築面積	1,912.55m ²
延床面積	2,524.08m ²
構造	鉄骨造2階建
開設年月日	平成21年4月1日

○ 事業概要

施設稼働日	年間199日以内
給食数	6,000食/日(最大提供可能食数)
配食校	給食センター方式による10校

5. 学校給食を活用した食育の推進

- 給食のお米は市内産コシヒカリを提供する中、米飯提供日100%有機米をめざして取り組んでいる。また地元の食材を積極的に使用し、生産者の顔が見える地産地消給食を推進するなど、学校給食を活用した食育に努めている。
- 「木更津産焼きのり」の成型、カットする際に出る「のりの切れ端」を給食に取り入れたり、皮付きで使用できる野菜は皮付きのまま調理したりすることで、食品ロスの削減につなげている。
- 1月24日から30日の「全国学校給食週間」において、地元の食材や調味料をふだんに使用した給食「きさらぎゅっ給食」を実施した。地元木更津の食材やその生産者について学校給食を通して知ること、愛着心を育み、食の興味関心、給食にかかわる人たちへの感謝の気持ちを育む機会となった。



「木更津産焼きのり」のはし切れを使った、

「ちくわののりあえ」

今日の給食「ちくわののりあえ」には木更津産焼きのりが入っています。こののりは、みなさんが食べている「木更津産焼きのり」を工場で作る時に出てくる「はし切れのり」です。

これがはし切れのり!

のりを機械で長方形に切ると、はしの部分が切り落とされます。

本当なら食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」と言います。ふだんは捨てられてしまうことが多いはし切れのりですが、今日のように和え物などの料理に使うことで食品ロスをへらすことにつながれます。食べ物を買いすぎない、ムダにしない、食べ残しをしないようにするなど、みなさんも自分にできることをやってみましょう!



6. 生涯學習

1 青少年の健全育成

青少年の成長と自立を実現するために、家庭、地域、学校・行政をはじめとした、多様な人間関係のなかで青少年を育み、支える環境づくりを推進し、地域の教育力の向上を図ります。あわせて青少年育成に係る団体・関係機関等の一層の連携と担い手育成に取り組みます。

(1) 青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上

- ・青少年の指導育成、保護、矯正に関する総合的施策や自立支援方策等について必要な事項を調査・審議するとともに、関係機関との連絡調整を図るため、青少年問題協議会を開催します。
- ・家庭、地域、学校・行政が連携して地域の教育力の向上を図るため、子どもたちの居場所づくりを進める「生き生き子ども地域活動促進事業」等の取り組みを進めるほか、これらの活動を支援する地域の担い手の育成に努めます。
- ・青少年の健全育成を推進するため、県と連携し青少年相談員を委嘱し、制度の活性化と活動の充実を図ります。
- ・制度の持続化や地域の青少年の指導者育成の観点から、将来の青少年相談員となる人材を確保するため、制度の知名度向上のための施策を実施します。
- ・地域での青少年健全育成活動を推進するため、子ども会育成連絡協議会、青少年育成木更津市民会議等の関係団体を支援します。

(2) 青少年育成事業の推進

- ・青少年の豊かな人間性を育み、自立と社会参加を促すため、生き生き体験キャンプ事業や野外体験促進事業、二十歳を祝う会事業など、青少年育成に関する各種事業を地域の参画により実施します。
- ・少年自然の家キャンプ場が、自然体験活動の拠点として一層活用されるよう、積極的な広報や老朽化した施設の計画的な整備に努め、利用促進を図ります。
- ・青少年のさまざまな活動を支援するため、アフタースクールボランティアやユースボランティアなど各種ボランティアを活用するとともに、各ボランティアの活性化を図ります。

(3) 青少年を取り巻く環境浄化と非行防止

- ・さまざまな問題に悩む青少年や保護者への支援を行うため社会教育指導員による相談活動（電話相談・来所相談・メール相談）を実施します。
- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、青少年補導員による地区街頭補導、乗車マナー指導、喫煙・飲酒防止キャンペーンなどの「青少年への愛の一声運動」を関係機関・団体との連携のもと行います。
- ・青少年の非行防止と健全育成に関する啓発のため、青少年健全育成だより「News Letter」の発行や青少年指導関係活動報告「青少年に愛の一声を」を発行するとともに、関係機関や学校、また地区住民会議や地域の各種団体と連携し、地域ぐるみの非行防止啓発活動に取り組みます。
- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関や青少年補導員・相談員・PTAな

ど地域の関係団体とともに、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を行います。

- ・青少年育成、非行防止に関わる関係機関・団体・有識者との連携を図り、まなび支援センターの青少年指導関係事業を効果的に運営するために、青少年指導関係運営協議会を開催します。

2 社会教育の推進

さまざまな暮らしの課題に対し、市民一人ひとりがあらゆる機会、あらゆる場所を利用して学習できる環境を整えるとともに、社会の変化に対応したまちづくりを推進するために、必要な学習機会を提供し、その活動を奨励します。

また、社会教育を推進する各機関・団体との連携・協力や社会教育施設の整備を図ります。

(1) 生涯学習・社会教育推進体制の充実

- ・広く民意を反映し、市民参画による社会教育行政の推進を図るため、社会教育委員会議に意見を求めます。
- ・市民に多様な学習機会を提供し、学習活動を側面から支援するため、職員の力量形成の向上に努めるほか、専門職員による学習支援体制の充実を図ります。
- ・社会教育機関が持続可能な地域づくりを推進する拠点として、SDGs 達成に貢献する多様な学びの場となるよう、関係職員の研修活動の充実に努めます。
- ・近隣市や県内の関係団体とも連携し、社会教育関係委員や社会教育関係職員の研修活動の充実に努めます。
- ・視聴覚教材を活用し、各種団体・機関等の学習活動を支援します。
- ・社会環境の変化に対応した「第2次生涯学習基本構想」と「基本計画」のあり方について検討、協議します。
- ・今後の公民館のあり方に鑑み、関係部等と調整します。

(2) 生涯学習・社会教育活動の充実

- ・家庭教育の不安や悩みを解消するため、家庭、地域、学校・行政が一体となって家庭教育力向上を図ります。
- ・家庭教育支援の拡充を図るため、官民含めた機関、団体との連携を図り、社会全体で子育てを支援する機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの環境を充実します。
- ・女性の社会参加の促進や地域社会・まちづくりへの積極的な関わりを推進するための、学習機会の提供に努めます。
- ・市民の多様で高度な学習ニーズに対応するため、市内高等教育機関と連携した市民カレッジの開催や市政に理解を深めてもらうことを目的とした出前講座を実施します。また、「動く教室」として生涯学習バスを運行します。
- ・市民による生涯学習活動の一層の拡充と生涯学習を通じたまちづくりの振興を図るため、若者語り場など生涯学習に関する啓発事業を実施します。特に、若手が中心的に関わる事業展開を目指します。
- ・より参加しやすい環境を整えるため、オンラインを活用した事業に取り組みます。
- ・社会教育関係団体との協働の事業を推進し、団体が自主的に行う社会教育活動の円滑な運営や一層の充実を図るため、求めに応じて助言・指導します。また、木更津市教育振興事業補助金交付要綱に基づき、対象となる事業に対して補助金を交付し活動を支援します。

・生涯学習活動により培ってきた知識や経験など、市民の生涯学習の成果をそれぞれの社会生活や地域社会に活かすための情報提供に努めます。

(3) 図書館サービスの充実

・利用者の要望及び社会の要請に対応するため、基本的運営方針、資料の収集方針、各年度ごとの事業計画の策定及び公表について検討し、運営の状況、目標の達成状況等に関して自らの点検及び評価を行うよう努めます。また、市民の生活や仕事に関する課題及び地域に関する課題の解決に向けた活動を支援するため、本市の実情に即した情報や各分野にわたる資料を収集・整備・提供するとともに、県内外の公共図書館、大学図書館や他機関との連携を図り、豊富な情報資産を活用して、司書によるレファレンス機能を充実させ、的確な情報提供を行います。さらに、ハンディキャップにより図書館への来館や読書が困難な市民に対して点字図書・録音図書・大活字本や電子図書を計画的に収集し、読書格差が生じないようにします。

・図書館遠隔地の市民の読書環境を整備するため、公民館図書室資料の整備・充実を図ります。

・子どもの読書活動の推進を支援するため、児童図書の整備、学校及び教諭、読書相談員との連携を強化します。

・地域住民の学びを支える図書館づくりを図るため、図書館ホームページ・図書館報等により情報を発信するとともに、利用者・地域・他機関との協働・連携を推進し、魅力ある講演会・講座・展示会等の事業展開に努め、利用者の一層の拡大を図ります。

(4) 公民館活動の充実

・市民の学習要求に応えるため、各種学級・講座を実施します。また、安心して暮らせる地域社会の構築を図るため、生活課題や地域課題の解決に向けた学級講座を実施します。

・家庭教育の充実を図るため、小中学校や地域の教育機関との連携を進めます。また、親同士のネットワークを広げるため、乳幼児期、児童期、思春期の各成長段階に応じた家庭教育学級や子育て講座を地域の状況にあわせて実施します。さらに、地域において乳幼児と親が孤立しないため、気軽に集える場を提供し、子育てを支援します。

・未来を担う青少年の健全な育成を図るため、サタデースクール事業等の青少年教育事業を実施します。また、地域ぐるみの青少年健全育成を促進するため、生き生き子ども地域活動促進事業を支援します。さらに、効果的な事業の推進を図るため、地区住民会議など、地域や学校、各種関係機関との連携・協働を進めます。

・高齢者の生きがいや健康づくりを促進するため、高齢者教室を実施します。また、豊かで活力のある長寿社会の実現のため、高齢者の持つ豊富な知識や経験を活かした他世代交流の機会を創出するとともに、社会参加を促進します。

・民意を反映した公民館運営の推進を図るため、各種事業の企画実施について調査・審議する公民館運営審議会を開催します。また、地域住民の自主的な社会教育活動を推進するため、市民参画による事業を進めます。さらに、地域の絆づくりと新たなコミュニティ形成を図るため、地域住民や各種関係機関との協力支援体制を構築します。合わせて、地域自治の拠点として行政と地域をつなぐ役割を担い、まちづくり協議会の支援に取り組みます。

(5) 生涯学習・社会教育施設の整備（郷土博物館金のすずを除く）

・快適に学習できる環境を維持するため、建物や設備の不具合を補修するほか、備品の管理に努めるなど、適正な維持・保全及び整備に努めます。

3 市民文化の充実

市民がふるさとの歴史や文化に誇りと愛着を持つために、地域の芸術文化を育む環境づくりを図りながら多様な芸術文化活動の推進をめざします。また、歴史的な文化遺産と豊かな自然を後世に伝えていくため、埋蔵文化財、古文書、民具、伝統行事などを保存し、継承するとともに、それらの保管管理ができる施設の整備に努めます。

(1) 芸術文化活動の推進

・児童生徒の芸術文化にふれる機会を充実させるため、音楽鑑賞教室等の事業を企画します。また、市民を対象にプロの芸術家などによるコンサートやアート制作ワークショップを開催し、多くの老若男女がアートと直接ふれあうことができる環境づくりを行い、本市全体に少しずつアートの概念を根付かせながら、芸術文化の向上を図ります。また、収蔵作品の適正な保存、管理及び活用に努めます。

・各種芸術文化団体の自主的な活動を支援するため、情報提供や助言するとともに、市内の芸術文化団体が実施する事業へ補助金を交付します。さらに、市民会館大ホールが利用できないため、市外の対象施設を利用する場合に使用料の一部を補助します。

(2) ふるさと文化の継承

・市内に所在する有形・無形の文化財、史跡、天然記念物の保護を図るため、文化財の指定・活用・周知に努めます。また、市内の文化財を保存・伝承する団体を支援するため、求めに応じた助言・指導とともに補助金を交付します。

・埋蔵文化財保護のため、開発事業に対応した調整を図り、必要な発掘調査や整理作業を実施し、調査報告書を刊行して記録保存に努めます。また、発掘調査で出土した資料を博物館の展示に活用し、適正に管理するよう努めます。

・本市の歴史や文化、また豊かな自然への関心を高めるため、新たな「木更津市史」を編さん・刊行し、調査・研究成果を活用した学習活動の支援や公開講座の実施に努めます。

・博物館事業の充実を図るため、学校の受入れ等を積極的に行う博学連携事業及び市民が博物館事業の運営に参画する市民との連携事業をさらに推進し、利用者の増大に努めます。

・金鈴塚古墳出土品の国宝化をめざして推進事業に取り組むとともに、国の機関等との共同研究及び資料整理を行い、研究報告書を刊行します。

・博物館事業の充実を図るため郷土に関する調査研究を、市民、研究者及び研究協力機関と協力して推進し、その成果を企画展事業や講座、体験教室等に反映させます。

(3) 文化施設・郷土博物館金のすずの整備

・市民文化の発展に資するため、新たな中規模ホールの活用方法の検討を進めます。また、埋蔵文化財を適正に管理するため、公共施設再配置計画の中で施設の整備に努めます。

4 人権擁護の推進

社会状況の変化とともに発生しているさまざまな差別意識を解消し、相互に基本的人権を尊重し、すべての人が自分らしい生き方のできる社会を実現するために、学校教育・社会教育における新たな人権教育の充実を図ります。

(1) 人権意識の高揚

- ・差別のない人権が尊重される社会の実現のため、人権の理念を普及し、その理解を深めるための研修を行います。
- ・人権問題に対する市民の理解を深め、人権に対する意識を高めるため、啓発活動を推進します。

社会教育事業

○ 生涯学習課事業

事業名	概要
社会教育委員会議	広く民意を反映し、市民参画による社会教育行政の推進を図るため、年4回開催。
人権教育研修会	人権教育のより一層の推進を図るため講演会を開催。 実施日：令和8年2月24日（火） テーマ：大人のためのいじめ予防授業～いじめの理解と保護者支援者のかかわり方～ 講師：朝妻 理恵子氏（リバティ法律事務所 弁護士）
家庭教育支援事業	困難を抱えた子どもを持つ保護者のための家庭教育支援事業として、講演会を開催。 実施日：令和8年3月11日（水） テーマ：幼児期の発達や成長を支えるためにできること～コミュニケーション・年齢に応じたかかわり方を学ぶ～ 講師：成瀬 榮子氏（NPO 法人セカンドスペース理事長）
家庭教育学級交流研究集会	家庭教育学級に参加する意義として、保護者同士のつながりの重要性を組み入れた交流集会を開催。 実施日：令和7年7月15日（火） テーマ：豊かな子育てのための「親子コミュニケーション」と「人とのつながり」
きさらづ市民カレッジ	高等教育機関等と連携して高度な学習機会を提供し、市民の多様な学習要求に応えるとともに生涯学習の振興を図ることを目的として、3コース（地元学コース、清和大学・清和大学短期大学部コース、木更津高専コース）全21回の講座を開催。 ※文化課「木更津市史編纂事業公開講座」、郷土博物館金のすず「企画展」「特別展」と連携。
生涯学習バス「まなび」	生涯学習の「動く教室」としてバスを運行し、公民館事業等をはじめ、市民の生涯学習活動における体験的学習の機会拡充を図る。
きさらづ出前講座	市職員等が市民の学習会、集会、会合に出向き、市の施策や取り組み、身近な生活に役立つ情報などについて説明する講座を92メニュー提供し、市政へ関心と理解を深めることを目的として実施。
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機材及び教材を管理し、教育機関・学校等へ視聴覚機材及び教材を配達し、視聴覚教育の充実を図った。
少年自然の家キャンプ場利用促進事業	少年自然の家キャンプ場を会場に、青少年関係団体等協力の下、模擬店の出店や焚火・竹細工・野外炊さんといった体験ができる「キャンプ場まつり」を令和7年6月7日（土）実施。313人の参加があり、家族連れでの参加が多くあった。
野外体験活動促進事業	子どもたちの体験活動を促進するためのモデルとなるような事業や、事業を計画するための参考となるようなプログラム等の資料作成事業を実施。団体への委託事業。
青少年問題協議会	青少年の指導育成、保護、矯正に関して関係機関との連絡調整・情報共有を図るべく協議会を7月、3月に実施。

アフタースクールボランティア養成事業	子どもたちが放課後や週末に自由に集い、遊び、学べる場をつくり、活動を手助けするためのボランティアを養成、組織化し、子どもたちの地域での活動を支援するための事業として年間を通し、生涯学習課、公民館事業への協力や定例会等を実施。
生き生き体験キャンプ事業	中学生及び小学6年生を対象に、ふるさとの自然環境を生かした自然体験活動の中で子どもたちの豊かな感性を養い「生きる力」を育むとともに、地域のリーダーを養成することを目的として実施。令和7年度は、アフタースクールボランティアの会主催・木更津市教育委員会共催で実施予定であったが、キャンプ場の休止に伴い中止。
生き生き子ども地域活動促進事業	学校・家庭・地域社会の連携の下で、子どもたちの体験活動機会を意図的に作り出し、児童・生徒が積極的に地域活動に参加するような事業を実施。地区住民会議への委託事業。
二十歳を祝う会 (旧成人式)	二十歳としての自覚を持ち、「自らが作る二十歳を祝う会」という意識を高めるため、当事者自らが実行委員会方式で企画・運営を行う。令和8年1月11日(日)かずさアカデミアホールにて実施。※令和4年度より成人式から二十歳を祝う会に名称変更。
放課後子ども教室推進事業	家庭、地域、学校・行政が連携し、子どもたちが放課後に安全・安心に過ごせる居場所づくりを目的として市内6小学校区に6教室設置。
ユースボランティア登録制度	地域での小中学生の活動支援、及び青少年の奉仕活動・体験活動の機会を提供するため、高校生・大学生等のボランティアを登録。
若者語り場発「リバイバル成人式」	新型コロナウイルス感染所のまん延に伴い、成人式ができなかった世代を対象に、今できる形で成人式を再現(リバイバル)したものを開催。

○ 文化課事業

事業名	概要
芸術文化振興事業	市内小中学校で音楽鑑賞教室を行い、芸術鑑賞の機会をつくることができた。また、市所蔵の美術品を市民一般へ展示・公開するとともに、収蔵書画の燻蒸および収蔵場所のエタノール清掃を行い、適切な管理を図った。
芸術文化に親しむまちづくり振興事業	市民を対象としてプロの音楽家や芸術団体等を招いたコンサートの開催をするとともに、木更津駅周辺の公共施設等を活用したアートのワークショップを実施して芸術文化の振興を図り、本市全体にアートの概念を根付かせながら市民の文化レベルの向上を図った。
芸術文化活動補助金事業	「木更津市文化協会」等の社会教育団体が行う教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し芸術文化活動の支援を図った。
市民会館市外利用等補助金事業	市民会館大ホールの利用を停止していることから、代替施設の利用料を補助することによって、市民の文化・芸術活動の維持・振興を図った。
金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業	金鈴塚古墳の魅力を紹介するイラスト・パンフレット等を市内小学校の対象児童へ配付して、ふるさと木更津への愛着心の醸成を図った。
文化財保護審議会	木更津市文化財保護条例の規定に基づき設置され、市内に所在する文化財の保存・活用に関して意見を具申し、必要な調査を実施して、本市文化財行政の円滑な推進と文化財の保存・活用に寄与した。
文化財保護事業	文化財全般の保護と活用を図るため、「金鈴塚古墳」「貝渕木更津県史蹟」等の市内に所在する、指定文化財及びその他の文化財の管理、出土した金属製品を対象とした文化財保存処理を行った。
文化財保護事業補助金事業	「県指定無形文化財木更津ばやし保存会」等の社会教育団体が行う、教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し有形無形文化財の継承・保存の支援を図った。
市内遺跡発掘調査事業	市内の中小規模開発や個人住宅建設等に対応して、試掘、確認調査を実施して開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るとともに、土地区画整理事業に伴い発掘調査を行った千束台遺跡群について整理作業及び調査報告書の刊行を行い、文化財の保護活用を図った。
木更津市史編集委員会	附属機関設置条例の規定に基づき設置され、新たな「木更津市史」の編さん・刊行に関し、市史刊行計画の審議と事業検討を行い、事業遂行に必要な事項を市長に答申又は建議することにより、木更津市史編さん事業の推進に寄与した。
木更津市史編さん事業	「木更津市史」の編さんに向けて各部会が分担して史・資料の調査、研究に取り組み、「史料編8 近現代1」および「木更津市史研究8」について編集を行った。また、調査・研究成果を市民に提供するため木更津市史デジタルアーカイブの公開を継続するとともに「きさらづ市民カレッジ」と共催で公開講座を開催した。
将棋文化継承・普及関連事業	木更津市名誉市民でもある丸山忠久（まるやまただひさ）九段の名前を冠した「丸山杯小中学生将棋大会」を開催し、日本に古来から伝わる将棋を通じて郷土の歴史文化への関心を高めた。

公 民 館

○ 中央公民館

事業名	実施回数	事業概要
こども自然体験事業(CKC)	7	中央・東清・清見台の3公民館合同で自然体験事業を実施。異学年や他の地域の子どもたちと交流することで、自主性や社会性を育み、自分らしさを発見することを目的に行った。
七夕飾りづくり (サタデースクール事業)	1	七夕飾りづくりを通じて季節の行事に親しみ、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。
わくわくワークショップ (サタデースクール事業)	1	創作活動を通じて参加者の感性・芸術性を養う機会を提供し参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
わくわくサイエンス教室 電子オルゴールづくり (サタデースクール事業)	1	楽しみながら電子工学を学ぶ機会を提供し参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
クリスマスリースづくり (サタデースクール事業)	1	クリスマスリースづくりを通じて季節の行事に親しみ、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。
正月お飾りづくり教室 (サタデースクール事業)	1	お飾りづくりを通じて伝統文化に触れる機会を提供し、参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
和菓子づくり (サタデースクール事業)	1	和菓子づくりを通じて調理への興味・関心を高め、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。
うどんづくり (サタデースクール事業)	1	調理実習を通して食育を学ぶ機会を提供し参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
おしゃべりたぬき学級 (家庭教育学級)	11	小中学生期の子育てや家庭教育のあり方について考えるとともに、子育てを通じて地域の母親の交流と仲間づくりをすすめた。
ステップたぬき学級(思春期学級)	11	高校生以上の保護者を対象に、思春期の子ども達の心身の成長や家庭教育のあり方について情報交換や学習を通して、地域の保護者の交流と仲間づくりを目的として実施。
フリースペース手作りおもちゃ屋 (家庭教育支援事業)	9	簡単なおもちゃ作りを通して、乳幼児や保護者の情操を培うとともに、同世代の子どもを持つ親同士との交流、仲間作りに寄与する。また、若い世代の利用促進を図るために開催した。
中央ふれあい学級(高齢者学級)	11	高齢者を取り巻く諸問題について見識を広めるとともに、高齢者の生きがいつくりや健康増進を図ることを目的に開催した。
いきいき健康教室	5	「参加者の健康寿命を延ばし、歩行機能の低下を防止する」をテーマに、実習や講義を通して多角的な面から健康について考える場を提供した。
中央郷土史講座	8	木一中学校区を中心とした郷土の歴史、文化・伝統などについて学習し、地域に発信すると共に郷土愛を育む機会を提供した。本年度は”真里谷武田氏以降の木更津～木更津まちの発展～”と”九十九里地域から房総半島の太平洋戦争をみる～”をテーマに学習した。
スマートフォン活用講座	1	高齢者層を対象として、スマートフォンの操作方法や機能について学ぶ機会を提供することにより、生活のツールとしてより役立させていただくことを目的とした。
ポランの広場	5	ハンディキャップを抱える人に対し、可能な範囲で実施出来る体験活動や学習機会を提供することにより、仲間との交流や余暇充実の一助となった。
クラフト教室	2	創作活動を通して感性・芸術性を養うと共に、達成感を味わいながら日々の生活を潤す機会とすることを目的として開催した。
パッチワーク教室	2	創作活動を通して感性・創造性を養い、作品が完成する喜びや達成感を味わい、日々の生活の充実と自身の心に前向きな気持ちを生み出し、暮らしの豊かさをもたらすことを目的として開催した。
著作権講座	1	著作権侵害の実例から、著作権に対する正しい知識を学習するための講座を開催し、受講者の情報発信力を向上させることを目的とした。
利用者懇談会	3	公民館の目的や役割、利用方法等について理解を深めるとともに、利用団体相互の情報交換の場となった。地域交流センター移行に関する説明を行った。
中央公民館だより発行事業 (公民館HP含む)	12	公民館事業の報告を中心に、生涯学習情報や身近な地域の問題を取り上げ、地域に対して広く情報を発信した。
フリースペース活用事業	通年	今年度もフリースペースとして「自習&ワークスペース」を開設し、多くの学生や社会人が利用した。
図書貸出事業	通年	図書の貸出、整理など、資料の提供を行った。
中央地区まちづくり協議会 (事務局)	8	地域で活動する多様な団体が会する場として、57地域課題を主体的に解決していくための会議や事業を実施した。今年度は、コミュニティカフェの開催や避難訓練など防災関連のイベントを実施した。

中央コミュニティカフェ (中央地区まちづくり協議会)	12	まちづくり協議会との共催事業として、地域住民が気軽に立ち寄り交流する機会を提供すると共に、地域課題を探るコミュニティカフェを開催した。
木更津第一中学校区住民会議 (事務局)	12	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換を通じて、青少年健全育成のための交流を図った。
第4回中央公民館まつり (事務局)	1	敬老会と合同で開催し、公民館利用サークルや地域内で様々な活動をしている団体や個人の学習成果の発表と交流の場を目的に開催した。

○ 木更津市立公民館（全体事業）

事業名	実施回数	事業概要
さとやまアドベンチャー	1	木更津の里山の自然を生かした体験を提供し、自然とのふれあいやそこに住む大人たちとの交流を通し、子どもたちの豊かな心と身体を育み、自然豊かな木更津の魅力を再発見する目的として、小学生を対象にツリーイング・竹細工製作・草木染め・きのご観察・ネイチャーゲーム・どんぐり工房・鑑賞炭などを実施した。市内公民館が連携して実施し、より多くの参加者を受け入れることで公民館活動を広く周知することとなり、大きな意義があるものとなった。
たこづくり・たこあげ大会	1	子どもたちが自ら凧を作り、それを揚げることで手作りの楽しさと見えない風や空気の抵抗とそれを利用する力学を意識し、不思議なことに目を向けるきっかけとする。また、空に舞い上がることで達成感を得る。市内公民館が連携して行い、公民館活動を広く周知することとなり大きな意義のあるものとして実施した。
スマートフォン活用講座	2	スマホ講座によってデジタルデバイドの縮小につながった。日頃関わることの少ない他の地域にお住いの受講者が関わることができ、操作の方法だけではなく、幅広い交流の場とすることが出来た。
ネットのウソの見抜き方	1	デジタル化が進む現代において、SNSのトラブルや詐欺などがニュースでも多く取り上げられる中で、ネットの情報といかに向き合うかを身につける機会となった。
暮らしにAIをコンパイン！知って得する！生成AI講座	1	近年使われるようになってきた生成AIについて学習することで、生活がより便利になったり、日頃の学習をより深める機会となった。

○ 木更津市立公民館（ブロック連携事業）

事業名	実施回数	事業概要
Aブロック (中央、文京、清見台、桜井)	5	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級に関する講座における連携（10月～2月）4回 まちあるき、フラワーアレンジメント、味噌づくり、骨・カルシウムセミナー 和太鼓と篠笛の演奏会（3月）1回
Bブロック (岩根、岩根西、西清川、金田)	8	<ul style="list-style-type: none"> 歴史学級連携事業（房総の彫物大工「波の伊八」（講義、移動教室）） 2回 高齢者学級連携事業（音楽と落語のつどい） 1回 家庭教育学級連携事業（移動教室、教育講演会、整理整頓の技、子育て世代のマネープラン） 3回
Cブロック (畑沢、波岡、八幡台、鎌足)	3	<p>各公民館で主催する講座をブロック事業として実施することによって、各公民館の連携と事業の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年事業（陶芸教室、矢那川観察会）主催 鎌足公民館 家庭教育（教育講演会）主催 畑沢公民館 成人教育（健康講座）主催 八幡台公民館
Dブロック (富来田、東清、富岡、中郷)	9	<ul style="list-style-type: none"> 入門!! 大人の陶芸教室 6回 そばうち体験 1回 戦国ウォーク 1回 フラワーアレンジメント 1回

○ 富来田公民館

事業名	実施回数	事業概要
子ども体験教室※一部共催 (サタデースクール事業)	4	地域の方の協力を得て、梅狩り実施し、梅ジュースづくりや梅干しづくり、お飾り作り、キーホルダー・メモスタンドづくりを実施。大人と子どもが楽しく時間を過ごし、異年齢交流を深めた。
ワクワク子ども陶芸教室※ (サタデースクール事業)	4	富岡公民館にて実施。陶芸を通してものづくりの楽しさを学び、子どもの自由な発想を活かしながら作品を仕上げ、子ども同士の交流を深めた。
防災キャンプ (サタデースクール事業)	1	いざという時の為に、公民館での避難所開設や、火起こし、炊き出し訓練、非常食の試食などを行い、実際の災害時に必要な行動を学ぶ。
花いっぱい運動※ (生き生き子ども地域活動促進事業)	2	小中学生ボランティア及び青少年健全育成会議の役員、青少年相談員、サークルのボランティアが参加し、6月と11月に、公民館の花壇の植替え及び除草作業を実施した。
少年少女スポレク大会(ポッチャ) (生き生き子ども地域活動促進事業)	-	富来田地区青少年健全育成会議で8月と12月にポッチャ体験を実施した。
きらきらひろば (富来田家庭教育学級)	通年	乳幼児・小学生・中学生の保護者を対象に、館内のフリースペースを利用できる場を準備し利用を促した。
いちごくらぶ (富来田家庭教育学級)	1	家庭教育学級を知ってもらう為に、乳幼児から小中高校生の保護者を広く募集し、地域のサークルさんを講師にクラフト体験を行いながら保護者同士の交流を深める。
ふくた健康教室	7	東洋医学、フレイル予防等健康と予防に関する理解を深め、学級生の健康増進に努めた。
富来田みどり学級※ (高齢者学級)	10	事前に学級生と相談し、年間計画を策定。ものづくり体験、防災、涵養を高める学習、芸術鑑賞等を実施した。
富来田ふるさと講座	10	富岡、富来田地域等の郷土に関連する歴史を学び、ふるさとの再発見を通して、受講生自身が学びを語れるようになる機会を提供する。
ディスカバリーウォーキング※	2	主に中高年層を対象とし、歩きを通して「新たな発見」を目指すと共に体力・健康寿命の向上を促進させることを目的に実施した。
焙煎からはじめる！コーヒー講座	1	主に高齢者を対象に、共通の趣味をつくる機会を提供し、仲間づくりの機会を提供する。
男の料理教室	3	60歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯の男性などを対象に、ふるさと富来田の地産地消の食材を活用して料理経験の浅い人でも「健康」「栄養面」に配慮した料理を全3回調理実習を行い楽しく実食を行い仲間づくりを目的とする。
中学生が教える！ふくたスマートフォン教室 (地域課題講座) ※	1	異世代間交流を軸に、富来田中学校とその生徒の協力の下、高齢者がスマホに慣れ親しむ機会とすべく実施した。
地元で穫れた大豆を使った味噌づくり体験	1	地元で収穫した大豆を材料に、麴づくりから行う味噌づくり体験の機会を提供し、地域の魅力を発信する機会とした。
自習スペース	2	長期休暇期間や受験シーズンのみ、自習スペースとして空いている部屋の開放や環境の整備を行った。
利用者懇談会	1	公民館の目的や使用方法の再確認、公民館使用料金の改定、各団体の交流を兼ねた懇談会を実施。
富来田地区まちづくり協議会	通年	役員会、総会、各事業の実行委員会を経て、節目となる第21回富来田地区納涼大会した。
展示ホール活用事業	通年	地域住民、博物館等の協力を得て、展示ホールを開放し、市民作品や博物館情報の公開を行った。
公民館だより発行事業	12	富来田公民館だよりの各地区全戸配布による公民館情報等の提供(富来田公民館だより)その他に、小中学校等へも配布した。
地域活動支援事業	通年	区長会、富来田ふれあいの会、武田川コスモス菜の花ロードの会、元旦マラソン大会実行委員会など、地域で活動する団体・組織の求めや必要に応じた助言・援助を行った。
富来田地区市民文化祭	1	富来田商工祭と同時開催。各団体・サークルの作品展示や舞台での発表の場となった。
富来田地区青少年健全育成会議※ (事務局)	6	事務局として総会、役員会を開催し、地域の子どもの健全育成に関する情報交換、花いっぱい運動の事業運営を協力して行った。
図書貸出事業	通年	図書の貸出・整理、リクエストの受付、各種資料の提供。

※富岡公民館と共催事業

○ 岩根公民館

事業名	実施回数	事業概要
子どもなんでも体験教室 (サタデースクール事業)	5	3Dプリンター体験講座・バルーンアート・正月飾り・凧づくりを通して、物ごとへの関心を高めた。
岩根つくし家庭教育学級	10	小中学生を子どもに持つ親を対象に、家庭教育の役割等、子どもの心と身体について学習し、子育てを支えあう仲間づくりの機会とした。
岩根すぎな家庭教育学級	11	高校生以上の思春期の子どもを持つ親を対象に、家族や地域との関わり方を学びながら、家族や地域を支えあう仲間づくりを目指した。
岩根健康学習会	10	健康と病気予防の大切さを学び元気に過ごす知恵を体得した。話し合い学習を通して、健康を支え合う仲間づくりを進めた。
岩根郷土史講座	11	郷土に関連する歴史を学び、ふるさとの再発見を通して、郷土を愛する心を育てた。
利用者懇談会	1	使用料改定・公民館活動への理解を深めるとともに、利用者相互の交流を図り、もって公民館活動の推進を図った。
公民館報発行事業	12	地域の生涯学習、公民館活動、地域情報を発信し、地域内の社会教育及び公民館活動の振興を図った。毎月1回の定期発行、全戸配布を行った。
青少年育成岩根東地区住民会議(事務局)	7	青少年健全育成に関わる団体相互の連絡調整を図るため定期的に会議を開催し、地区内の青少年健全育成の機運を高めた。また、文化祭の模擬店展出店を行なった。今回から親子と友だちで地域の偉人、石造物の課題に答え、思い出になる写真撮影に挑戦した『メモリフォトラリー』を実施。岩根中学校1年生を対象に岩根地区に関わりのある13人の働く先輩から職業観・人生観等を学んだ。中学2年生には、地区内の企業で、職場体験を実施した。
岩根公民館運営協力委員会(事務局)	4	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得た。
岩根東地区まちづくり協議会(事務局)	4	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決していく組織。また、コミュニティカフェ事業では、公民館との共催で「にじいろサロン」を今年度も実施した。
図書貸出事業	通年	市立図書館の協力支援のもとに、地区住民の読書活動の普及促進を図った。
にじいろサロン	10	まちづくり協議会との共催事業として、地域住民が音楽やパフォーマンスを楽しむ機会を作るとともに、地域課題を探るコミュニティカフェの場としても位置付け実施した。
岩根ほがらか高齢者教室	10	学びを通じて高齢者の生きがいづくりや健康増進を図るとともに、高齢者を取り巻く課題の理解を促進した。
第68回岩根東地区文化祭(共催：同実行委員会)	1	敬老会も加わって、展示・発表・イベントの3部門を盛大に開催した。
いきいき子ども地域促進事業(事務局)	1	文化祭において、防災クイズを加えたウォークラリー大会を実施した。

○ 鎌足公民館

事業名	実施回数	事業概要
子ども体験事業 (サタデースクール事業)	5	土曜日や夏・冬休みを利用して、親子の交流と地域文化の継承などを目的に実施した。
You*You(遊友)鎌足	9	地域の子どものが地域の大人と夏休み期間に関わり合うことを目的としたフリースペースを企画した。
どんぐり山の親子くらぶ	10	保護者同士の交流、情報交換を図りながら、地域で子育てを行う環境の醸成に努めた。
すみれ家庭教育学級	11	小中学生の保護者を対象に、子育てに関する学習や情報交換等を行った。
鎌足桜学級	10	健康増進や趣味の充実の為に学び生きがいづくりに資するとともに、地域の高齢者の交流の機会とした。
伝統ほうき作り研究	3	原材料を栽培し、途絶えつつある伝統技術を学び、地域の活性化につなげる方法を模索する。
鎌足健康講座	3	健康を維持するための様々な視点を学習する

山野草講座	2	ふるさとの山野草を学び、自然の大切さやふるさとの良さを知る。
鎌足ふるさとたずね歩き (共催：鎌足ふるさとかるた会)	1	鎌足内外の方に、鎌足地区の歴史を紹介し、郷土愛を深めた。
公共施設予約システム操作研修会	随時	サークル・団体の公共施設予約システムの利用促進を図るために実施した。
鎌足公民館利用者懇談会	2	鎌足公民館を利用する地域団体関係者・利用サークル代表者の情報交換、交流を図る。
たこづくり・たこあげ大会	1	鎌足地域で凧づくり・凧あげ大会を通じて、世代を超えた地域住民の交流の場とする。
鎌足公民館運営協力委員会	2	公民館活動への理解を深めると共に、助言・協力を得た。
館報発行事業	12	公民館と地域住民を結び公民館活動への理解を深め、生涯学習機会の情報を提供した。
図書貸与事業	通年	地域住民の読書活動の推進を図った。
鎌足地区青少年育成住民会議 (事務局)	4	地域ぐるみで青少年の健全育成、地域の子育て環境の醸成に寄与した。
鎌足地区まちづくり協議会 (事務局)	通年	地域における諸課題に対し、地域住民及び各団体が連携を取り解決していく方法を模索した。
P T Aナイトツアー (協力)	1	鎌足小学校を会場に関係団体等が協力して、小学生の体験事業を行った。
第46回鎌足地区文化祭 (事務局)	1	敬老のつどいと合同開催し、芸能発表も行うことができ、地域文化の醸成に寄与することができた。

○ 中郷公民館

事業名	実施回数	事業概要
中GO!探検オリエンテーリング大会 (東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷分会主催)	1	中郷中学校跡地を含め20か所のポイントを設置、親子で地域にまつわる問題を解きながら制限時間内に巡ることにより、地域への愛着と青少年健全育成活動の促進となった。
中郷幼児家庭教育学級 (中郷どれみふぁあキッズ)	13	孤立しがちな母親同士の仲間づくりや基本的な学習を実施した。
中郷こども体験教室	3	お飾りづくり、勾玉づくり、バルーンアートを通して子どもたちの体験や伝統文化への理解を深める。
中郷ふれあい夏まつり (東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷分会主催)	1	中郷地区の様々な団体が事前準備、出店、運営等を実施し、夏まつりを実施。予想を超える地域の方々が来場した。
中郷料理教室	1	安心安全で地産地消を目指して、誰もが簡単に作れる教室を開催
中郷カレッジ	8	中郷地区だけでなく、周辺地域を含めた様々な歴史や民俗、文化に目を向け学ぶことにより、地域の文化をより深めていく一助とする。
中郷キッズスクール・星空観察会	2	天体観測を通して知識を深めるとともに、保護者や地域の大人と交流し、住環境の良さを実感してもらう。
中郷スマブラ講座	4	高齢者やその家族を中心に、スマホをもう少し使うことができるようになり、生活に役立てることを目的に実施する。
文化とアートを学ぶ教室	2	地区外の優れた文化遺産とその背景を学び、地域文化の醸成に資する。
中郷キッズシアター	1	人形劇を通して、子どもたちのワクワクや想像する力を引き出す。
フリースペース	28	乳幼児の親子や地域住民が様々なことを話したり、相談できる場として設置。子育て支援センターの協力もいただく。
公民館だより発行	12	公民館事業及び地域の情報を広く地域全体に提供・発信する広報活動を展開した。

中郷公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得た。
東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷分 会(事務局)	通年	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換や中G O！探検オリエンテーリング大会等の開催を通じて、青少年の健全育成を推進した。
中郷地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域の身近な話題に、自主的かつ主体的に対処し、安全で安心な暮らせる魅力ある地域づくりの推進に取り組んだ。
図書の貸し出し	通年	地域住民にとっての身近な“図書館”として、利用の促進及び読書活動の普及を図った。
第42回中郷地区文化祭 (事務局)	1	地区内の様々な活動をしている団体や個人の学習成果を披露する場を設け、更なる中郷文化を発展させていく。

○ 富岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
中学生による太巻き寿司体験	1	富来田中学校のオープンスクールに併せ、中学生を対象に郷土料理である太巻き寿司づくりの機会を提供し、食育の一助とした。
ワクワク子ども陶芸教室※ (サタデースクール事業)	4	陶芸を通してものづくりの楽しさを学び、子どもの自由な発想を活かしながら作品を仕上げ、子ども同士の交流を深めた。
入門！大人の陶芸教室	6	初心者や未経験者を対象に陶芸の知識・技術を基礎から学ぶ機会を提供し、制作した作品を文化祭で展示した。
地元で穫れた大豆を使った味噌づくり体験	1	地元で収穫した大豆を材料に、味噌づくり体験の機会を提供し、地域の魅力を発信する機会とした。
とみおかにこここカフェ	12	健康や福祉に関する情報共有や学び、各種のイベントなどを通して、地域住民が気軽に参加し、交流しあう場を提供した。
富来田みどり学級(高齢者学級)	10	日常生活に必要な学習やものづくりなどを通して、高齢者が健康で豊かな毎日を過ごすための一助とした。
中学生が教える！ふくたスマートフォン教室 (地域課題講座) ※	1	異世代間交流を軸に、富来田中学校とその生徒の協力の下、高齢者がスマホに慣れ親しむ機会とすべく実施した。
ディスカバリーウォーキング※	2	主に中高年層を対象とし、歩きを通して「新たな発見」を目指すと共に体力・健康寿命の向上を促進させることを目的に実施した。
防災キャンプ	1	いざという時の為に、公民館での避難所開設や、火起こし、炊き出し訓練、非常食の試食などを行い、実際の災害時に必要な行動を学ぶ。
富来田公民館だより	12	富来田公民館が毎月発行する館報に富岡公民館の事業や情報を掲載し、住民へのPRや利用者の拡充を図った。
利用団体代表者会議	1	利用者に対し公民館に関する必要な情報を提供し、富岡公民館の運営について理解と協力を求めた。
第46回富岡地区文化祭	1	サークル、個人、子どもの作品展示や地域活動の紹介、中学生による呈茶会を通して、富岡地区の文化を発表する機会とした。
富岡公民館運営協力委員会	4	事務局として役員会、総会に参加し、とみおかにこここカフェ、文化祭実行委員会、公運協・利用者合同移動研修会に協力した。
花いっぱい運動(富来田地区青少年健全育成 会議主催) ※	2	とみおか・ロマン街道の会の協力を得て、7月と11月に公民館の花壇やロマン街道沿いの花の植替えを行った。

○ 文京公民館

事業名	実施回数	事業概要
サタデーきっずチャレンジ(サタデースクール 事業)	5	創作活動(ガラスドーム、水なしスノードームづくり)を通して、ものづくりの技術向上や知恵の広がりを実感することで楽しさを伝える機会とした。
なるほど☆サイエンス! (サタデースクール事業)	2	科学実験や制作を通して科学の楽しさや面白さを学ぶ機会となり、夏休み中の地域交流・異学年交流の場となった。
昭和遊び (サタデースクール事業)	2	昭和遊び(昔遊び)を児童に伝承すると共に、地域の人との交流を図る場となった。
子育て広場カモミール (家庭教育学級)	11	木更津第二中学校、木更津第二小学校・請西小学校通学の児童を持つ保護者を対象に、家庭教育の役割について学び、親同士の交流を図りながら、子育てに関する諸問題をとともに考える機会とした。

にこにこルーム (乳幼児家庭教育学級)	11	概ね、生後10ヶ月～就学前の乳幼児及びその保護者を対象に、様々な遊びを通じて参加者同士の交流を図る機会とした。
乳幼児親子のためのフリースペース	10	子育て世帯を支援するために、親子で遊べる場や子育ての情報提供、育児相談などを行える場を提供した。
放課後広場「プラタナス」	7	放課後等において、児童が安心・安全に過ごせる居場所づくりの支援をした。
防災学習講座	1	防災施設の見学や災害体験を通して、危機意識を高め、減災への備えを学んだ。
スマートフォン講座	1	スマートフォンの基本・LINEなどの応用的な操作方法や「アクアコイン」・「らぶfit」等の便利なアプリ機能について学んだ。
文京ふれあい学級（高齢者教室）	10	65歳以上の高齢者を対象に、心と身体の健康維持・増進・生きがいづくりと仲間づくりを講義や実技を通して行った。
健康講座	1	健康について考え、身体を動かすきっかけ作りとするため「ワンデーハイキング」を実施した。
地域住民の方のためのフリースペース	2	地域住民相互の情報交換、仲間作り及び孤立化を防ぐことを目的に、気軽に集える場の提供としてフリースペースを実施した。
夏休み限定！学習スペース・Good Luck	5	夏休みにおいて、小学生や中学生が安心・安全に過ごせる居場所づくりの支援をした。
利用者懇談会	3	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
公民館だより発行事業	6	公民館事業の案内や地域情報を発信した。
木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議（事務局）	6	二中学区の青少年健全育成のため関係団体や教育機関等と各種会議、情報交換を行った。（桜井公民館と共催）
地域交流防災学習体験会 (生き生き子ども)	1	災害に際し、自らが生活する二中学区の防災活動の担い手となることの気づきの場とすると共に、児童の健全育成と地域防災意識の向上のため各団体との連携・協力の場とすることを目的として実施した。（桜井公民館と共催）
ごみ拾い活動（生き生き子ども）	1	桜井地区を中心にごみ拾い活動を実施した。（桜井公民館と共催）
第24回文京公民館まつり（事務局）	1	展示・イベント・芸能発表を行った。延べ来場者数は3,500人となり、サークル・地域住民の交流の場とすることが出来た。
木二中学区学社連携会議	1	木二小・請西小・真舟小・木二中の小中学校の担当職員と公民館職員で会合を持つことにより、相互の活動の円滑化・活性化を図った。

○ 八幡台公民館

事業名	実施回数	事業概要
ほたる鑑賞のタベ (サタデースクール事業)	1	地元上烏田に発生するほたるの鑑賞を通して地域の自然環境を理解する機会とする。また併せて世代間の交流を図った。
親子ハゼ釣り教室 (サタデースクール事業)	1	八幡台で活動している「八幡台釣り同好会」の皆さんを講師に、親子で「ハゼ釣り」体験を行なった。家族や地域の方々と交流を図ることが出来た。
八幡台サタデースクール夏休み 体験事業(サタデースクール事業)	3	「俳句教室」及び「サイエンス教室」「茶道体験」を実施。子どもたちが、普段では学ぶことができない分野を学ぶ機会を創出することができた。
八幡台サタデースクール冬休み体験事業 (サタデースクール事業)	3	「窓ガラスに絵を描こう」「絵手紙体験」「お飾りづくり」を実施、世代間の交流を図る場とした。
八幡台春休み体験事業	2	「生け花体験」「ヒップホップ体験」を実施、世代間の交流を図る場とした。
めばえ家庭教育学級	10	親子遊び、母親同士の交流を通して仲間づくりを行うとともに、育児に関する知識を学ぶことにより、よりよい子育ての手助けを行った。
ひばり家庭教育学級	10	小中学生期の児童を持つ親を対象に、家庭教育や子育て学習を通して、親同士のつながりをつくることができた。また、子どもの理解や親のあり方について考えた。
星空観察会（スターウォッチング）	2	その季節にしか見られない星座や惑星、星雲・星団などたくさんの星々を見る体験会を夏と冬2回行った。普段見ることのない天体望遠鏡や天体撮影カメラのリアル映像を生で観察し、新たな感動や親子の交流を創出する場となった。
八幡台郷土史講座	10	木更津市内や近隣地域の歴史を座学や移動教室などを通して学習し、郷土に対する理解と愛着を深める一助とした。併せて地域住民の交流が図られた。

八幡台健康講座	4	地域住民の健康増進を図るため、「生活習慣の見直し」「長寿社会を元気に」をメインテーマに4回にわたって学習した。
スマートフォン体験教室	2	スマホに不慣れな方を対象に、スマホの基本的な使い方や、LINEの操作方法を学んだ。
美化（びか）ボランティア活動	12	「私達の公民館を日常的にキレイにしておきたい」と月に1回、草取りや、草刈、花壇の植え替えや、水撒き等を行うボランティア活動を行った。
利用者懇談会	2	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
八幡台公民館だより発行	10	公民館活動を広く周知するとともに、地域の情報紙として機能するよう活用を図った。
波岡地区学校公民館連絡会	1	波岡中学校区の児童、生徒にかかわる情報交換及び学校及び公民館の次年度年間事業計画の共有を行った。
八幡台かえで学級	10	地域福祉・健康・消費者問題等に関する学習や軽スポーツ、音楽・落語鑑賞等を通して、高齢者の健康づくり、生きがいの増進、相互の交流を図った。
図書貸出事業	通年	図書のリクエストや貸し出し業務を行い、読書活動の普及と推進を行った。
サークル支援事業	通年	主に館を利用する団体・サークルが円滑な運営をするために、活動の調整等で支援した。
ひばりっ子俳句作ろうコンテスト（共催事業）	1	八幡台小学校児童を対象に、俳句コンテストを実施した。
ひばりカフェ（共催事業）	12	地域間の交流促進を図るとともに、情報提供の場や活動の仲間が集められる場所を設けた。
星空シアター（共催事業）	1	例年なら公民館前の四季の杜の広場に大きなスクリーンを設置して実施するところ、天候が悪く集会室で映画鑑賞を行った。
ちょこっと講座（共催事業）	5	八幡台地区の住民を対象に、健康や子育てなどその時々々の身近な話題の情報を提供し、いっしょに考える場を設けた。
第2回四季の杜音楽祭（共催事業）	1	芸能関係のサークルの発表を実施。来場者数は、300人で、地域住民の交流の場となった。
第4回上烏田・八幡台・羽鳥野地区文化祭（共催事業）	1	展示・芸能発表・イベント（模擬店・体験教室）などを3日間で実施。来場者数は、2,800人となり、サークル、地域住民の交流を図った。
生き生き子ども地域活動促進事業（共催事業）	1	凧づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解を深めた。（青少年育成連絡会議と共催）
波岡中学区青少年育成連絡会議（事務局）	通年	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、地域ぐるみの青少年育成活動を推進した。
ひばり（八幡台小学校区）まちづくり協議会（事務局）	通年	防災や地域福祉など、地域の身近な課題を住民が自主的かつ主体的に取り組む活動を支援し、安全で安心な住みよい、地域づくりの推進に寄与した。
波岡東地区 地域を考える会	通年	会議に参加し、地域住民の抱える悩みやその他の現状を情報共有した。
八幡台小ひばりチャレンジ広場（協力事業）	通年	八幡台小児童の放課後の居場所づくり事業として保護者や地域が主体となる運営委員会により実施し、その活動を支援した。今年度は開催に向けて打ち合わせ等を実施し、開催した。

○ 東清公民館

事業名	実施回数	事業概要
公民館の夏休み（サタデースクール事業）	4	夏休み等に創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童の交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。（ポスターづくり、万華鏡づくり、理科自由研究お助け隊、星空観察）
冬の子ども教室（サタデースクール事業）	3	冬休みに日本の伝統的な体験学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。（お飾りづくり教室、書き初め教室、星空観察）
春の子ども教室（サタデースクール事業）	1	春休みに創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童同士の交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。（お菓子づくり）
東清ママ講座	10	小中高の子どもを持つ母親を中心に集まり、地域内学校の校長による講話を聞いたり情報交換をすることで子育ての悩みの解消を図った。時には趣味の体験をともに行うことにより、母親同士の交流を深めることを図った。
ふるさと歴史講座	8	中世木更津の真里谷武田氏の活躍や江戸時代における将軍の鹿狩りについて学ぶことで、郷土愛を深めた。また、ゆかりの地に出向き実物を見たり触れることで理解を深めた。

石造物調査隊	10	地区内の石造物の調査及び記録活動を通じて、身近な郷土の文化遺産を後世に伝承することができた。
歌舞伎講座	1	歌舞伎について講義を聞き、三味線などの体験を行うことで、日本の伝統芸能・文化について学ぶ機会となった。
ふるさと歴史ハイキング	1	地域住民の健康増進を図るとともに、自然に触れることで環境への理解を深めることができた。
スマホサロン	2	シニアカフェに講師を招きスマホの操作を学んだ。地域の中学生を講師の補助として招き、マンツーマンで学ぶことで操作法の理解を深めた。また世代を超えたふれあいの機会となり、高齢者の活力向上につながった。
書を楽しむ	2	書星会師範の講師を招き、ともに筆を持ち机に向かうことで、書道を通じた交流が生まれ、趣味作りの機会となった。
東清さわやか学級 (高齢者学級)	10	健康体操や落語、脳トレ等、楽しく生き生きとした活動することで、生きがいづくりや健康増進の機会となった。
東清シニアカフェ	11	「顔を合わせておしゃべりして元気になろう」をコンセプトに近況報告をしあうことを中心に楽しく語り合った。民生委員や市福祉協議会S C、北部包括支援センター等と連携して取り組んだ。
東清シニアカフェ・イン・アピタ	11	民生委員や北部包括支援センターと連携し、脳活や栄養講座、ゲーム、折り紙など多岐にわたる活動をし、楽しく高齢者の居場所づくりを進めることができた。アピタのフードコードを借り、公民館に来られない方が参加できるよう考慮した。
発酵ライフ体験教室	8	健康で豊かな生活を送るために、発酵に関する講義や移動研修、実習を通して、食育や免疫力アップに繋がる意識を高めることができた。
こども自然体験事業(CKC)	7	中央・東清・清見台の3公民館合同で自然体験事業を実施。異学年や他の地域の子どもたちと交流することで、自主性や社会性を育み、自分らしさを発見することを目的に行った。
利用者懇談会	2	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とすることができた。地域交流センターに向けた説明の機会となった。
公民館だより「かけはし」発行	10	地域の情報や公民館の活動・生活情報などを幅広く住民に発信し、住民と公民館との「かけはし」となるよう心がけた。
図書貸出事業	通年	市立図書館と連携し、地域における読書活動の普及を図った。
こども防災体験フェスタ(住民会議主催)	1	小学生以下のこどもを対象に防災に関する体験を行い、地域の防災意識の醸成の機会とした。また、他の学校の児童生徒や地域の大人が一同に会することで、幅広い交流の場となった。
教育フォーラム(住民会議主催)	1	内房地区少年センターから講師を招き、薬物乱用に関する講話を聞き、地域住民が子どもたちの周りにも薬物乱用の危険がある実態を知り、意識を高め、学校との更なる連携の必要性を実感した。
避難所開設訓練(まちづくり協議会主催)	1	地域内の4避難所同時に開設訓練を行った。実際の災害時に近い状況であり、人員や用具の不足具合など、問題点を把握することができた。また、各避難所の課題を共有する機会となった。
地区防災教室(まちづくり協議会主催)	1	地域の防災意識向上のために、椿・菅生・中尾・県営住宅地区を対象に、SUGを行うことで、地域内の交流と、地域の防災意識の向上ができた。
東清川地区まちづくり協議会(事務局)	通年	防災部会では避難所開設訓練、地区防災講座等を実施した。また、高齢者部会では、「みんなでつくるタクシー」として地域交通について、アンケート調査や設置に向けた検討を地区社会福祉協議会等と連携して取り組むことができた。
東清川・中郷地区青少年育成住民会議/ 同東清川分会(事務局)	通年	地域の青少年健全育成に向け、関係団体・諸機関との情報交換や連絡調整を行った。「生き生き子ども地域活動促進事業」として「こども防災体験フェスタ」や「花いっぱい運動」を実施した。
東清公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	住民の代表である委員(市政協力員やサークル代表者)に公民館活動の理解と協力をお願いするとともに、公民館大掃除や移動研修に関する協議などを行った。
第42回東清川地区文化祭(共催)	1	展示発表、芸能発表、模擬店等を実施。日頃のサークル活動の成果を発表するとともに、地域住民の交流の場となった。心と心のふれあいを図ることができた。

○ 清見台公民館

事業名	実施回数	事業概要
キッズわくわくチャレンジ教室	6	子どもたちや親子によるお飾り作りや夏休みにのフリースペースを行った。
子育て広場「このゆびとまれ」	17	乳幼児を持つ保護者や親子の遊びと交流。
たんぽぽ家庭教育学級	10	子育て・家庭教育に関する学習、情報交換や体験活動。母親同士の仲間作りの場となった。
クールシェア	12	年代を制限せず、全年齢を対象にフリースペースを行った。
健康講座	2	暮らしを生き生きと過ごすため、笑うことで多くの酸素を自然に体に取り入れ、心身ともにすっきり元気になる笑いヨガを体験した。

ふるさと講座	8	郷土の歴史を学ぶことにより、交流の機会となった。
セカンドライフを楽しむ講座	7	高齢者が健康・生活に関する講座や体験をした。
清見台スマホ講座	2	地域のスマホを使い慣れていない方を対象に行い、より便利な生活の一助となった。
第21回通学合宿	1	公民館で共同生活を行いながらの3泊4日の宿泊体験で、異学年・他校の児童生徒との交流、共同生活を支えるボランティアや地域を巻き込んだキャンプファイヤーで多世代の交流を行った。
第8回清川地区なわとび大会	1	清川地区（祇園小、清見台小、西清小、東清小、南清小、中郷小、鎌足小）の7小学校区の青少年相談員が連携して行い、小学生を対象になわとびを通して交流を図る。
第41回清見台地区文化祭(事務局)	1	地域文化活動の発表の機会として、展示物の掲示、芸能発表、模擬店を実施した。
太田中学校区学社連携担当者会議(事務局)	3	太田中学校区内の小中学校・公民館による情報・意見交換、連絡・調整をした。
清見台・太田地区まちづくり協議会(事務局)	12	青少年の健全育成・防災意識の向上・地域のコミュニティづくりを図るため、星に願いを運動、スマイルフラワー運動、Smile Garden Project、防災フェスタ、起震車体験、防災講演会、コミュニティカフェなどを開催した。
青少年育成太田中学区住民会議(事務局)	9	地域の青少年に関する諸団体相互の連絡・調整と危険箇所確認パトロール、3泊4日の通学合宿を行い、青少年の健全育成をした。
清見台公民館関係団体連絡協議会兼利用者懇談会(事務局)	10	清見台公民館・附属体育館利用団体及び地域関係団体相互の連絡・連携し、公民館周辺の環境美化活動(2回)をした。
清見台・太田地区防災連絡協議会(事務局)	4	地域連携についての協議・意見交換、自主防災訓練についての意見交換、避難所ごとに防災訓練などを行った。
公民館だより発行事業	12	広報誌「ハイ公民館です」を年12回発行(予定)。町内会を通じて配布・回覧した。
図書貸与事業	通年	本の貸し出しや閲覧による読書活動の推進した。

○ 畑沢公民館

事業名	実施回数	事業概要
そよかぜ家庭教育学級	10	学級生と一緒にプログラム作成し、小中学生及び高校生等の子どもを持つ母親同士のネットワークづくりと、子育て・家庭教育に関する学習をした。
おやじ専科	9	学級生と一緒にプログラム作成し、地域の男性同士のネットワークづくりと生活課題、地域課題等の学習をした。
はたざわ歴史講座	9	学級生と一緒にプログラム作成し、郷土の歴史を学ぶとともに、地域住民の交流の機会となった。
健康カレッジ	9	学級生と一緒にプログラム作成し、健康学習や実技・実習を通じて、受講生自身の健康増進に留まらず、将来的に地域ぐるみで健康長寿を促進するための方策を考える講座となった。
スマートフォン講座	13	初心者対象の講座とし、生活が便利で豊かになるよう3パターンの内容構成で開催した。また、講座とは別の時間に相談会を2回開催した。
利用者懇談会	1	公民館の利用方法等、サークル連協の行事について説明した。
公民館先行予約調整会議	1	自治会・地区社協・民児協を対象とした、公民館使用の先行予約の調整会議を開催した。
公民館だより発行事業	12	公民館事業や地域の情報を提供した。
生き生き子ども地域活動促進事業(事務局)	1	地区の小中学生を対象に、「はたなみハートフルボッチャ大会」を開催。地域交流を図った。
畑沢中学校区青少年健全育成連絡会議(事務局)	通年	定例会開催の他に、地域の青少年健全育成のための情報交換を行うため、「子どもたちのための地域フォーラム」を開催した。
畑沢公民館運営協力委員会(事務局)	2	公民館と地区住民をつなぐため、公民館運営の助言や協力を得た。
図書貸出事業	通年	地域の子どもからお年寄りまでを対象に読書活動の普及を図った。

はたざわ子ども公民館 (サタデースクール事業)	1	夏の子ども公民館として小学校4年生以上を対象に全4日間、午前中はフリースペース(自習・読書)、午後はさまざまな体験学習(卓球、集団ゲーム、ポッチャ・モルック、ふまねっと)を実施した。
ぴよぴよ子育てスペース	10	保護者と乳幼児の交流と子育て学習を実施して、近くに住む親子の仲間づくりを進めた。
ぴよぴよ子育てフリースペース	9	乳幼児期の子とその親が気軽に集えるようフリースペースを開催し、親子遊び・子育て相談をしたり、自由にすごすことができる空間づくりを行った。
畑沢むつみ学級	9	地域在住の65歳以上の方を対象に、さまざまな学習を通して学級生どうしの交流が図れるよう開催した。
第41回畑沢公民館地区文化祭	1	2日間展示中心の開催とし、芸能発表は、事前撮影した映像を開催期間中リピート放映した。また、ふる里学舎から購入したパンを販売した。

○ 岩根西公民館

事業名	実施回数	事業概要
なのはな家庭教育学級(家庭教育)	8	小中学生期の子育てや家庭生活に活かせるような様々な体験学習や活動を行い、併せて母親同士の交流と仲間作りを進めた。
めばえ学級(家庭教育)	10	親子遊びを中心に、乳幼児と母親のふれあいの場を提供することで、子育て支援の一助とするとともに、地域の母親同士の交流を図った。
岩西ふれあい学級(高齢者)	7	65歳以上の高齢者を対象に地域住民同士の交流の場や生きがいづくり又、健康増進を目的とした。
伝統文化いけばなこども教室(サタデー)	9	子供たちが「いけばな」を学びながら、伝統文化について関心や理解を深めるとともに、豊かな人間性を育む機会とした。
子ども料理おにぎりづくり(サタデー)	1	調理実習を通して食育を学ぶ機会を提供し参加者の自主性、社会性の情勢を図った。
ディップアートでつくる風鈴(サタデー)	1	子ども達が日常ではなかなか体験することができないディップアートに挑戦することにより興味・関心を持ち、自分だけの風鈴づくり、自主性・創造性の醸成を図った。
正月(洋風)お飾りづくり(サタデー)	1	新年を祝う正月飾り(洋風)をつくることによって、新しい年の幸せと健康をもたらすための神聖なものという意識を図った。
書初め教室(サタデー)	1	筆で書くことによって習字のとめ・はらい筆を意識して、より文字が上達するように願い、学習の機会とした。
岩西野山ハイク	1	地域住民の健康増進を目的に歩く会を実施した。
発酵ライブ体験教室	4	様々な発酵を学びながら腸の健康や免疫力アップを目指す。発酵食品の魅力を再発見しながら一歩進んで身近な発酵食品の実習を行う。事業は一部東清公民館と共催で実施。
スマートフォン入門講座	4	テンキーなどのボタンがある多機能携帯電話(ガラケー)からスマートフォンへ移行が進む社会情勢の中、IT弱者を少しでも減らすとともに、木更津市が推進している「らづナビ」、「アクアコイン」の利用促進を図った。
岩根西地区青少年育成住民会議(事務局)	通年	地域の子ども達は地域で育てることを目的に各種青少年育成団体との連絡調整を行い、必要に応じて地域の教育課題をとりあげ会議・事業を実施した。(夏・冬の関係団体会議、ぬり絵コンテスト実施、星空観察会、お飾り作り教室、三世代交流グラウンドゴルフ大会)
岩根西地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域住民が主体となって地域の課題を掘り起こし、検討・取り組み・評価することによって、地域力を高め、地域自治力を促進させた。
公民館報発行事業	12	公民館事業を中心に生涯学習情報を提供するとともに、読者に身近な地域の話題等を取り上げ、広く情報を発信した。
第40回岩根西地区文化祭	1	地域文化活動の発表の機会として開催した。
岩西おしゃべりカフェ	9	地域交流の場を提供する目的で開催した。
図書貸し出し業務	通年	身近にある図書室として、地域における読書活動の普及と推進を図った。
公民館運営協力委員会	通年	地域区長、団体が中心となり、公民館事業全般の運営について協力を仰いだ。また、公民館植栽等の伐採などの環境美化にも力を入れた。
利用者懇談会	2	館を利用する団体・サークルが一堂に会し、公民館利用についての意見交換をし、館の今後の円滑な運営について協議を行った。
フリースペース	通年	公民館を利用する方々の憩いの場として提供 ⁶⁷ した。

○ 西清川公民館

事業名	実施回数	事業概要
にしきよサタデースクール キッズわくわく体験隊	7	地域の自然を活用した体験学習（田植え・稲刈り・お飾り作りほか）を行うことで、地域の大人と子どもの交流を図った。
なんでも体験教室	3	有識者の方に協力をいただき、将棋教室、書き初め教室を行い子どもたちの体験学習の機会とした。
子育てサロン (家庭教育学級)	13	小～高校生期の子どもを持つ親を対象として、子どもたちの心身の発達や親子関係について学ぶとともに、地域の親同士の交流を図る機会とした。
西清川歴史学級	9	学びたい歴史に名を遺す人物や地域の歴史に関する講座の開催、移動教室の開催など郷土の歴史への理解と知識を深めるとともに、学級生相互の交流を図った。
おとなの学び舎遊歩道	9	中高年を対象に暮らしに根付いた身近な課題や興味を深め、地域での仲間づくりを図った。
ワンデイハイキング	1	身近な自然に触れる機会を提供し、健康の増進と地域住民の交流・親睦を図るとともに、環境保全の意識を高めた。
にしきよ健康講座	8	健康の増進を目的とした市保健師、歯科衛生士、栄養士による健康測定会の開催をはじめ、いつまでも元気に健康を維持するための実技（自律整体）を実践するとともに、参加者相互の交流を図った。
西清川福寿学級 (高齢者教室)	10	高齢者を取り巻く課題等の学習をするとともに、参加者相互の交流を図り、生きがいづくりの一助とした。
スマホ入門講座	3	初めてスマートフォンを使う方や、持っているけれど自信がない方を対象に、基本操作や使用方法を学んだ。（入門編・LINE編・防災編）
西清川公民館だより発行	12	公民館活動を広く周知するとともに、地域への情報発信、情報提供を目的として毎月1回発行し地域住民に配布した。
利用者懇談会	1	公民館を利用する団体・サークルが一堂に会し公民館利用について、今後地域交流センターへ移行することに伴い、利用方法等の説明をするとともに、円滑な運営等について意見交換を行った。
第36回西清川地区文化祭	1	西清川公民館で活動するサークルの日頃の学習成果と文化活動の発表の場を設けた。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図った。
たこ作り教室 (生き生き子ども地域活動促進事業)	1	凧づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流機会とするとともに、郷土の民俗文化への理解を深めた。（三中学区青少年育成会議事務局）
凧あげと昔遊びのつどい (生き生き子ども地域活動促進事業)	1	凧あげや昔遊び（竹とんぼ・竹馬・羽根つき・ペーゴマ・コマ・お手玉・けん玉など）を通して地域の子ども同士、大人と子どもの交流、郷土の民俗文化への理解を深めた。（三中学区青少年育成会議事務局）
西清川地区学社連携担当者会議 (事務局)	1	木更津第三中学校区の西清小・祇園小・木更津第三中・西清川公民館の4機関の職員による情報交換により、事業の円滑な運営を図った。
三中学区青少年育成会議 (事務局)	通年	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進した。
西清川まちづくり協議会 (事務局)	通年	地区における身近な課題に自主的主体的に対処し、安全で安心な地域づくりの推進をはじめ、防災に関する施設見学や学習会を開催するなど、防災に関する意識を高めた。また、防犯パトロールの実施・防犯交通安全のぼり旗・看板等の設置を実施した。
K I Z U N A (絆) コンサートの開催	1	定期利用の4サークルの協力を得て、音楽を楽しみながら地域住民の交流を図る機会として実施した。
にしきよ防災学習会(西清川まちづくり協議会共催)(地域課題)	1	西清川まちづくり協議会と共催で、防災学習会の開催や避難所開設訓練、炊き出し訓練など、地域住民の防災意識を高める機会として実施した。
スクールアドベンチャーワールド2025 (生き生き子ども地域活動促進事業)	1	西清小学校を会場として、子どもたちの体験学習の充実を図るとともに地域の方々との交流を図った。
インド料理教室withヨガ教室	3	インド料理の調理体験を通じて、インドの食文化や背景に親しむとともに、参加者同士の交流を促進し、地域における多様性の理解とつながりを深めることを目的として実施した。

○ 波岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
遊び塾「なみサタ」 (サタデースクール事業)	3	子どもたちの「遊び」の中での体験活動を充実させ、「生きる力」を育む機会とした。
ほほ笑み学級	7	思春期の子どもを持つ親や子育てを卒業したものが集い、交流を図ったり、親子の関わり方を学んだりした。
波岡歴史講座	8	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土の理解を深めた。身近な歴史への興味関心をひく内容とした。
防災炊き出し訓練	1	炊き出し訓練を実施し、地域の防災意識を高める機会とした。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
スマートフォン入門講座	1	デジタル社会に対応するため、スマートフォンの基本的な使い方や、木更津市公式LINEアカウントについて学習し利用促進を図った。
利用者懇談会	1	地域交流センター移行後の利用方法についての説明会を実施した。同時に予約をオンラインで行うための学習会を実施した。
波岡公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	公民館と地区住民とのパイプ役として公民館運営への助言や協力を得た。
サークル支援事業	通年	主に公民館を利用する団体・サークルが円滑な運営をする為に求めに応じて支援した。
波岡公民館だより発行	9	地域の情報や公民館活動等の情報を提供した。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図った。
波岡子育て学級	8	乳幼児親子の交流を図るとともに、育児に関する学習や情報交換の場として開催した。
親子でホテルウォーク	1	地域ボランティアの協力によりホテルの観察会を実施し、親子及び地域住民の交流を促進した。
菜の花教室 (高齢者学級)	8	健康や趣味等の学習会を通して、高齢者の生きがいがづくりや地域のコミュニティづくりを推進した。
フリースペース赤ちゃんサロン	9	共働き家庭が増える中、0歳児の保護者が知り合い、地域の子育て仲間のつながりをつくる場を提供した。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
フリースペースげんキッズ	7	入学前の不安を軽減する目的で入学前の同学年の交流を図った。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
波岡公民館地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決する為に、3つの部会で各々定例的に事業等を実施した。主に、子育て支援部会はフリースペースの開催やキャンドルサービスの実施、防災部会は炊き出し訓練の実施、高齢者支援部会は高齢者の生活支援、移動支援についての学習会を開催した。
波岡地区学校公民館連絡会	1	波岡中学校区内の小中学校・公民館による情報・意見交換、連絡・調整を行い連携を図った。
生き生き子ども地域活動促進事業	1	凧づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解を深めた。(※波岡中学校区 八幡台公民館 青少年育成会議と共催)
第33回波岡地区文化祭(事務局)	1	波岡地域や公民館で活動するサークルの発表や体験、作品の展示、模擬店・販売を実施し、地域住民の交流や、地域の文化の向上を図った。

○ 桜井公民館

事業名	実施回数	事業概要
桜井公民館コミュニティカフェ	10	発達障がい等の子どもを持つ保護者や支援者が集い、情報交換を行い、子育てに役立てた。
木二中学区学社連携会議	1	木二小・請西小・真舟小・木二中の小中学校の担当職員と公民館職員で会合を持つことにより、相互の活動の円滑化・活性化を図る。
木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議(事務局)	7	二中学区の青少年健全育成のため関係団体や教育機関等と相互の情報交換を主に行った。青少年懇談会と総会等を実施した。(文京公民館共催)

地域交流防災学習体験会（生き生き子ども）	1	災害に際し、自らが生活する二中学区の防災活動の担い手となることの気づきの場とすると共に、児童の健全育成と地域防災意識の向上のため各団体との連携・協力の場とすることを目的として実施した。（文京公民館共催）
ごみ拾い活動（生き生き子ども）	1	桜井地区を中心に、ごみ拾い活動及び地域の危険個所の確認を実施した。（文京公民館共催）
公民館報「さくらい公民館だより」発行	6	学習情報等の提供により公民館活動への理解と推進を図り、地域づくりを促進した。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の推進と普及を図った。
日本伝統文化にふれよう！茶道体験教室（サタデースクール事業）	7	文化祭での成果発表を目的に、子どもの茶道教室を開催した。文化祭当日は、保護者や地域の人の前で、お点前を披露することができた。講師の手厚い指導があり、参加者たちの満足度も高かった。
市公連Aブロック事業	10	文京・中央・清見台公民館と連携して、青少年の体験事業や成人教育を共催し、また各公民館が協力して各館の脆弱部分の強化を図った。
こどもまつり実行委員会	10	文化祭の場で、高学年の子どもが実行委員となり、企画から運営まで行うイベント「子どもまつり」は、地域ボランティアの協力もあり、大盛況だった。また、クリスマス会も同様に企画・運営した。
桜井親子家庭教育学級	7	七夕飾りづくり・芋ほり・クリスマス会等、親子での体験活動を行った。講師の方々にも協力してもらい充実した活動になった。
真舟小学校家庭教育学級	11	真舟小学校在籍児童の保護者を対象に、家庭教育の役割について学んだ。体験的な活動も行い親同士の交流も図れた。
桜井あしたば学級	9	高齢者を取り巻く課題等を学習するとともに、体験的活動や移動教室等を通して参加者相互の交流を図り、生きがいづくりの一助とした。
スマートフォン入門講座	3	地域のデジタル化を推進する一助として、主として高齢層のデジタルディバイドの解消に向けた学習に取り組んだ。
第24回桜井地区文化祭（事務局）	4	展示部門、発表部門や模擬店・イベント部門、子どもまつり実行委員によるイベントを行い、約1000名を超える来館者でにぎわった。
利用者懇談会	2	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
桜井公民館協力委員会	2	公民館と地区住民をつなぐために、公民館運営への助言や協力を得ると同時に、文化祭の方向性について検討していただいた。
生き生き健康づくりハイキング	3	県内のさまざまな自然豊かな場所をウォーキングし、健康づくりに役立てるための事業。毎回定員を上回る参加申し込みがあり、好評だった。
さくらい健康倶楽部	3	健康寿命を延ばすことを目的とし、専門知識を持つ講師を招き、講習会を開催した。
SAKURA学級	12	子育てを卒業した年代が集まり、生活を豊かにすること、視野を広げることを目的とし、様々な活動をしたり学習する機会を設けた。

少年自然の家キャンプ場

生活体験・自然体験の機会が乏しくなっている青少年が、豊かな自然の中で心身を鍛錬し、生き生きとした野外活動を体験することによって、集団の中の規律・協働・友愛・奉仕の精神を身につけ、豊かな人間性を育むとともに、市民相互の交流を図る。

○ 施設の概要

1 西キャンプ場

- (1) キャビン 3 (各 8 人程度)
- (2) 炊事場 1 (かまど 10 基・流し)
- (3) 水洗トイレ 1 (男 7・女 4)

2 南キャンプ場

- (1) テント持ち込み (100 人程度)
- (2) 水道栓 1



3 その他の施設

- (1) 屋根付き広場 (広さ 138 m² テーブル・長いす 10 卓設置)
- (2) 自由広場 (広さ 1,260 m²、キャンプファイヤー場、テントサイト 5 区画等)
- (3) シャワー室 (男女別各 3 温水シャワー)
- (4) 管理棟 (事務室・倉庫)
- (5) 駐車場 (普通自動車 48 台・大型バス 2 台)

○ 利用状況

(令和 8 年 1 月 1 日現在)

種 別		令和 6 年度		令和 7 年度	
		件 数	人 数	件 数	人 数
市 内	青少年育成団体等	7	2 2 6	0	0
	各種団体等	5	1 1 7	1	5 0
	学 校	0	0	0	0
	行政・公民館	1	2 3 0	2	3 4 4
	個 人	1 0	1 0 9	1	1
市 外	青少年育成団体等	0	0	0	0
	各種団体等	0	0	0	0
	学 校	0	0	0	0
	行政・公民館	0	0	0	0
	個 人	4	1 8	0	0
合 計		2 7	7 0 0	4	3 9 5

※ 延べ件数・延べ人数による集計 (1 人が 2 泊した場合には 2 人とカウントする)

※ キャンプ場進入路崩落の危険性から、令和 7 年 7 月 1 1 日より休止。

図 書 館

○ 施設の環境整備

図書館は現在の場所に新館が設置され52年目を迎えた。その間、施設の増築、駐車場の拡張、書庫の電動化、空調設備工事、耐震補強工事を実施し、利用者にとって適正な環境を維持できるよう努めた。

○ 図書館サービス

生涯学習の拠点施設として、図書館資料の収集・保存・整備を行い、閲覧・貸出をはじめ、レファレンスサービスや各種講座の開催により市民の図書館利用の増進を図った。また、電子図書、マルチメディアデジターなどのアクセシブルなデジタル図書の収集など、すべての市民が読書を楽しめるように取り組んだ。その他では、共生社会の実現に向けて、多言語図書を集めた書架の設置や、地域包括支援センターや高齢者施設へ図書館の利用案内とブックリストを配付し、高齢者サービスの周知を図った。

夏季休業期間には、新規事業「夏休みは図書館で過ごそう！」を開催し、小中学生の居場所を提供するとともに、前年度認定した「子ども司書Kisa Librarian」の活動の場とした。

市内各地域の13公民館の図書室及び金田地域交流センター内の図書コーナーの資料整備を行うことにより、市内全域における読書環境の整備に努めた。

○ 読書の普及と支援

学校との連携では、学校教諭、読書相談員との連携を密に行い団体貸出を行った。また、小学校や高齢者施設、通所支援所のおはなし会、公民館での各種講座や高等学校での授業への職員派遣、インターンシップや中学生の職場体験等を受け入れた。

令和7年は昭和100年の年であるため、昭和を感じる企画展示「木更津の小さな昭和コレクション」を開催し、昭和50年代に存在した店舗のマッチ箱やメニュー表、木更津に関する書籍から当時の木更津を知ること、郷土への興味関心を引き出す契機とした。

新規事業では「ブックスタートボランティアスキルアップ講座」や、令和6年度に開催した「絵葉書でみる昔の房総」から木更津地域を中心としたミニ巡回展を市内5施設で開催し、幅広い世代へ向けた読書普及活動に取り組んだ。

市内の清和大学図書館、県内市町村図書館、県外図書館、国立国会図書館等と連携して協力体制をとり、資料提供を行った。

主催事業（令和6年度）

事業名	事業内容	実施回数	参加者数
文芸講演会	作家等による講演	1回	85人
児童文学講座	児童文学関係者による講演	1回	42人
ボランティア講座	点字教室	1回	12人
図書館おはなし会	3歳児から小学生への素話の語りと絵本の読み聞かせ	93回	718人

赤ちゃんといっしょのおはなし会	乳幼児と保護者を対象としたわたべうたや絵本を楽しむ会	49回	513人
保育園おはなし会	保育園児への素話の語りと絵本の読み聞かせ	78回	2,089人
大人のためのおはなし会	大人を対象とするおはなし会	2回	45人
ブックスタート事業	乳児と保護者を対象に、絵本をひらく楽しさと絵本をプレゼントする事業	37回	880組配付
絵本講座	絵本の選び方、おすすめ絵本の紹介	2回	(延べ) 20人
夏休み企画 工作教室 こわ〜いおはなし会 1日図書館員体験	小中学生を対象とした事業(工作教室、季節のおはなし会、図書館の仕事体験)	工作教室 (2回33人) こわ〜いおはなし会 (2回53人) 1日図書館員体験 (2回21人)	107人
子ども司書養成講座	中学生・高校生対象の連続した講座	7回	(延べ) 47人
雑誌と図書のリサイクルフェア	雑誌(保存期限切れ)と廃棄図書の無償配布	4日間	272人
大人のための絵本セラピー	絵本セラピストによる絵本の読み聞かせとグループディスカッション	1回	19人
れきおんミニコンサート	国立国会図書館の提供する歴史的音源(れきおん)を利用したコンサート	3回	51人
企画展示	絵本から考えてみよう SDGs 絵葉書でみる昔の房総 ギルモアたぬきコレクション	1か月間 5日間 同上	— 372人 同上

○ 図書館利用状況の推移

年 度	開館日数	入館者数	館外貸出登録者数		館外貸出利用者数	館外貸出冊数	
			12歳未満	12歳以上・施設等		児童書	一般書
令和 4年度	201	53,802	55,086		48,044	245,465	
			2,411	52,675		81,578	163,887
令和 5年度	289	88,298	56,496		72,170	333,490	
			2,315	54,181		112,155	221,335
令和 6年度	287	82,980	57,791		67,973	312,383	
			2,177	55,614		104,154	208,229

○ 館外貸出登録者 性別・年齢別内訳 (令和7年3月31日現在)

性別・年齢別	性別			年齢別										
	男性	女性	計	0 ～ 6 歳	7 ～ 12 歳	13 ～ 15 歳	16 ～ 18 歳	19 ～ 22 歳	23 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 歳 ～	計
登録者数 (人)	22,847	34,195	57,042	490	1,687	1,384	1,727	2,726	5,965	8,703	10,164	8,665	15,618	57,129
比率(%)	40.1	59.9	100.0	0.9	3.0	2.4	3.0	4.8	10.4	15.2	17.8	15.2	27.3	100.0

(注) 団体登録等の数は、性別や年齢が未登録のものがあるため、登録者数の計と一致しない場合があります。

(注) 端数処理のため、比率の合計が100%にならない場合があります。

○ 蔵書冊数の推移

年度	総数
令和4年度	368,920
令和5年度	367,825
令和6年度	369,547

○ 分類別蔵書冊数 (令和7年3月31日現在)

種別	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 総経	4 隣経	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	E 絵本	P 紙芝居	その他	うち 公民館 蔵	計
冊数	12,360	10,748	37,770	45,568	23,811	23,902	11,354	24,901	4,567	133,038	26,230	818	14,480	41,788	369,547
比率(%)	3.34	2.91	10.22	12.33	6.44	6.47	3.07	6.74	1.24	36.0	7.10	0.22	3.92	11.3	100.0%

(注) 端数処理のため、比率の合計が100%にならない場合があります。

○ 障害者サービス (資料郵送貸出有)

年度	登録者	貸出利用者	貸出冊数	
			点字図書	録音図書
令和4年度	31	34	331	
			303	28

令和 5年度	32	33	264	
			226	38
令和 6年度	33	41	231	
			162	69

○ 団体貸出（保育園・学校・その他施設）

年 度	登 録 者	貸 出 冊 数
令和 4年度	62	8,381
令和 5年度	72	6,804
令和 6年度	86	7,993

○ 公民館配本

年 度	配本施設（公民館等）	配 本 冊 数
令和 4年度	14	43,012
令和 5年度	14	43,064
令和 6年度	14	41,788

○ レファレンス及び資料複写サービス

年 度	調 査 ・ 回 答			資 料 複 写	
	電 話	口 頭	文書・メール	件 数	枚 数
令和 4年度	284			560	5,256
	64	212	8		
令和 5年度	264			857	8,326
	45	215	4		
令和 6年度	295			940	9,871
	68	219	8		

○ 電子図書サービス

年 度	提供コンテンツ数	登録者数	貸 出 冊 数
令和 4年度	13,088	1,870	5,462
令和 5年度	14,348	4,328	6,210
令和 6年度	14,477	6,745	5,290

（令和5年度の貸出冊数に誤りがあったため修正しました）

郷土博物館金のすず

○経営の重点

【展示活動】「郷土愛 はばたけ未来へ 金のすず」を本館の令和7年度のスローガンとし、令和6年度から年度を跨いだ開催期間となった企画展「浮世絵にみる上総・安房」と戦後80年の節目として企画展「木更津高等女学生が描いた戦争と平和」を開催した。また、2年ぶりの特別展である「YAYOIの木更津」を開催した。

旧安西家住宅を会場とした事業としては、写真パネル展「懐かしの学び舎」と特別展のサテライト展示としてパネル展示「考古学事始め1 縄文時代と弥生時代はどう違う？」を開催したほか、新規事業として、記念撮影やSNS発信ができるよう、期間を設けカメラスタンドを設置した。

【調査活動】市内外に存在する郷土資料の調査を適宜実施し、情報の蓄積を図った。

【教育普及事業】「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」との連携により、昔の暮らし体験学習や旧安西家住宅の展示解説等を実施しているが、令和6年度から旧安西家住宅に午後職員が常駐することで観覧者が増え、さらに展示解説や環境整備の充実を図り、年間を通して催事に取り組むための下地ができた。また、生涯学習課のきさらづ市民カレッジと連携し、市全体を包括した講座開催に工夫した。さらに、他の博物館、公民館への資料の貸出、特別利用の対応および講師派遣、博物館実習生の受入を実施した。

【施設の環境整備】博物館内の防犯カメラの経年劣化に伴う更新及び旧安西家住宅の防犯カメラ及び緊急通報装置を新設した。

○主要事業の概要

1. 職員体制

R6年度：館長1名（月16日。会計年度任用職員）・副館長1名（学芸員）・主査1名（学芸員）・主任主事1名（学芸員）・会計年度任用職員4名（月18日以内・受付業務等3名、フルタイム・事務補助等1名）

R7年度：館長1名（学芸員）、係長1名（学芸員）・主査1名（学芸員）・会計年度任用職員4名（月18日以内・受付業務等2名、フルタイム・事務補助等2名）

2. 展示活動

(1) 常設展

令和6・7年度は第4展示室の浮世絵及び第7展示室の絵画資料の定期的な入替を実施した。

(2) 企画展等

年度	展示名称・期間・観覧者または参加者数（敬称略）
6	・企画展「古墳時代の 謎の木の道具たち」R6年3月5日～5月6日（開館53日、3,630人） 会場：第4展示室 説明会：4月21日（27人） ・ミニ企画展「変化朝顔」7月19日～8月20日（開館30日、941人） ・写真パネル展「街の風景～懐かしの木更津へようこそ～」

	<p>R7年1月11日～2月9日(開館26日、641人) 会場：旧安西家住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「浮世絵に見る上総・安房」R7年3月22日～5月6日(開館40日、3,791人) 会場：第5展示室 ギャラリートーク：3月22日(9人)、4月12日(18人)、5月3日(23人) ワークショップ「色とりどり～自分だけの色、みつけた!～」： 3月29日(午前4人・午後3人)、4月12日(18人)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・写真パネル展「懐かしの学び舎」6月14日～7月6日(開館20日、419人) 会場：旧安西家住宅 ・企画展「木更津高等女学生が描いた戦争と平和」7月19日～8月31日(開館38日、1,600人) 会場：第5展示室 ギャラリートーク：7月20日(21人)、8月10日(19人) 講演会(共催：きさらづ市民カレッジ)：別表参照(地域学講座『木更津風土記』) ・特別展「YAYOIの木更津」10月25日～12月7日(開館38日、963人) 会場：第4・5展示室 ギャラリートーク：11月9日(15人)、12月7日(24人) パネル展示「考古学事始め1 縄文時代と弥生時代はどう違う?」：期間中開催(758人) 会場：旧安西家住宅 講演会(共催：きさらづ市民カレッジ)：別表参照(特別展講演会) 土器観察会「子どもと楽しむDOKI♡DOKI観察会」：11月8日(14人)、11月15日(13人) 会場：多目的室 体験コーナー「弥生時代の服(貫頭衣)を着てみよう!」：期間中随時(65人) 会場：エントランスホール ・富来田公民館出前展示「望陀布と材料のカラムシについて」R7年10月25日～R8年継続展示 観覧者数：未集計 富来田公民館のショーケース1箇所を利用し展示を実施。

3. 調査活動

文化財調査

R6年度：ミュージアムサポーターと協力して、写真パネルの整理及び台帳作成を実施した。

市内個人所蔵郷土資料1箇所、市内社寺所蔵資料2箇所の調査を実施した。

R7年度：ミュージアムサポーターと協力して、写真パネルのスキャン及び台帳作成を実施した。

市内公共施設1箇所の調査を実施した。

4. 管理

資料管理

・**収蔵資料管理** R6年度：本館2階倉庫整理を実施した。

R7年度：資料燻蒸に伴い、本館第1収蔵庫及び新収蔵庫を整理した。

・**寄贈資料の受入**：申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施。

R6年度：市内個人1：版本 市内個人1：鎗 県外個人1：写真帳等昭和10年代軍事関係資料

市内個人1：水利関係文書 市内個人1：市内旧家所蔵資料

市内寺院1：曼荼羅 市内個人1：戦争関係資料 市外採集資料1：貝塚出土資料

R7年度：市内個人1：雛人形(段飾り) 市内個人1：市指定文化財木更津船之由緒書ほか市

内旧家所蔵資料 県内個人1：緑十字機関係資料 市内個人1：海軍関係資料 市内個

人1：書籍 県外個人1：木更津高等女学校関係資料

・**寄託資料の受入**： R6年度：更新2件 R7年度：更新1件

環境管理

R6年度：館内温湿度計の校正や捕虫トラップを用いた環境調査を実施し、危険因子となる箇所の館内共有を図った。

R7年度：館内温湿度計の校正や捕虫トラップを用いた環境調査を実施し、危険因子となる箇所の館内共有を図った。また、新収蔵庫の燻蒸を行った。

建物管理

R6年度：博物館エレベーター改修工事を実施した。また、新収蔵庫天井の雨漏りにより屋根を修理した。自衛消防訓練を実施し、職員全員で設備の確認をした。

R7年度：第1収蔵庫の空調設備の修繕を実施した。

5. 教育普及活動

(1) 博学等連携事業

- ・ **博物館実習受け入れ**：R6年度は6大学6名（8/20～8/25）を受け入れた。
R7年度は3大学3名（8/19～8/24）を受け入れた。
- ・ **職場体験受け入れ**：R6年度は市内中学校1校2年生2名（9/19）を受け入れた。
R7年度は受け入れなし。
- ・ **講師派遣**：郷土に関する講義をはじめ、博物館や博物館の業務について学ぶ講義を実施した。
R6年度は職員体制により派遣の要望に十分な対応ができず実績は減少したが、
R7年度は調整しながら対応することができた。（詳細は別表参照）
R6年度：市内公民館1回、市内高等学校1回
R7年度：市内公民館6回、市内高等学校1回
- ・ **学校等見学等受入**：小学校を中心に、昔の暮らし・社会科見学を主として体験学習等を受け入れた。小学校の昔の暮らし体験学習では、「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」の協力などにより、石臼による黄粉作り、いろり等の体験を行った。
R6年度：小学校16校（市内）、公民館3館（市内2館、市外1館）、他15団体
R7年度：小学校11校（市内9校、市外2校）、公民館3館（市内）、他7団体

(2) 資料貸出等

R6年度：特別利用（熟覧・撮影等）30件/計139点 貸出7件/計45点 借用6件/計29点

貸出先 国立歴史民俗博物館（常設展示：重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品）、千葉県立中央博物館（茂原市矢部華経氏作絵馬・稲荷神社経木絵馬・墨書板・千葉県立上総博物館展覧会図録）、袖ヶ浦市郷土博物館（松面古墳・鶴ヶ岡1号墳出土品・県指定文化財高部30号墳・32号墳出土品）、君津市立久留里城址資料館（市指定文化財上総鋳物師大野家関係資料・市指定文化財小倉家文書・歌川豊國浮世絵・南総里見八犬伝ほか）、木更津市文化課（館内書籍）、公益財団法人千葉県教育振興財団（笹子城水晶五重塔・市指定文化財中越遺跡出土小

銅鐸附石製舌)、横浜都市発展記念館(昭和丸材料見積・機関船模型)

借用先 京都府埋蔵文化財調査センター(石本遺跡修羅形木製品写真データ)、大阪府立近つ飛鳥博物館(三ツ塚古墳出土大修羅・小修羅・テコ棒出土状況写真データ)、木更津市文化課(松面古墳木製品ほか)、鴨川市教育委員会生涯学習課(小湊誕生寺写真データ)、公益財団法人鋸山美術館(鋸山写真データ)、富津市建設経済部商工観光課(天神山海岸写真データ)

R7年度:特別利用(熟覧・撮影等)23件/計51点 貸出4件/計58点 借用7件/計238点

貸出先 国立歴史民俗博物館(常設展示:重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品)、千葉経済大学地域経済博物館(亜墨利加人上陸之図・幕末の砲弾・林忠崇肖像写真・黒紋付上下うち羽織・北亜墨利加軍入船絵巻)、公益財団法人千葉県教育振興財団(久野遺跡出土品・笹子城跡出土品)、袖ヶ浦市郷土博物館(伊豆山台遺跡出土「鳥頭形把手」)

借用先 磐田市教育委員会文化財課(鮫島海岸写真データ)、伊江村教育委員会(伊江島全景ほか)、千葉県教育委員会(芝野遺跡出土弥生土器(壺)ほか)、市原歴史博物館(天神台遺跡出土小銅鐸ほか) 君津市教育委員会生涯学習文化課(大井戸八木遺跡出土小銅鐸ほか) 袖ヶ浦市郷土博物館(文脇遺跡出土小銅鐸ほか)、木更津市文化課(高砂遺跡出土銅釧ほか)

(3) X(旧Twitter)の更新

博物館活動および地域の歴史等に関することを発信するため、X(旧Twitter)を更新した。フォロワー数は約437。(1月末日現在)

(4) 講座等(詳細は別表参照)

R6年度:郷土文化伝承体験講座2回、きさらづ歳時記4回、夏休み体験講座「勾玉作り教室」1回、古文書講座6回、地域学講座『木更津風土記』3回を実施。

R7年度:郷土文化伝承体験講座2回、きさらづ歳時記3回、夏休み体験講座「勾玉作り教室」1回、古文書講座6回、地域学講座『木更津風土記』2回を実施。

(5) 旧安西家住宅利用状況

R6年度:3回(市内半日2回、市外半日1回) R7年度:1回(市内半日1回)

(6) その他協力事業等

R6年度:令和6年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業「関東考古学フェアスタンプラリー2024」(6/8~11/24)、「KISARAZU ORGANIC CITY FESTIVAL 2024」(11/3)に協力し、博物館の紹介やマミヤク遺跡出土子持勾玉(市指定文化財に指定(9/24))のパネル展示を行った。

R7年度：令和7年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業「関東考古学フェアスタンプラリー2025」（6/14～11/24）

6. 協議会など

郷土博物館金のすず協議会

R6年度：第1回（6/28）、第2回（1/17）実施。

第9期委員6名（任期：R6年11月1日～R8年10月31日）

R7年度：第1回（4/26）、第2回（11/30）実施。

第9期委員6名（任期：R6年11月1日～R8年10月31日）

君津地方公立博物館協議会 木更津市・君津市・袖ヶ浦市の公立博物館による協議会。

R6年度：理事会（5/17・11/19）、担当者会議（7/10・10/31・3/26）、

研修会（9/11・12/25・2/7）

R7年度：理事会（5/21・11/11）、担当者会議（6/19・10/28）、研修会（9/17）

千葉県博物館協会 県内の博物館の団体。

R6年度：総会（5/22）、研修会（1/10） R7年度：総会（5/22）、研修会（5/22）

日本博物館協会「博物館研究」の年間購読等により今日的な博物館の課題、情報を収集。

R6年度：全国博物館館長会議（7/3） R7年度：全国博物館館長会議（7/2）

その他 君津地方社会教育研究会

社会教育に関する問題解決等のため、君津地方4市の職員が集まり、実践および研修を重ねること
とで、専門的なスキルアップを図る。

7. 友の会の活動

R6年度：会員数45名、定期総会1回、役員会6回、移動研修1回、会報28号発刊、
サークル紹介展（11/17）

R7年度：会員数44名、定期総会1回、役員会4回、会報29号発刊

8. きさらづ文化財ガイドボランティアの会への委託

旧安西家住宅への来館者に対する解説等を委託した。

旧安西家住宅へ来館した小学3年生の昔の暮らし体験学習を受け入れた。

R6年度：活動280日間、来館者2,508人、ガイド延べ977人、

定期総会1回（書面開催）、役員会5回

R7年度：活動217日間、来館者1,668人、ガイド延べ803人、

定期総会1回（書面開催）、役員会3回

※会員の高齢化に伴い、令和6年度からは活動時間を午前のみ実施。

9. 入館者の推移（単位：人）

年度	利用者 総数	観覧者 総数	中学生 以下	一般	65歳 以上	※1 その他	主催事業 等参加者	開館 日数
6	13,049	11,186	2,706	4,961	2,451	1,068	1,863	※2 304日
7	9,867	8,392	1,818	3,410	2,415	749	1,475	※2 232日

※1 その他とは高校生・大学生など。

※2 旧安西家住宅開館日数。

※ 令和7年度は12月31日までの統計。

令和6年度は企画展等準備・撤収などの臨時休館のため本館開館日数300日。

令和7年度は特別展等準備・撤収などの臨時休館のため本館開館日数214日。

別表 5. 教育普及活動 (4)講座など (敬称略、観覧者・参加者単位:人)

○ 令和6年度

郷土文化伝承体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
12	21	土	多目的室	正月飾り作り教室	一般市民2名	15
2	16	日	旧安西家住宅	西上総の味噌作り教室	一般市民3名	18

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	26	金	～	5	6	月・振	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼり等飾り付け	253
7	2	火	～	7	7	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	48
9	10	火	～	9	16	月・祝	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	十五夜の供物	113
2	22	土	～	3	2	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅のひな祭り	雛人形飾り付け	577

夏休み体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
8	24	土	多目的室	勾玉作り教室	博物館実習生	7

地域学講座『木更津風土記』

月	日	曜日	会場	内容	タイトル	講師	参加者
11	30	土	多目的室	講義	「平安時代」とはどのような時代か— —物語・仮名日記はなぜ書かれたのか?—	大谷大学 教授 東館紹見	35
1	26	日	多目的室	講義	貸本問屋からみる江戸の書籍流通	国文学研究資料館 特任助教 松永瑠成	29
3	16	日	多目的室	講義	太田山公園の桜の開会予想 ～みんなで遺伝子を調べて桜の開花を予想しよう!～	かずさDNA研究所 室長 白澤健太	29

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル	参加者
9	17	火	岩根公民館	江戸幕府の終焉と木更津	22
12	11	水	千葉県立木更津高等学校	スーパーサイエンスハイスクール(SSH)連携講座 「木更津開拓ラボ」学芸員の業務紹介	13

古文書講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	21	日	多目的室	古文書講座 入門編	千葉経済大学地域経済博物館 学芸員 鈴木凜	20
8	18	日	多目的室	古文書講座 入門編	千葉経済大学地域経済博物館 学芸員 鈴木凜	19
9	16	月・祝	多目的室	古文書講座 初級編	千葉経済大学地域経済博物館 学芸員 鈴木凜	24
10	20	日	多目的室	古文書講座 初級編	千葉経済大学地域経済博物館 学芸員 鈴木凜	24
11	24	日	多目的室	古文書講座 中級編	千葉経済大学地域経済博物館 学芸員 鈴木凜	17
12	15	日	多目的室	古文書講座 中級編	千葉経済大学地域経済博物館 学芸員 鈴木凜	17

ミュージアムサポーターの活動記録

月	日	曜日	場所	内容	参加者
5	19	日	多目的室	協議「ミュージアムサポーターの今後の活動について」	5
9	12	木	倉庫ほか	写真パネルの整理	1
10	11	金	倉庫ほか	写真パネルの整理	1
10	25	金	倉庫ほか	写真パネルの整理	1
11	3	日	鳥居崎海浜公園	オーガニックシティフェスティバル出展補助	2
11	17	日	多目的室	友の会サークル展の見学・補助	4
11	30	土	多目的室	講演会開催協力	1
1	26	土	多目的室	講演会開催協力	2
2	16	日	旧安西家住宅	西上総の味噌作り教室の見学・補助	1
3	16	土	多目的室	講演会開催協力	1
3	21	金	多目的室	企画展展示準備	1
3	22	土	展示室	ギャラリートーク参加	1
3	29	土	多目的室	企画展関連ワークショップ協力	1

○ 令和7年度

郷土文化伝承体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
10	26	日	保管庫	はたおり講習会	郷土博物館金のすず友の会 はたおりサークル	9
12	20	土	多目的室	正月飾り作り教室	一般市民4名	8

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	26	土	～	5	6	火・振	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼり等飾り付け	553
6	21	土	～	7	6	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	237
9	20	土	～	10	10	金	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	十五夜の供物	250

カメラスタンド

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	内容	観覧者
8	14	木	～	8	16	土	旧安西家住宅	撮影用カメラスタンドの試験設置	78

夏休み体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
8	23	土	多目的室	勾玉作り教室	博物館実習生	12
8	23	土	エントランスホール	勾玉作り教室 (幼児・低学年コーナー)	清和大学短期大学部 教員・学生	34

地域学講座『木更津風土記』

月	日	曜日	会場	内容	タイトル	講師	参加者
7	27	日	多目的室	講義 実験 工作	「アサガオの色と形の変化を調べてみよう！」	かずさDNA研究所 室長 白澤健太 東京大学大学院 教授 藤井壯太	42
8	9	土	中央公民館 多目的ホール	講義	「緑十字機の飛行と木更津」 ー調べて紐解く80年前の出来事ー (令和7年度きさらづ市民カレッジと共催)	パシフィックレックス リサーチャー 坂井田洋治	110

特別展講演会

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
11	29	土	中央公民館 多目的ホール	房総半島からみたもう一つの弥生時代像 ー農業・青銅器・戦いー (令和7年度きさらづ市民カレッジと共催)	駒澤大学 教授 寺前直人	77

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル	参加者
6	17	火	波岡公民館	金鈴塚古墳	13
7	11	金	多目的室	スーパーサイエンスハイスクール(SSH)連携講座 「木更津開拓ラボ」博物館と学芸員	23
7	18	金	畑沢公民館	江戸幕府の終焉と木更津	27
7	31	木	西清川公民館	江戸幕府の終焉と木更津	14
9	18	木	桜井公民館	浮世絵とは何か？	16
12	12	金	金田地域交流センター	浮世絵にみる「木更津」	12
12	19	金	八幡台公民館	金鈴塚古墳	23

古文書講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
8	3	日	多目的室	古文書講座 入門編	千葉市立郷土博物館 市史研究員 大関真由美	19
8	17	日	多目的室	古文書講座 入門編	千葉市立郷土博物館 市史研究員 大関真由美	21
9	7	日	多目的室	古文書講座 入門編	千葉市立郷土博物館 市史研究員 大関真由美	20
9	28	日	多目的室	古文書講座 初級編	千葉市立郷土博物館 市史研究員 大関真由美	22
11	2	日	多目的室	古文書講座 初級編	千葉市立郷土博物館 市史研究員 大関真由美	24
11	16	日	多目的室	古文書講座 初級編	千葉市立郷土博物館 市史研究員 大関真由美	20

ミュージアムサポーターの活動記録

月	日	曜日	場所	内容	参加者
5	20	火	多目的室	ミュージアムサポーター会議	3
6	10	火	博物館内	資料写真スキャン	1
6	19	木	博物館内	資料写真スキャン	1
6	21	土	博物館内	資料写真スキャン	1
7	6	日	博物館内	資料写真スキャン	1
7	12	土	博物館内	資料写真スキャン	1
7	13	日	博物館内	資料写真スキャン	1
7	19	土	博物館内	資料写真スキャン	1
7	20	日	博物館内	資料写真スキャン	1
7	26	土	博物館内	資料写真スキャン	1
8	1	金	博物館内	資料写真スキャン	1
8	3	日	博物館内	資料写真スキャン	1
8	14	木	博物館内	資料写真スキャン	1
8	15	金	博物館内	資料写真スキャン	1
8	16	土	博物館内	資料写真スキャン	1
8	17	日	博物館内	資料写真スキャン	1
8	31	日	博物館内	資料写真スキャン	1
11	23	日	博物館内	資料写真スキャン	1
11	24	月・振	博物館内	資料写真スキャン	1
11	29	土	博物館内	資料写真スキャン	1
11	30	日	博物館内	資料写真スキャン	1
12	13	土	博物館内	資料写真スキャン	1
12	14	日	博物館内	資料写真スキャン	1
12	20	土	博物館内	資料写真スキャン	1
12	21	日	博物館内	資料写真スキャン	1

青少年指導関係

1. 活動方針

家庭、地域、学校、警察署や内房地区少年センター、南房総教育事務所生徒指導班、児童相談所等の関係機関との連携を密に、青少年の非行を防止し、健全育成を図る。

2. 業務内容

(1) 相談活動

①来所相談、電話相談、メール相談等の充実に努める。

相談受理件数（令和7年12月31日現在）

来所相談	電話相談	メール相談	合計
12件	45件	22件	79件

②関係諸機関との連携を密に、効果的な支援に努める。

(2) 街頭指導

①計画指導 青色灯装着車による街頭パトロールを週1回以上実施する。

②地区指導 青少年補導員による街頭指導を中学校区毎に実施する。

③特別指導 関係諸機関・諸団体と連携し、駅周辺指導及び花火大会終了後のパトロール等、特別街頭指導を実施する。

実施状況 (令和7年12月31日現在)	実施回数(回)	延従事者(名)	指導少年数(名)
計画指導	20	38	0
地区指導	79	231	0
特別指導(花火・駅周辺)	2	36	0
合計	101	305	0

(3) 安心して安全にインターネット環境を利用するため

①インターネットリテラシーの向上を目指した啓発活動等の実施。

②県の実施するネットパトロールと連携し、適切な指導・支援を行う。

(4) 関係機関・団体との連携

①学校、警察、児童相談所等との協力体制の推進強化を図る。

②各種連絡会議との連携を図る。

(5) 啓発活動

①青少年健全育成のための広報紙等を定期的に発行する。

②未成年による飲酒・喫煙、薬物乱用等の防止に関する啓発活動を行う。

(6) 青少年指導関係運営協議会

青少年の健全な育成及び非行の防止を支援するために、関係行政・教育機関及び団体の代表で構成される青少年指導関係運営協議会を設置している。

委員は市長が委嘱し、任期2年、定数15名以内と定められている。(現員数14名)

(7) 青少年補導員

青少年補導員は、地域における非行状況の情報連絡をするとともに、自主的組織の青少年補導員連絡協議会を組織し、地区活動を中心に主たる業務である街頭補導に従事するほか、地域環境浄化活動にも積極的に従事している。

青少年補導員は、市長が委嘱し、任期2年、定数100名以内と定められている。
(現員数67名 令和8年1月1日現在)

7. 資 料

歴代教育委員及び教育長

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
S 27	大日方惟信	浜名 儀三	加藤 儀助 ・ 梶 良一 ・ 加藤 議祐	斉藤 善治 (助役事務取扱)
28	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠	東條 繁樹
29	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助	東條 繁樹
30	梶 良一	加藤 儀助	浜名 儀三 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助 ・ 伊藤 正雄 ・ 渡辺 庄司	東條 繁樹
31	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 渡辺 庄司	小山 義雄
32	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
33	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
34	末吉 弥吉	鳩飼 茂	内藤 津多 ・ 堀切 友雄	小山 義雄
35	鳩飼 茂	堀切 友雄	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
36	堀切 友雄	内藤 津多	安西 忠蔵 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
37	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉 ・ 大日方雄三	小山 義雄
38	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
39	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
40	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
41	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
42	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
43	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
44	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
45	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
46	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
47	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
48	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄 ・ 中村 武雄	小山 義雄
49	堀切 友雄	内藤 津多 榎本 武雄	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
50	堀切 友雄 榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
51	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
52	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職 務 代 理 者	委 員	教 育 長
S 53	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
54	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
55	榎本 武雄 佐久間重男	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 ・ 中村 武雄 ・ 鈴木 達也	小山 義雄 原 保
56	佐久間重男	高橋 裕吉	中村 武雄 ・ 鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
57	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
58	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
59	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保 栗林 信夫
60	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
61	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
62	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 鈴木 達也	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい	栗林 信夫
63	高橋 裕吉	鈴木 達也 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
H 1	高橋 裕吉	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
2	高橋 裕吉 高橋 せい	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
3	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
4	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
5	高橋 せい 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
6	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
7	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄 ・ 石川 茂子	栗林 信夫
8	鹿間 敏夫	白石 英夫 石川 茂子	杉井 和夫 ・ 橘田 昭雄	栗林 信夫 西村 堯
9	鹿間 敏夫 杉井 和夫	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 ・ 石川 茂子 ・ 石井 利枝	西村 堯
10	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝	西村 堯
11	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝 ・ 井原 一恵	西村 堯
12	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 大日方惟忠	大日方惟忠 ・ 井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
13	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
14	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
15	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義 ・ 清崎 光恵	西村 堯
16	橘田 昭雄 青木 和義	大日方惟忠	青木 和義 ・ 清崎 光恵 ・ 石井 英美	西村 堯 初谷 幹夫

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職 務 代 理 者	委 員	教 育 長
H 17	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
18	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
19	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
20	青木 和義 石井 英美	大日方惟忠 清崎 光恵	清崎 光恵 ・ 石井 英美 大日方惟忠 ・ 青木 和義	初谷 幹夫
21	石井 英美	清崎 光恵	大日方惟忠 ・ 青木 和義 ・ 武井 紀夫	初谷 幹夫
22	石井 英美	清崎 光恵	青木 和義 ・ 武井 紀夫 ・ 長谷部理絵	初谷 幹夫
23	石井 英美	清崎 光恵 長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 長谷部理絵 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
24	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
25	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
26	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
27	—	石井 英美	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄 ・ 長谷部理絵	高澤 茂夫
28	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
29	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
30	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 渡部 佳子 ・ 豊田 雅之	高澤 茂夫
31(R1)	—	武井 紀夫	渡部 佳子 ・ 豊田 雅之 ・ 井上 美鈴	高澤 茂夫
R2	—	武井 紀夫	渡部 佳子 ・ 豊田 雅之 ・ 井上 美鈴	高澤 茂夫
R3	—	武井 紀夫 渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 井上 美鈴 ・ 小寺孝治郎	廣部 昌弘
R4	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 小寺孝治郎 ・ 加藤 緑	廣部 昌弘
R5	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 小寺孝治郎 ・ 中島 緑	廣部 昌弘
R6	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 小寺孝治郎 ・ 中島 緑	廣部 昌弘
R7	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 中島 緑 ・ 中村 和人	廣部 昌弘

教育功勞被表彰者一覽

年度	氏 名 (団 体 名)
S 28	山崎 直 ・ 榎本 武治 ・ 時田 新蔵 ・ 中村 平吉 ・ 石渡健三郎 ・ 堀切 友雄 ・ 君塚 嘉夫 ・ 佐久間重男 ・ 栗原 金司
29	石井 幹夫 ・ 小熊 君子 ・ 三枝 重蔵 ・ 市川 清茂 ・ 高橋 卓一 ・ 河田 陽 ・ 藤倉 信雄
30	近藤 音松 ・ 松本菊治郎 ・ 鈴木 和子 ・ 安田 静一 ・ 小野 秀三 ・ 藤倉 信雄 ・ 望月 湊 ・ 嶋田 廣吉
31	浅井 泰治 ・ 内海 茂 ・ 飯塚 しづ ・ 浪久 丈雄 ・ 榎本 武雄 ・ 細井子之助 ・ 林 好雄
32	宮本 寿吉 ・ 古屋 昇 ・ 篠崎 弘 ・ 服部 てい ・ 藤倉 かね ・ 山田 金吾 ・ 若鍋千代吉 ・ 山崎 ふさ
33	北見 日吉 ・ 大日方雄三 ・ 竹内 隆 ・ 白木 光郎 ・ 内藤百合子
34	杉山 聞多 ・ 平野 要 ・ 鈴木 康夫 ・ 鈴木利三郎 ・ 神子 仁明 ・ 飯塚 信明
35	鈴木 保 ・ 山田 千鶴 ・ 佐藤 富士 ・ 石渡 真一 ・ 黒田 清 ・ 鈴木 一平 ・ 松 美佐雄 ・ 植松 仁子 ・ 泉水 潔 ・ (点字奉仕会)
36	花崎農夫寿 ・ 古藤田茂雄 ・ 内木 みち ・ 山田精五郎 ・ 三沢 英夫 ・ 北見 定吉 ・ 鈴木 静夫 ・ (西上総文化会木更津支部)
37	大日方惟信 ・ 藤代善次郎 ・ 唯野 寿雄 ・ 北村つめよ ・ 多田 一夫 ・ 神頭 千代 ・ 根本 安代 ・ 石川 寛 ・ 伊藤 俊栄
38	竹内正太郎 ・ 高橋 まつ ・ 青柳 三郎 ・ 鳥海ゆき江 ・ 高橋 せい ・ 細野 鹿蔵 ・ 在原 定雄 ・ 柴崎 みつ
39	畑野 敏 ・ 三枝 正夫 ・ 細井 美和 ・ 山口 祐正 ・ 伊草 光次 ・ 桐谷 清 ・ 林 英樹
40	栗原 正美 ・ 関口 清二 ・ 斉藤 新蔵 ・ 磯辺 快子 ・ 桑田 馨二 ・ 梶川 環 ・ 山本 恭雄
41	田村 きよ ・ 小倉 重成 ・ 青木 秀 ・ 内藤賀寿夫 ・ 関口 義雄 ・ 小島 寿子 ・ (武道連盟)
42	田村 芳美 ・ 岩瀬 すみ ・ 落合 均 ・ 杉浦 和平 ・ 安田 智堂 ・ 高橋 省己 ・ 千代倉 胖
43	竹内金兵衛 ・ 渡辺 達雄 ・ 本多 光子 ・ 斉藤 藤江 ・ 森 美代子 ・ 本吉 雄吉 ・ 高木 茂男
44	吉川 金一 ・ 根本 隆之 ・ 鶴岡 清子 ・ 高崎 繁雄 ・ 秋楽 幸子 ・ 嶋野 一雄 ・ 鈴木 安雄
45	積田 博 ・ 佐藤美代子 ・ 重田 まさ ・ 榎本 功 ・ 鈴木 文子 ・ 鈴木 重雄 ・ 赤川 徹男
46	若林 隆 ・ 安西 輝子 ・ 小梶 和子 ・ 八剣 澄子 ・ 村上 香 ・ 田村きみ江 ・ 山口 健一
47	原 保 ・ 和田 裕之 ・ 武長 瑾英 ・ 刈込 淑子 ・ 相沢 雪 ・ 飯田 哲夫 ・ 石井 堅一 ・ 宇野 六夫 ・ 守 智雄 ・ 勝呂 国利 ・ 羽瀬 玲子
48	石橋 郁夫 ・ 分目 茂 ・ 石井 富子 ・ 大久保 進 ・ 小林 きく ・ 渡辺 和彦 ・ 横須賀 孝
49	前田 弘次 ・ 近藤 禮治 ・ 磯貝 ツヤ ・ 森本 俊 ・ 小林 いつ ・ 国分 貞子 ・ 西山 六郎
50	大河原三夫 ・ 平野 勉 ・ 平戸 襄 ・ 立石智恵子 ・ 高橋 巴子 ・ 鳥飼 誠 ・ 手島 宏晴 ・ 小原 三郎 ・ 楠田伝次郎
51	石川 俊夫 ・ 榎沢 竹夫 ・ 磯崎 愛子 ・ 水野 章男 ・ 下室 高治 ・ 安達 武夫 ・ 大岩 徳 ・ 川名寿美恵 ・ 曾根 和男
52	柳瀬 秀雄 ・ 白石 三郎 ・ 筑紫 栄徳 ・ 荒居善次郎 ・ 鶴岡 つね ・ 池田 幹男 ・ 庄司 邦夫 ・ 鈴木 健之 ・ 佐久間さく
53	天羽 隆雄 ・ 浅井 昭 ・ 相川 良二 ・ 三枝 園子 ・ 山口 敏子 ・ 鈴木 恒子 ・ 小籠 定長 ・ 鈴木 音彌 ・ 花輪 正好

年度	氏 名 (団 体 名)
S 54	齋藤武次郎・田浦壽太郎・藤里 玲子・景山喜久子・齊藤 誠・山口 栄治・吉川智恵子・福島 健次・鳥飼明二郎
55	片山 好實・鈴木 騎兵・安田 敬・林 秀雄・牛島登志子・土屋 清子・石川 明・庄司 肇
56	重田 吉彦・渡辺 敏夫・中島 京・桑田 芳枝・萱野 敏彦・井上 亮三・辻田 昇・八剣 昭雄
57	谷萩 武雄・青柳 文夫・榎本しづえ・早田 芳子・瀬戸 正嗣・森山 弘大・渡辺 弘己・稲垣 新清・大溝 晴史・重城 良造
58	増田 治男・刈込 仁・嶋田伊富子・鈴木 恵子・松本 祐子・東 秀和・館脇 きよ・山田 弘・富澤 一枝
59	山口 清次・竹内 秀夫・安田 祿彌・小林 セツ・和地 妙子・市東 良子・安藤 小平・伊藤 満
60	大沢 雅一・星野 享永・渡辺 博・尾棹 正夫・鈴木 郁夫・曾根美代子・藤寄百合子・山本 茂子・白石 裕
61	鈴木 隆・萩原 一郎・三枝 公一・高橋 君子・八剣 茂・富澤 義夫・渡辺 朱美・山本 良治・吉田 明
62	石渡 三郎・山田 重昭・藤里 公一・細谷 竹松・和地 惠實・山口 かの・安藤 はま・篠辺 正和・塩塚 重雄・大野 進
63	郷津 信賢・鈴木 泰明・山口 満夫・花澤 重男・山口 義雄・鈴木 昇・小川 弘子・古宮 玲子・川口 純・関 正輪
H 1	重田 勳・米澤 安夫・曾根 英範・岡田 良平・岸 守・松永 和夫・鈴木 久子・地曳 岩夫・高木 厚行・壇谷 洋
2	榎本 秀夫・須藤 英夫・藤寄 啓好・林 務・鈴木 和郎・鈴木 敏男・箱守 和子・川本 勉・飯田厚三郎・大日方 洋・高橋 竹乃・石井美佐子・磯辺 明・和泉 禮明・飯島 咲子
3	竹内 哲也・前田 昇・牛島 新治・小川 郁夫・石渡 重彦・山田 文子・池田 昭・荻野 敬次・鳥海 郁二
4	東條 章夫・鶴野 光雄・鈴木 勝江・茂田 政睦・宇渡 明巳・高浦早智子・藤倉 貞子・武井 重雄・仲田 一・磯貝 良・影山 乾一・篠田 一恵
5	石井 恭雄・川名 伸夫・和田 公喜・宮森 文郎・柴崎 明子・能星みち子・菅野恵美子・勝呂 至孝・鈴木 寛・桑田きみ子・宮崎 祐致・石井 久喜・鳥飼 政枝
6	関口 敏夫・中山 寿弘・中村 督民・平野 勲・古谷 鉄男・羽山 豊春・谷澤那美江・庄司安兵衛・大野 英二・本吉 松博・平瀬雄二郎
7	野口 芳宏・石川仁一郎・小川 昇・鈴木 貞雄・松江 俊昭・渡辺美智子・岡庭カツ子・大塚 淳・村山 康太・伊草 文代・桐谷 新三・杉井 和夫・芳野 眞任
8	茂田 才治・福本 清治・錦織 正道・金子 馨・景山 正之・吉田 重夫・鈴木 良彰・三木美代子・磯貝 昇・今井 香樹・萱野 文雄・馬場 昭夫
9	鈴木 義明・木村 智行・能星 晃・長谷川久治・柳川 秀雄・酒井 正雄・前田 宏・鈴木 房子・小磯 利夫・赤川 宣子・岡田 正剛・高橋 一美・安部トシ子・(木更津市美術連盟)
10	木田 繁・青柳 敬子・伊藤 淑江・小池 和夫・君塚 桂子・板倉美代子・安藤 智子・江野沢眞弓・鹿間 敏夫・小泉ヨシ子・石井 芳夫・瀬能 正一・榛沢 敦子・(こあらの会)
11	齋藤 福一・福原 功・高橋 恵子・吉田 恵子・廣部 尚子・伊藤 三子・山田 勝巳・安達 弦太・藤井 一夫・山口 延善・石井 久子・田村 幸雄・吉野 郁子・加藤 房江・永島 貞二
12	押野見邦彦・三上 勝彦・浦部紘一郎・石邑祐一郎・平野紀美子・勝又 節子・平野 弘子・佐久間道子・安積美智子・藤井 昭夫・市川 昇・鈴木 芳則・青木 和義・網中 和子・(木更津ばやし保存会)
13	飯島 公一・村松 和久・安藤 昭之・御園 信弘・須貝 和子・川名 好枝・中村 和成・大日方惟忠・佐藤 敏彦・細井系太郎・齊藤 昭平・山田 節義・(木更津市子ども会育成連絡協議会)

年度	氏名(団体名)
H 14	鈴木 克彦・根本 榮治郎・山口 正明・奈良 輪 索・柳生 直宣・園田 陽子・ 松沢 廣子・宮本 紀子・鳥海 照代・鳥海 ひろみ・齊藤 英子・水野 信義・ 飛澤 彰・筑紫 敏夫
15	鴻池 敦・鶴田 憲司・横内 規明・磐井 美千代・吉元 玲子・横内 きよ子・ 石渡 宏・吉田 敬・小竹 和己・櫻井 満・吉田 光代・鈴木 克巳・ 蘇我 芳章・(木更津市体育協会)・(木更津市文化協会)
16	藤沢 きよ子・平野 寛・勝畑 利光・磯貝 修一・大塚 典夫・川名 眞木子・ 功刀 和子・八角 泰男・勝呂 文恵・磯貝 節子・地曳 貞二・原 初恵・ 廣部 一・(千葉県自転車軽自動車商協同組合木更津支部)
17	林 俊之・實形 勢津子・関口 一眞・高橋 博光・渡邊 啓子・露崎 信子・ 村野 はるみ・鈴木 俊子・門田 秀夫・磯貝 隆久・鈴木 敏子・ (岩根西地区青少年健全育成振興会)・(木更津薪能の会)
18	長島 眞・齋藤 勇・磯崎 正利・川名 和夫・長谷川 貢一・武田 敏子・ 上田 光代・松清 央・小関 洋男・石村 元章・島田 登美夫・桑田 光正
19	磯貝 章・鈴木 健治・田村 博・平野 えい子・宇野 裕子・中山 立子・ 長尾 幸子・綾野 美登里・上田 誠治・橋爪 洋平・市東 良子・山口 一郎・ 鶴田 隆一・武藤 義彦
20	鈴木 順一・鎌田 実・藤森 けい子・鈴木 節子・今井 裕文・古泉 美根子・ 石井 禎一・相沢 枝里子・飯田 勉・吉崎 治美・溝口 五百子・筑紫 敏夫
21	小原 俊郎・内藤 健一・塩田 耕司・鈴木 正美・永嶋 博文・高橋 純子・ 嶋田 敏恵・山田 ゆり子・鈴木 喜代江・杉山 公夫・鈴木 勝也・渡辺 和彦
22	高村 直道・土井 淳治・多田 元樹・石井 春久・古閑 晃一・玉川 剛・ 鈴木 雄子・内海 晃・齋藤 眞理子・平山 政彦・山下 博・佐々木 幸生・ 李 程英
23	林 正巳・明石 知幸・白石 修一・多田 芳明・石井 吉明・宮城 三津子・ 内藤 成人・柳澤 裕子・森 孝子・鈴木 克己・水野 幸子
24	栗原 正志・桐谷 和美・古泉 忠之・小尾 哲郎・齋藤 幸子・大岩 静江・ 長谷川 文子・平野 洋子・八代 時江・宮崎 恵子・(木更津市婦人会連絡協議会)
25	田口 哲郎・渡辺 正悟・高澤 茂夫・池田 武・神子 由之・堤 千枝子・ 鹿島 都子・佐久間 薫・久我 京子・泉水 桂子
26	小高 巳喜男・篠原 和行・伊東 晶一・安川 公子・荒井 幸江・加藤 則子・ 山本 泉・仲野 憲治・杉本 正美・山口 治彦・石井 典子・佐久間 ひさい・ 志保 沢博央・山田 治子
27	石井 章・関口 明・小川 善彦・大胡 利一・萱野 弘之・伊藤 俊樹・ 渡邊 義明・原田 智子・岩崎 淳
28	加藤 高明・竹内 淑子・江田 欣弘・積田 一重・永嶋 偉子・上田 順次・ 中村 吉朗・関 和一・竹重 厚志・若海 和広・大久保 尚子
29	山本 卓人・藤平 慶子・鈴木 修一・額賀 敏行・平野 千津子・武田 重雄・ 横田 由起子・宮下 育夫・小宮 邦夫・齋藤 裕子
30	米澤 雅史・積田 等・安田 正幸・佐々木 洋子・桑田 清行・縄谷 尚志・ 宮崎 眞司・伊藤 結実子・小尾 みどり・高品 律子・吉田 裕子・地曳 昭裕・ 青木 美津子
31(R1)	廣部 昌弘・佐藤 千明・田村 淳也・矢野 直明・北川 久雄・越川 茂夫・ 伊藤 裕美・星野 志げ子・鈴木 一枝・緒形 由美子・鶴岡 宗一・中澤 恵・ 松本 衣江・(木更津ユネスコ協会)
R 2	河野 勝・前田 達哉・齊藤 毅人・藤寄 保・市原 浩・平 一晶・ 小峯 清茂・矢田 博幸・白石 雅子・大庭 俊哉・高梨 朋子・丸山 隆子・ 中村 哲・荻野 敬次・(かずさジュニアオーケストラ)
3	高野 芳一・大木 昌代・小倉 敏幸・増田 一秀・大木 栄子・鶴田 友美子・ 橘田 和子・山口 正美・水田 佐恵子・藤平 紀代美・内田 慎一郎・石村 比呂美・ 宮崎 敏江・大日 方幸子・(中島区文化財保存会)
4	篠田 薫・齋藤 雄一・西 克夫・吉沢 信之・臼井 弘子・唐鎌 勲・ 故窪田 宏一・根本 勝也・宮下 英子・額賀 美代子・藤寄 啓子・鳥飼 栄一・ 石渡 恵理・入野 すみ江・吉澤 隆子・藤浪 孝・天野 早苗

年度	氏 名 (団 体 名)
R 5	座間 良彦 ・ 泉澤 由和 ・ 佐藤 雅之 ・ 佐々木伸司 ・ 木村 孝雄 ・ 村田 貴史 ・ 伊東千都世 ・ 佐藤 晴美 ・ 武田 正次
6	根本 修身 ・ 福中 義宏 ・ 北岡 由佳 ・ 今井 克彦 ・ 眞戸原美津子 ・ 田中 美幸 ・ 竹内 真理 ・ 市原 靖子 ・ 江田由香利 ・ 伊東 朱美 ・ 西原 和子 ・ 渡邊由美子 ・ 西村 堯 ・ 上田 和子
7	熊切 和也 ・ 遠藤 香里 ・ 鶴岡 規子 ・ 森田 妙子 ・ 田中 佐智子 ・ 桂 啓之 ・ 浦邊 利久

市内指定等文化財一覧

令和8年1月1日現在

番号	種別	名称	現所在地	所有者	指定年月日	員数	備考	
国指定	1	重要文化財 (考古資料)	千葉県金鈴塚古墳出土品	木更津市郷土博物館のすず	S34. 6. 27 R 2. 9. 30	一括	追加	
	2	重要有形民俗文化財 (生産、生業に用いられるもの)	上総掘りの用具	木更津市郷土博物館のすず	S35. 6. 9 H 7. 12. 26	258点	追加	
国選択	1	記録選択 (無形民俗文化財)	木更津市中島の梵天立て	中島 (神事会場は金田漁業協同組合 裏の水神宮付近の海)	中島区文化財 保存会	H 4. 2. 25		
国登録	1	登録文化財 (建造物)	選擇寺本堂	中央1-5-6	選擇寺	H12. 2. 15	1棟	
	2	登録文化財 (建造物)	下郡郵便局旧局舎	下郡	個人所有	H16. 7. 23	1棟	
	3	登録文化財 (建造物)	ヤマニ綱島商店店舗	中央2-5-9	個人所有	H23. 7. 25	1棟	
県登録	1	登録文化財 (彫刻)	明寺薬医門 藁股 力士像 光明寺薬医門 木鼻 獅子と牡丹 (武志伊八郎信由関連作品)	中央1-1640-1	光明寺	R7. 2. 26	1点 1対	
県指定	1	記念物 (史跡)	金鈴塚古墳	長須賀430-1	木更津市	S25. 11. 3	251㎡	
	2	有形文化財 (彫刻)	銅造阿弥陀如来立像	太田2-16-2 木更津市郷土博物館のすず	木野根沢区	S29. 3. 31	1躯	寄託
	3	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来立像	桜井1450	東光院	S30. 12. 15	1躯	
	4	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来坐像	請西	法人所有	S35. 6. 3	1躯	
	5	有形文化財 (工芸品)	金銅孔雀文馨	請西	法人所有	S35. 6. 3	1面	
	6	有形文化財 (工芸品)	金銅五鈷鈴	請西	個人所有	S35. 6. 3	1点	
	7	民俗文化財 (無形民俗文化財)	木更津ばやし	中央 (旧仲片町)	木更津ばやし 保存会	S38. 5. 4		
	8	有形文化財 (工芸品)	梵鐘 (長禄三年在銘)	真里谷1760	妙泉寺	S39. 4. 28	1口	
	9	有形文化財 (古文書)	制札	請西	法人所有	S39. 4. 28	1枚	
	10	有形文化財 (考古資料)	黄瀬戸灰釉木の葉文瓶 附 常滑不識壺	永井作1-4-66	善光寺	S40. 4. 27	各1口	
	11	有形文化財 (建造物)	須賀神社本殿	祇園524	須賀神社	S54. 3. 21	1棟	
	12	民俗文化財 (有形民俗文化財)	東京湾のり生産用具	太田2-16-2 木更津市郷土博物館のすず	木更津市	S54. 3. 2	一括	
	13	有形文化財 (古文書)	天正検地帳 (上総国望陀郡 菅生庄請西之郷御縄打水帳)	太田2-16-2 木更津市郷土博物館のすず	木更津市	S57. 4. 6	16冊	
	14	有形文化財 (絵画)	板絵著色富士の巻狩図絵馬	長須賀2444	日枝神社	H 5. 2. 26	1面	
	15	有形文化財 (考古資料)	上総大寺廃寺露盤	大寺1029	熊野神社	H13. 3. 30	1点	
	16	有形文化財 (歴史資料)	至徳堂関係資料	太田2-16-2 木更津市郷土博物館のすず	木更津市	H14. 3. 29 H20. 3. 18	220点	追加
	17	有形文化財 (考古資料)	高部30号墳・32号墳出土品	太田2-16-2 木更津市郷土博物館のすず	木更津市	R 2. 3. 10	27点	
市指定	1	記念物 (史跡)	斎藤昌麿の墓	小浜	個人所有	S39. 3. 25	1基	
	2	記念物 (史跡)	鳥海酔車の墓	長須賀1668 福寿寺内	個人所有	S39. 3. 25	1基	
	3	記念物 (史跡)	鋳匠大野五郎右衛門遺跡	矢那	個人所有	S40. 2. 20	30㎡	
	4	有形文化財 (書跡)	橘守部遺墨	小浜	個人所有	S40. 2. 20	23点	
	5	有形文化財 (古文書)	鈴木三郎家蔵古文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館のすず	木更津市	S40. 6. 17	一括	
	6	有形文化財 (工芸品)	徳川家より下賜された獅子頭	太田2-16-2 木更津市郷土博物館のすず	中央 (旧北片町)	S40. 9. 6	1体	
	7	有形文化財 (古文書)	木更津船之由緒書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館のすず	木更津市	S40. 9. 6	1点	
	8	有形文化財 (彫刻)	長楽寺の五輪塔	請西	法人所有	S41. 4. 22	1基	
	9	記念物 (史跡)	真武根陣屋遺址	請西1139-33	木更津市	S41. 4. 22	39㎡	
	10	記念物 (史跡)	貝渕木更津県史蹟	貝渕3-439-11	木更津市	S41. 4. 22	960.53㎡	
	12	有形文化財 (彫刻)	嶺田楓江寿碑	富士見1-6-4	八劔八幡神社	S44. 7. 1	1基	
	13	有形文化財 (彫刻)	加藤家の板碑・五輪塔	矢那	個人所有	S45. 6. 11	4基	
	14	有形文化財 (絵画)	江戸期の風俗図屏風六曲一隻	太田2-16-2 木更津市郷土博物館のすず	木更津市	S51. 2. 17	1隻	

市指定	15	有形文化財 (古文書)	小倉家文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	S51. 2. 17	2点	寄託
	16	有形文化財 (書跡)	寛平御時后宮歌合断簡「春」	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2. 17	1幅	
	18	有形文化財 (彫刻)	木造聖観音立像	万石176	金勝寺	S52. 6. 6	1軀	
	19	記念物 (天然記念物)	安西家のキササギ (キササゲ)	草敷	個人所有	S56. 4. 23	1樹	
	20	有形文化財 (建造物)	旧安西家住宅	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S56. 4. 23	1棟	
	21	有形文化財 (歴史資料)	五大力船絵馬	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S59. 2. 23	1面	
	22	記念物 (天然記念物)	松本家のグミ	大稲	個人所有	S60. 12. 12	1樹	
	23	有形文化財 (絵画)	八剱八幡神社の格天井装飾画	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S61. 9. 12	162面	
	24	記念物 (天然記念物)	根本家の椎	真里谷	個人所有	S63. 1. 20	1樹	
	26	有形文化財 (歴史資料)	上総鋳物師大野家関係資料	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	H14. 1. 4	一括	寄託
	28	記念物 (天然記念物)	「鎌足桜」祖株	矢那1245 高蔵寺内	木更津市	H17. 2. 25	1株	
	29	有形文化財 (彫刻)	木造釈迦如来坐像	曾根96	釋蔵寺	H19. 2. 5	1軀	
	30	民俗文化財 (無形民俗文化財)	桜井の獅子舞	桜井	桜井獅子舞 保存会	H22. 6. 2		
	31	有形文化財 (彫刻)	富士見厳島神社の社殿彫刻	富士見1-7-10	厳島神社	H23. 6. 29	3点	
	32	有形文化財 (歴史資料)	銅造聖観世音菩薩立像	茅野683-1	善雄寺	H25. 8. 20	1軀	
	33	有形文化財 (考古資料)	灰釉双耳壺	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	H27. 4. 24	1口	
	34	有形文化財 (考古資料)	庚申塚9号墳出土方頭大刀	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R2. 10. 20	1振	
	35	有形文化財 (考古資料)	宮脇遺跡出土奈良三彩小壺 附伴出土師器	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R2. 10. 20	1点	
36	有形文化財 (考古資料)	中越遺跡出土小銅鐸 附石製舌	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R4. 8. 9	1点		
37	有形文化財 (考古資料)	マミヤク遺跡出土子持勾玉	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R6. 9. 24	1点		

(1)番号：市の指定文化財については指定書の番号を用いているが、その他の指定等文化財については木更津市において次の文化財指定等区分ごとに通し番号を付した。

文化財指定等区分

国指定＝国の重要文化財 県指定＝千葉県が指定した文化財 市指定＝木更津市が指定した文化財

国選択＝「記録選択制度」によって記録を残すべく選択された文化財（指定文化財とは異なる）

国登録＝「文化財登録制度」によって文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する文化財（指定文化財とは異なる）

(2)指定年月日：国選択および国登録に区分された文化財については、選択年月日および登録年月日にそれぞれ読み替えるものとする。

(3)欠番：市指定11号「板絵著色富士の巻狩図絵馬」、同25号「至徳堂関係資料」、同27号「高部30号墳・32号墳出土資料」は、県指定文化財へ移行のため欠番とした。市指定17号「高蔵寺本堂・山門・鐘楼」は、指定解除により欠番とした。

(4)追加指定：国指定2の「上総掘りの用具」と県指定16の「至徳堂関係資料」については、当初指定後に追加指定が有った物件であるため、追加指定年月日を下段に併記した。

(5)国指定1の「千葉県金鈴塚古墳出土品」は追加指定に伴い、「上総木更津金鈴塚古墳出土品」から名称を変更した。

学校施設等

○ 小学校

令和7年5月1日現在

No.	学校名	創立年月日	校舎 m ²				普通教室	特別教室													校地 m ²				屋内運動場		
			鉄筋	鉄骨ブロック	木造	計		理科	生活	音楽	図画工作	(美術)	(技術)	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談	(進路資料・指導)	計	建物敷	運動場敷		その他	計
1	第一小	M 6.	5,811			5,811	18	1		1	1	/	/	1		1	0	2	5	2	/	14	7,082	5,062	1,090	13,234	1042
2	第二小	M 6. 2.	4,783	12	33	4,828	16	1		1	1	/	/	1				1	5	1	/	11	9,318	10,520		19,838	831
3	東清小	M20. 5.20	2,509	152	33	2,694	8	1		1	1	/	/	1				1	1	1	/	7	7,980	8,081	4,467	20,528	1,024
4	西清小	M 6. 5. 4	3,107		19	3,126	14	1		1	1	/	/	1				1	2	1	/	8	4,736	2,757	940	8,433	1,118
5	南清小	M 6. 4.	4,977	348	46	5,371	17	1		1	1	/	/	1	1	1		1	1	1	/	8	7,178	10,276	3,952	21,406	954
6	岩根小	M 6.	5,394	19	20	5,433	16	1	1	1	1	/	/	1				1	8	1	/	15	9,807	8,851	482	19,140	950
7	波岡小	M41. 4.	3,686	62		3,748	11	1		1	1	/	/	1				1	2		/	7	5,379	7,037	4,447	16,863	703
8	鎌足小	M 6. 7.	2,233	32		2,265	8	1		1		/	/	1				1	2		/	6	6,875	6,520	2,285	15,680	600
9	金田小	M26. 8.	2,545	1,211	42	3,798	19	1		1		/	/	1				1	0	1	/	5	10,011	11,893		21,904	658
10	中郷小	M 6.	33	22	1,429	1,484	8	1		1		/	/	1				1		1	/	5	5,907	4,807	104	10,818	624
11	清見台小	S45. 4. 6	5,880	102	53	6,035	24	1		1	1	/	/	1	2			2	5	1	/	14	8,283	6,381	7,616	22,280	1,201
12	高柳小	S46. 4. 5	5,983	132	67	6,182	17	1		1	1	/	/	1		1	0	1	9	1	/	16	13,812	13,359		27,171	808
13	富来田小	M 5. 8. 1	2,413	508	58	2,979	8	1		1	1	/	/	1				1	1	1	/	7	8,869	3,727		12,596	603
14	祇園小	S49. 4. 5	6,691	132		6,823	25	2	1	2	1	/	/	1				2	5	1	/	15	12,362	7,625	2,289	22,276	1,273
15	畑沢小	S53. 4. 5	5,881	207	33	6,121	21	1		1	1	/	/	1				1	9	1	/	15	10,515	10,425	5,768	26,708	900
16	請西小	S54. 4. 3	4,901	1,023		5,924	22	1		1	1	/	/	1	1			1	7	2	/	15	10,354	7,438		17,792	900
17	八幡台小	S56. 4. 3	3,873	1,720		5,593	27	1		1	1	/	/	1				1	6	1	/	12	26,444	6,696		33,140	900
18	真舟小	H26. 4. 1		8,120		8,120	32	1		1	1	/	/	1	1			1	4	1	/	11	20,237	15,548		35,785	1,110
計			70,700	13,802	1,833	86,335	311	19	2	19	15	0	0	18	5	2	0	21	72	18	0	191	185,149	147,003	33,440	365,592	16,199

○ 中学校

令和7年5月1日現在

No.	学校名	創 立 年月日	校 舎 m ²				普通教室	特 別 教 室														校 地 m ²				屋 内 運動場	
			鉄筋	鉄骨 ブロック	木造	計		理 科	(生活)	音 楽	(図 画 工 作)	美 術	技 術	家 庭	外 国 語	視 聴 覚	コ ン ピ ユ ー タ	図 書 室	特 別 活 動	教 育 相 談	進 路 資 料 指 導	計	建 物 敷 地	運 動 場 敷 地	そ の 他		計
1	第一中	S22. 4. 22	4,157		41	4,198	13	2	/	1	/	1	1	1		0	1	1	3	3	14	10,956	11,404		22,360	1,065	
2	第二中	S22. 5. 10	4,206	98		4,304	17	2	/	1	/	1	1	2		1	1	3	2		14	7,702	9,327	1,268	18,297	1,051	
3	第三中	S22. 4. 1	181	4,978		5,159	12	2	/	1	/	1	1	2		0	1	4	1	1	14	6,746	8,404		15,150	1,029	
4	岩根中	S22. 4. 30	4,382	54	36	4,472	8	2	/	2	/	1	1	1		0	1	7	2	0	17	11,335	17,811		29,146	1,067	
5	鎌足中	S22. 5. 10	1,866		76	1,942	5	1	/	1	/	1	1	1			1	2	1		9	8,727	13,272	935	22,934	875	
6	金田中	S22. 5. 10	1,672	340	92	2,104	6	1	/	1	/	1	1	1		0	1	3	1		10	5,950	10,443		16,393	967	
7	富来田中	S22. 5. 10	3,220	23	100	3,343	5	1	/	1	/	1	1	1	1	0	1	5	1		13	7,607	25,086		32,693	843	
8	太田中	S52. 4. 5	4,537	1,348	26	5,911	24	3	/	2	/	2	1	1			1	2	1		13	14,095	13,459	4,109	31,663	997	
9	畑沢中	S55. 4. 5	3,679	243	76	3,998	13	1	/	1	/	1	1	1		0	1	3	3	1	13	13,949	18,971		32,920	1,018	
10	岩根西中	S57. 4. 1	3,871	246	66	4,183	8	1	/	1	/	1	1	1		0	1	6	1		13	10,392	12,659	2,352	25,403	1,000	
11	波岡中	S58. 4. 1	4,564		76	4,640	15	1	/	1	/	1	1	1		0	0	1	1		7	8,430	17,322	2,512	28,264	1,040	
12	清川中	S60. 4. 1	3,751		43	3,794	10	1	/	1	/	1	1	1		0	1	5	2		13	10,884	11,208	721	22,813	990	
計			40,086	7,330	632	48,048	136	18	0	14	0	13	12	14	1	0	1	11	42	19	5	150	116,773	169,366	11,897	298,036	11,942
小中学校 合計			110,786	21,132	2,465	134,383	447	37	2	33	15	13	12	32	6	2	1	32	114	37	5	341	301,922	316,369	45,337	663,628	28,141

○ 木更津市学校給食センター

令和8年1月1日現在

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
平成21年4月1日	潮見二丁目13番地1	鉄骨造2階建	5,474.93m ²	2,524.08m ²

○ 木更津市まなび支援センター

令和8年1月1日現在

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
昭和55年4月1日	朝日一丁目8番17号	鉄筋コンクリート造2階建て	2,314.45m ²	778.61m ²

社会教育施設

施設名	設置年月日	所在地	構造階層	部屋名	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備考
中央公民館	S38. 4. 1	富士見1-2-1	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・地上9階建て（一部3階建て）	スパークルシティ木更津6階/第1～7会議室 アクア木更津B館3階/多目的ホール	972.89 376.00	972.89 376.00	移転新築 S51. 2. 1 移転（賃借）H30. 7. 1 青年の家廃止H30. 6. 30
富来田公民館	S42. 4. 1	真里谷110	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建て	展示ホール、多目的ホール、ラウンジ、図書室、保育室、体育室、和室、茶室、調理実習室、工芸実習室、会議室、研修室第1・2、学習相談室、グループ交流スペース、更衣室、印刷室	6,082.60	2,318.90	改築 H14. 1. 1
岩根公民館	S32.10. 1	高柳3-2-1	鉄筋コンクリート造2階建て	学習室1・2・3・4、集会室、休養室、保育室	582.21	564.08	改築 S51. 4. 1
鎌足公民館	S32.10. 1	矢那899-1	鉄筋コンクリート造2階建て	研修室、学習室、調理実習室、和室、工作室、図書室	4,108.36	514.17	改築 S55. 4. 1
中郷公民館	S32.10. 1	井尻789-1	鉄筋コンクリート造2階建て	児童図書室、和室、視聴覚室、研修室1・2、調理実習室	1,260.62	563.56	改築 S55.10. 1
富岡公民館	S42. 4. 1	下郡1770-1	鉄筋コンクリート造平屋建て	集会室2、会議室、研修室、和室、資料室	1,090.89	265.23	一部改築 S62. 3. 31
文京公民館	S55.10. 1	文京2-6-54	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室、休養室、保育室、ホール	1,388.88	549.92	
八幡台公民館	S55.12. 1	八幡台4-2-1	鉄骨造平屋建て	図書室、和室1・2、実習室、学習室1・2、集会室	6,002.48	635.24	
東清公民館	S57. 4. 1	笹子469-1	鉄筋コンクリート造2階建て 一部木造平屋建て	研修室1・2・3、調理実習室、図書室	1,861.35	572.14	
清見台公民館	S58. 4. 1	清見台南5-1-29	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、図書ホール、和室、研修室1・2、調理実習室	3,307.71	748.63	
清見台コミュニティーセンター附属体育館	S58. 8. 1	清見台南5-1-29	鉄骨造2階建て	アリーナ、ミーティング室2、更衣室2	1,870.06	1,402.74	
畑沢公民館	S59. 4. 1	畑沢1,053-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、調理実習室	2,871.49	658.51	
岩根西公民館	S61. 4. 1	江川934-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,392.60	663.62	
西清川公民館	H 2. 4. 1	永井作2-11-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,207.47	733.58	
波岡公民館	H 5. 4. 1	大久保5-7-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室1・2・3、調理実習室、図書室、休養室	3,192.81	773.134	
桜井公民館	H14. 4. 1	桜井新町4-2	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、学習室3、調理実習室	2,997.60	1,045.49	
図書館	S 4. 3. 25	文京2-6-51	鉄筋コンクリート造2階建て	貸出室（一般・児童）、会議室、和室、郷土資料室、参考調査室、書庫1・2、館長室、事務作業室、別棟恵春庵	5,071.53	1,994.11	移転新築 S49. 7. 31
郷土博物館のすず	H20. 4. 1	太田2-16-2	鉄筋コンクリート造3階建てほか	本館（展示室9、収蔵庫2）、新収蔵庫、旧安西家住宅、保管庫（旧金鈴塚遺物保存館）	2,638.92	2603.11	旧 県立 上総博物館
少年自然の家キャンプ場	S60. 4. 1	真里谷5343-8	プレハブ平屋建て （管理棟）	管理棟、キャビン6（※）、テントハウス7、炊事場2（カマド20基）、便所2（※）、屋根付広場、自由広場、シャワー室 （※うち北キャンプ場のキャビン3棟、便所1箇所については閉鎖中）	114,809 共用30,000	875.82	

令和7年度 木更津市の教育

発行日 令和8年3月
編集・発行 木更津市教育委員会
教育部 教育総務課

〒292-8501 木更津市朝日三丁目8番1号

電話 0438(23)5243

FAX 0438(25)3991

E-mail kyo-soumu@city.kisarazu.lg.jp

HPアドレス <http://www.city.kisarazu.lg.jp/>